

官廳ニ提出スベシ

第二十一條 船員手帳ノ様式ハ第四號書式ニ依ル

第二十二條 本章ノ規定ハ船員法第一條第二項第一號及第二號ニ掲グル乗組員ニ之ヲ準用ス

第三章 船長ノ職務

第二十三條 左ノ條件ヲ具備スル場合ニ非ザレバ船長ハ水葬ヲ行フコトヲ得ズ

一 船舶ガ公海ニ在ルコト

二 死亡後二十四時間ヲ經過シタルコト但シ傳染病ニ因リテ死亡シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

三 衛生上死體ヲ船内ニ保存スルコト能ハザルコト但シ船舶ガ死體ヲ搭載シテ入港スルコトヲ禁ゼラレタル港ニ入港セントスル場合其ノ他正當ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

四 醫師ノ乗組メル船舶ニ在リテハ醫師ガ死亡診斷書ヲ作成シタルコト

五 傳染病ニ因リテ死亡シタル場合ニ在リテハ傳染病豫防法及之ニ基ク命令ノ規定ニ依リ消毒方法ヲ施シタルコト

第二十四條 船長ハ水葬ヲ行ハントスルトキハ成ルベク遺族ノ爲ニ遺髪其ノ他遺品ト爲ルベキモノヲ保存シ、本人ノ寫眞ヲ撮影シ且相當ノ宗教的儀式ヲ爲スベシ

第二十五條 船内ニ在ル者ガ死亡シ又ハ行方不明ト爲リタルトキハ船長ハ遲滞ナク重立チタル海員、本人ノ親族、友人其ノ他適當ナル者二名以上ノ立會ヲ以テ其ノ遺留品ヲ取調べ遺留品目錄ヲ作成スベシ

遺留品目錄ニハ左ノ事項ヲ記載シ船長及立會人之ニ署名捺印スベシ
一 本人ノ氏名、本籍、住所及死亡シ又ハ行方不明ト爲リタル年月日時

二 遺留品ノ品名及數量、若シ金錢ナルトキハ其ノ金額

三 遺留品目錄ヲ作成シタル年月日
船長ハ法令ノ定ムル所ニ依リ遺留品ヲ賣却其ノ他ノ處分ニ附シタルトキハ遺留品目錄ニ其ノ事由、顛末(遺留品ヲ賣却シタルトキハ其ノ代價ヲ含ム)其ノ他參考ト爲ルベキ事項ヲ附記シ之ニ署名捺印スベシ

第二十六條 船長ハ遺留品目錄ヲ第二十九條第一項ノ規定ニ依リ報告ヲ爲スベキ管海官廳ニ提出シテ之ニ其ノ證明ヲ受クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ管海官廳ハ遺留品ヲ提出セシムルコトヲ得

第二十七條 船長ハ遺留品及遺留品目錄ヲ相續人其ノ他ノ權利者ニ引渡シ若シ權利者ノ存否又ハ所在ガ分明ナラザルトキハ之ヲ最寄管海官廳ニ提出スベシ

第二十八條 船員法第十四條第一項ノ規定ニ依リ帝國國民ノ送還ヲ命ゼラレタル船長ハ帝國ノ外交官、領事官又ハ貿易事務官ノ指定シタル港ニ到著シタルトキハ其ノ港ノ警察署ニ送還ノ事由ヲ説明シ被送還者ヲ引渡スベシ

船長ハ被送還者ヨリ送還費用ノ償還ヲ得ザルトキハ被送還者ノ氏名、出生年月日、身分、本籍及住所、扶養義務者ノ氏名及住所竝ニ送還ノ事實ヲ記載シタル書類ヲ前項ノ警察署ニ提出シテ其ノ證明ヲ申請スルコトヲ得

船長ハ明治三十三年勅令第四百十五號第三條又ハ第四條ノ規定ニ依リ府縣廳、北海道廳又ハ臺灣總督府ニ送還費用ノ償還ヲ請求スルトキハ請求書ニ前項ノ書類ヲ添附スベシ

第二十九條 船長ハ船員法第十五條ニ規定スル報告ヲ最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ出頭シ第五號書式ニ依リ爲スベシ但シ同條第一號乃至第三號及第五號ニ掲グル事由ガ碇泊中ニ生ジタルトキハ其ノ港ノ管海官廳ニ、其ノ港ニ管海官廳ナキトキハ其ノ後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ出頭シテ之ヲ爲スベシ

前項ノ場合ニ於テ船長ハ正當ノ事由アルトキハ代理人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第四十七條ノ規定ヲ準用ス
船長ガ前二項ノ規定ニ依リ報告ヲ爲スコト能ハザルトキハ

船員法施行規則

船舶所有者ハ遲滞ナク最寄管海官廳ニ之ヲ爲スベシ
第三十條 前條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲シタル事實ニ付テハ船長又ハ船舶所有者ハ同條ノ報告書ト同様ノ書類ヲ作成シ管海官廳ノ認證ヲ申請スルコトヲ得

第三十一條 前二條ノ場合ニ於テハ船長又ハ船舶所有者ハ航海日誌ヲ管海官廳ノ檢閱ニ供スベシ但シ海難ニ因リ滅失シタルトキ其ノ他已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十二條 船長ハ無線電信ニ依リ他ノ船舶ノ遭難ヲ知りタルトキハ船員法第十五條第二號後段ニ規定スル報告ヲ爲スコトヲ要セズ

第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ船長ハ遲滞ナク書式ニ從ヒ航海日誌ニ事實ノ顛末、發生ノ年月日時及場所其ノ他關係ノ事項ヲ記載スベシ
一 船員法第十一條但書前段又ハ同法施行令第六條ノ規定ニ依リ船長ガ遭難者ノ救助ニ赴カザルトキ
二 船員法第十二條ノ規定ニ依リ船長ガ水葬ヲ行ヒタルトキ

三 船員法第十三條其ノ他ノ規定ニ依リ船長ガ遺留品ヲ保管又ハ處分シタルトキ
四 船員法第十四條第一項ノ規定ニ依リ船長ガ送還ヲ命ゼ

ラレタルトキ

- 五 船員法第十五條各號ノ一ニ該當スルトキ
- 六 船員法第三十四條及第三十五條ノ規定ニ依リ船長ガ懲戒ヲ行ヒタルトキ
- 七 船員法第三十六條乃至第三十九條ノ規定ニ依リ船長ガ處分ヲ爲シタルトキ
- 八 船員法第四十條ノ規定ニ依リ船長ガ援助ヲ求メタルトキ
- 九 乗組員其ノ他船内ニ在ル者ニ付犯罪其ノ他著シキ事故アリタルトキ

第四章 乗船又ハ下船等ニ關スル手續

第一節 公認

- 第三十四條 海員ノ雇入契約成立(以下單ニ雇入ト稱ス)ノ公認ヲ申請セントスルトキハ船長ハ左ノ書類ヲ添附シ第六號書式ノ申請書ヲ雇入港ノ管海官廳ニ、其ノ港ニ管海官廳ナキトキ又ハ緊急已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ其ノ後最初ニ到着シタル港ノ管海官廳ニ提出スベシ
- 一 海員名簿
- 二 海技免狀其ノ他ノ資格證明書ヲ受有スルコトヲ要スル海員ニ付テハ海技免狀其ノ他ノ資格證明書
- 三 十八歳未満ノ海員ニ付テハ船員法第五條ノ健康證明書

第三十五條 船員法ノ適用ヲ受ケザル船舶ガ船員法ノ適用ヲ受クルニ至リタルトキハ船長ハ乗船中ノ海員ニ付船舶ガ船員法ノ適用ヲ受クルニ至リタルトキニ於テ雇入アリタルモノトシテ前條ノ手續ヲ爲スベシ

第三十六條 海員ノ雇入契約終了(以下單ニ雇止ト稱ス)ノ公認ヲ申請セントスルトキハ船長ハ海員名簿ヲ添附シ第七號書式ノ申請書ヲ雇止港ノ管海官廳ニ、其ノ港ニ管海官廳ナキトキ、航行中雇止アリタルトキ又ハ緊急已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ其ノ後最初ニ到着シタル港ノ管海官廳ニ提出スベシ

第三十七條 船員法第二十三條ノ規定ニ依ル雇止ノ公認ヲ申請セントスル場合ニ於テ海員名簿ガ滅失又ハ毀損シタルトキハ船長ハ前條ノ申請書ニ通テ提出シ其ノ一通ヲ以テ前條ノ海員名簿ニ代フルコトヲ得

第三十八條 船舶ガ船員法ノ適用ヲ受ケザルニ至リタルトキハ船長ハ乗船中ノ海員ニ付船舶ガ船員法ノ適用ヲ受ケザルニ至リタルトキニ於テ雇止アリタルモノトシテ第三十六條ノ手續ヲ爲スベシ

第三十九條 海員ノ雇入契約更新ノ公認ヲ申請セントスルトキハ船長ハ左ノ書類ヲ添附シ第八號書式ノ申請書ヲ雇入契約更新アリタル港ノ管海官廳ニ、其ノ港ニ管海官廳ナキト

キ、航行中雇入契約更新アリタルトキ又ハ緊急已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ其ノ後最初ニ到着シタル港ノ管海官廳ニ提出スベシ

一 海員名簿

二 十八歳未満ノ海員ニ付テハ船員法第五條ノ健康證明書
第四十條 海員ノ雇入契約變更ノ公認ヲ申請セントスルトキハ船長ハ左ノ書類ヲ添附シ第九號書式ノ申請書ヲ雇入契約變更アリタル港ノ管海官廳ニ、其ノ港ニ管海官廳ナキトキ、航行中雇入契約變更アリタルトキ又ハ緊急已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ其ノ後最初ニ到着シタル港ノ管海官廳ニ提出スベシ

一 海員名簿

二 海技免狀其ノ他ノ資格證明書ヲ受有スルコトヲ要スル海員ニ付テハ海技免狀其ノ他ノ資格證明書

第四十一條 第三十四條乃至第三十六條及第三十八條乃至第四十條ノ場合ニ於テハ船長及海員ハ同時ニ管海官廳ニ出頭スベシ

第四十二條 管海官廳ガ公認ヲ爲スニハ海員名簿ニ記載シタル事項ヲ當事者雙方ニ了解セシメタル後之ニ官廳印ヲ押捺スベシ

第四十三條 第四十一條ノ場合ニ於テ海員ガ出頭セザルトキ

船員法施行規則

ト雖モ管海官廳ニ於テ已ムコトヲ得ザル事由アリト認ムルトキハ船長ノ申立ニ依リ公認ヲ爲スコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ管海官廳必要アリト認ムルトキハ海員ヲ呼出スコトヲ得

第四十四條 海員ノ雇止ニ關シ爭アル場合ニ於テ船長ガ其ノ公認ヲ申請セザルトキハ海員ハ管海官廳ニ出頭シテ其ノ事由ヲ申立ツルコトヲ得
管海官廳ハ前項ノ申立ヲ正當ト認メタルトキハ船長ヲシテ海員名簿及船員手帳ヲ提出セシメ公認ヲ爲スベシ此ノ場合ニ於テハ管海官廳ハ海員名簿ニ其ノ顛末ヲ記載スベシ

第四十五條 海員名簿ガ滅失又ハ毀損シタルトキハ船長ハ遲滞ナク海員名簿ヲ作成シテ海員ノ現在ノ雇入契約ノ再公認ヲ申請スベシ

第四十六條 船長ガ前條ノ申請ヲ爲サントスルトキハ左ノ書類ヲ添附シ最寄管海官廳ニ出頭シテ第十號書式ノ申請書ヲ提出スベシ
一 前條ノ規定ニ依リ作成シタル海員名簿
二 海技免狀其ノ他ノ資格證明書ヲ受有スルコトヲ要スル海員ニ付テハ海技免狀其ノ他ノ資格證明書

三 海員ノ船員手帳
前項第三號ノ船員手帳ガ滅失又ハ毀損シタルトキハ海員ハ

船長ト共ニ管海官廳ニ出頭スベシ此ノ場合ニ於テハ第四十三條ノ規定ヲ準用ス

第四十七條 第四十一條、第四十三條、第四十四條及前條ノ規定ニ依リ出頭スベキ者ガ代理人ヲシテ出頭セシメントス

ルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書類ヲ作成シ代理人ヲシテ管海官廳ニ之ヲ提出セシムベシ

第四十八條 第三十四條乃至第四十七條ノ規定ハ船舶所有者ガ公認ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十九條 雇入ノ公認ヲ受ケザル場合ニ於テ海員ガ死亡シ又ハ船員法第二十三條第一項各號ニ掲グル事由ニ因リ行方不明ト爲リタルトキハ船長又ハ船舶所有者ハ公認ノ申請ニ代ヘ第十一號書式ニ依リ遲滞ナク其ノ旨ヲ最寄管海官廳ニ届出ヅベシ

第五十條 海員ガ船舶所有者ヨリ船舶ヲ去リテ他ノ船舶ニ乗組ムコトヲ命ゼラレタルトキハ其ノ去ル船舶ニ付雇止アリタルモノトシ、其ノ乗組ム船舶ニ付雇入アリタルモノトス海員ガ船舶所有者ヨリ豫備員ト爲ルコト又ハ船舶外ノ場所ニ勤務スルコトヲ命ゼラレタルトキハ雇止アリタルモノトシ、豫備員又ハ船舶外ノ場所ニ勤務スル者ガ船舶ニ乗組ムコトヲ命ゼラレタルトキハ雇入アリタルモノトス

第五十一條 船員法第二十三條第二項ニ規定スル一月ノ期間

ケタルトキハ遲滞ナク其ノ公認ヲ受ケタル管海官廳名及年月日ヲ海員ノ指定シタル宛所ニ通知スベシ

第五十五條 海員ハ雇入契約存續中船員手帳ガ滅失又ハ毀損シタルニ因リ船員手帳ヲ再交付ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク現在ノ雇入契約ニ付公認ノ再認證ヲ申請スベシ此ノ場合ニ於テハ第五十二條ノ規定ヲ準用ス

第五十六條 海員ノ雇入契約存續中船員手帳ニ記載シタル事項中船種船名、總噸數、航行區域若ハ從業制限、機關ノ種類及公稱馬力又ハ船舶所有者ノ氏名若ハ名稱ニ變更アリタルトキハ船長ハ船舶検査證書其ノ他ノ證明書ヲ添附シ第十號書式ノ申請書ヲ最寄管海官廳ニ提出シテ船員手帳ニ訂正ノ證明ヲ申請スベシ

第三節 船長ノ就職又ハ退職ノ認證

第五十七條 船長ガ其ノ指揮セントスル船舶ニ乗組マントスルトキ又ハ其ノ職ヲ退キタルトキハ遲滞ナク船員手帳ニ就職又ハ退職ノ認證ヲ申請スベシ但シ國又ハ北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ノ所有ニ屬スル船舶ノ船長ハ此ノ限ニ在ラズ

第五十八條 船長ガ前條ノ申請ヲ爲サントスルトキハ左ノ書類ヲ添附シ就職ノ場合ニハ第十四號書式、退職ノ場合ニハ第十五號書式ノ申請書ヲ最寄管海官廳ニ提出スベシ

ハ船舶ガ港ニ到着スベカリシ日ヨリ、其ノ日經過後船舶ノ消息アリタルトキハ最後ノ消息アリタル日ヨリ之ヲ起算ス

第二節 公認ノ認證

第五十二條 海員ノ雇入契約ノ成立、終了、更新又ハ變更ノ公認アリタルトキハ海員ハ遲滞ナク左ノ書類ヲ管海官廳ニ提出シテ其ノ認證ヲ申請スベシ

一 第十二號書式ノ申請書

二 船員手帳

三 海員名簿其ノ他公認ヲ受ケタルコトヲ證スル書類

前項第一號及第三號ノ書類ハ公認ヲ受ケタル管海官廳ニ於テ公認ト同時ニ其ノ認證ヲ申請スル場合ニ於テハ之ヲ提出スルコトヲ要セズ

第五十三條 船員法施行地外ニ於テ海員ト爲リタル爲其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ公認アリタル際船員手帳ヲ受有セザル海員ハ之ヲ受有スルニ至リタル後遲滞ナク前條第一項ノ規定ニ依リ公認ノ認證ヲ申請スベシ

第五十四條 海員ガ管海官廳ナキ港ニ於テ雇止メラレタルトキ其ノ他雇止ノ公認ト同時ニ其ノ認證ヲ受クルコト能ハザルトキハ船長ハ海員ニ對シ海員ノ氏名、職務、雇止年月日、雇止事由及雇止地ヲ記載シタル雇止證明書ヲ交付スベシ

船長ハ前項ノ證明書ヲ交付シタル後海員ノ雇止ノ公認ヲ受

一 船員手帳

二 就職又ハ退職及其ノ年月日ヲ證スル書類

三 就職ノ場合ニハ海技免狀

第五十九條 船長ガ船員法ノ適用ヲ受ケザル船舶ニ就職中船舶ガ船員法ノ適用ヲ受クルニ至リタルトキハ其ノ時ニ於テ船舶ニ乗組ミタルモノトシテ、船員法ノ適用ヲ受クル船舶ニ就職中船舶ガ船員法ノ適用ヲ受ケザルニ至リタルトキハ其ノ時ニ於テ其ノ職ヲ退キタルモノトシテ第五十七條ノ申請ヲ爲スベシ

第六十條 第五十條、第五十一條、第五十三條、第五十五條及第五十六條ノ規定ハ船長ニ之ヲ準用ス

第四節 乗船又ハ下船等ノ届出及證明

第六十一條 左ニ掲グル者ガ乗船又ハ下船シタルトキハ船長又ハ船舶所有者ハ遲滞ナク第十六號書式ノ乗船届又ハ第十七號書式ノ下船届ヲ最寄管海官廳ニ提出スベシ

一 國ノ所有ニ屬スル船舶ノ船員

二 北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ノ所有ニ屬スル船舶ノ船長及雇入契約ニ因ラズシテ之ニ乗組ム海員

三 船舶所有者ト同一ノ家庭ニ屬シ雇入契約ニ因ラズシテ船舶ニ乗組ム海員

四 船員法第一條第二項各號ニ掲グル者(船員法施行令第

現行海事法令

一 條第一號及第三號ニ掲グル者ヲ除ク)

前項第一號乃至第三號ニ掲グル者ニ職務ノ變更アリタルトキハ船長又ハ船舶所有者ハ遲滞ナク第十八號書式ノ職務變更届ヲ最寄管海官廳ニ提出スベシ

第五十條及第五十一條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十二條 前條第一項各號ニ掲グル者ガ船員法ノ適用ヲ受ケザル船舶ニ乗船中船員法ノ適用ヲ受クルニ至リタルトキハ其ノ時ニ於テ乗船シタルモノトシテ、船員法ノ適用ヲ受クル船舶ニ乗船中船員法ノ適用ヲ受ケザルニ至リタルトキハ其ノ時ニ於テ下船シタルモノトシテ前條ノ手續ヲ爲スベシ

第六十三條 第六十一條第一項各號ニ掲グル乗組員ニシテ同一船舶所有者ニ屬シ同一航路ニ就航スル船舶ニ頻繁ニ乗船又ハ下船スル者ニ付テハ船長又ハ船舶所有者ハ所轄通信局長ノ許可ヲ受ケ同條ノ届ニ代ヘ第十九號書式ニ依リ六月毎ニ乗組員ノ異動狀況ヲ取纏メ最寄管海官廳ニ報告スルコトヲ妨ゲズ

船舶所有者又ハ船長ガ前項ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ通テ所轄通信局長ニ提出スベシ

- 一 船舶ノ種類、名稱、總噸數、用途及航路

四 證明ヲ受ケントスル事由

第五章 乗組員ノ保護

第一節 給料及手當

第六十六條 船員法施行令第七條乃至第九條ニ規定スル手當トハ同令第十五條、第十六條、第十八條及第二十二條ニ規定スル手當以外ノ手當ヲ謂フ

第六十七條 船員法施行令第七條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ船舶所有者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ通テ所轄通信局長ニ提出スベシ

- 一 船舶所有者ノ氏名又ハ名稱及其ノ住所又ハ主タル事務所在地
- 二 船舶ノ種類、名稱、總噸數及航行區域又ハ從業制限
- 三 船長ニ代リテ給料及手當ヲ支拂ハシメントスル職員ノ職務

四 許可ヲ受ケントスル事由

第五 許可ヲ受ケントスル期間
前項第三號乃至第五號ニ掲グル事項ニ變更アルトキハ第二條第一項ノ規定ヲ、前項第一號又ハ第二號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ第二條第二項ノ規定ヲ準用ス

第六十八條 海員、其ノ家族又ハ海員ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スル者ガ婚禮、葬祭、出産、療養ノ費用又ハ不慮ノ災害

船員法施行規則

二 船舶ニ於ケル乗組員ノ服務ノ交代方法

前項第二號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ第二條第一項ノ規定ヲ、前項第一號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ第二條第二項ノ規定ヲ準用ス

第六十四條 第六十一條第一項各號ニ掲グル者(船員法施行令第一條各號ニ掲グル者ヲ除ク)ハ同條ノ届又ハ前條ノ報告アリタルトキハ船員手帳ヲ管海官廳ニ提出シテ乗船、下船又ハ職務變更ノ證明ヲ申請スベシ

第五十二條乃至第五十六條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五節 履歷ノ證明

第六十五條 船員手帳ヲ受有スル者ガ之ヲ滅失、毀損又ハ返還シタルトキハ船長ノ就職若ハ退職ノ認證、海員ノ雇入契約ノ成立、終了、更新若ハ變更ノ公認又ハ乗組員ノ乗船、下船若ハ職務變更ノ届出アリタル事項ニシテ十年ヲ經過セザルモノニ付通信省管船局ノ證明ヲ申請スルコトヲ得

- 前項ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ通信省管船局ニ提出スベシ
- 一 氏名、本籍及出生年月日
- 二 船員手帳ノ交付管海官廳名及番號
- 三 證明ヲ受ケントスル事項

ノ復舊其ノ他緊急ヲ要スル費用ニ充テントスル場合ニ於テ海員ノ請求アリタルトキハ船舶所有者ハ船員法施行令第九條ノ規定ニ依リ海員ノ給料及手當ヲ支拂フベシ

第六十九條 船舶所有者ハ給料及手當ノ支拂ニ關スル書類ヲ船内ニ備置キ船長ハ之ニ給料及手當ニ付左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 受取人ノ氏名及職務(受領印ヲ捺捺セシムルコト)
- 二 支拂金額(手當ニ付テハ種類別ニ記載スルコト)
- 三 支拂年月日
- 四 前拂ヲ爲シタルトキハ其ノ旨
- 五 控除スベキ金額アルトキハ其ノ種類及金額
- 六 家族又ハ海員ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スル者ニ支拂ハルベキトキハ其ノ金額

第二節 食料及醫療

第七十條 船員法施行令第十條ニ規定スル食料表ハ第二號表船員標準食料表トス

第七十條ノ二 船舶所有者ハ船員法施行令第十條但書ニ規定スル船舶ヲ除クノ外船内ニ船員食料簿ヲ備置キ船長ハ之ニ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 船舶所有者ヨリ受領シタル船員ノ食料品ノ品目別數量又ハ購入費ノ金額及受領年月日

二 購入シタル船員ノ食料品ノ品目別數量、金額及購入年月日

衛生用品ハ遠洋區域ヲ航行スル船舶ニ在リテハ第三號表甲種衛生用品表ニ、近海區域ヲ航行スル船舶ニ在リテハ第四號表乙種衛生用品表ニ依ル

三 船員ニ支給スル日々ノ獻立

第七十三條 船員法施行令第十二條ニ規定スル醫療書ハ遞信省監修日本船舶醫療便覽トス

第七十一條 船員法施行令第十一條但書ノ許可ヲ受ケントスルトキハ船舶所有者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ通テ最寄遞信局長ニ提出スベシ

一 船舶所有者ノ氏名又ハ名稱及其ノ住所又ハ主タル事務所在地

第七十四條 醫師ノ乗組マザル船舶ニ於テ船長ガ傷病者ニ手當ヲ爲サントスル場合必要アリト認ムルトキハ醫師ノ乗組メル最寄ノ船舶又ハ遞信大臣ノ告示スル病院ニ對シ無線電信ニ依リ手當ニ關スル指示ヲ受ケルコトヲ得

二 船舶ノ種類、名稱、總噸數及航行區域

第七十五條 前條ノ指示ヲ求メラレタル船舶ノ船長ハ遲滞ナク其ノ醫師ノ指示ヲ通報スベシ

三 最大搭載人員及豫定航路

第七十六條 前條ノ規定ハ醫師ノ乗組メル他ノ船舶ノ船長ヨリ醫療處置ニ關シ指示ヲ求メラレタル場合ニ之ヲ準用ス

四 許可ヲ受ケントスル事由

第七十七條 船舶所有者ハ船内ニ醫療簿ヲ備置キ船長又ハ醫師ハ之ニ傷病者ニ付左ノ事項ヲ記載スベシ

五 許可ヲ受ケントスル期間

一 氏名、年齢及職務

前項ノ許可ヲ受ケタル者ハ同項第三號乃至第五號ニ掲ゲル事項ニ變更アルトキハ許可シタル遞信局長ノ許可ヲ受ケルコトニ但シ已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ豫メ許可ヲ受ケルコト能ハザルトキハ遲滞ナク其ノ事由ヲ具シ許可シタル遞信局長ノ追認ヲ受クベシ

二 傷病名

第一項第一號又ハ第二號ニ掲ゲル事項ニ變更アリタルトキハ同項ノ許可ヲ受ケタル者ハ遲滞ナク許可シタル遞信局長ニ届出ツベシ

三 傷病ノ原因

第七十二條 船員法施行令第十二條ニ規定スル醫療其ノ他ノ

四 負傷又ハ發病ノ年月日

六 治癒、下船又ハ死亡ノ年月日

五 療養處置ノ概要(前三條ノ規定ニ依リ指示ヲ受ケタルトキハ其ノ旨)

七 前二條ノ規定ニ依ル指示ヲ爲シタルトキハ其ノ願末

クベキ所得額ヲ標準トシテ之ヲ算出スルモノトス

船長又ハ醫師ハ毎月一回醫療其ノ他ノ衛生用品ヲ點檢シ其ノ消費及補充ノ狀況ヲ前項ノ醫療簿ニ記入スベシ

第八十二條 船舶所有者ハ船員法施行令第二十五條第一項ノ許可ヲ受ケントスルコトキハ共濟組合其ノ他ノ扶助施設ノ規約ヲ添附シ給付ヲ受ケル船員ノ數ヲ記載シタル申請書ヲ所轄遞信局長ニ提出スベシ

第七十八條 醫師ノ乗組メル船舶ニ在リテハ船舶所有者ハ毎年二回以上醫師ヲシテ乗組員ノ健康診斷ヲ爲サシムベシ

前項ノ場合ニ於テ遞信局長ハ扶助施設ノ會計狀況及給付ノ實績其ノ他參考ト爲ルベキ事項ヲ報告セシムルコトヲ得

第七十九條 船舶所有者又ハ船長ハ船内ニ於テ使用スル食器其ノ他ノ厨用品及寢具ヲ常ニ清潔ニ保チ其ノ他船内衛生ノ保全ニ付必要ナル措置ヲ爲スベシ

第八十三條 前條ノ許可ヲ受ケタル者ハ共濟組合其ノ他ノ扶助施設ノ規約變更又ハ解散若ハ消滅アリタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ所轄遞信局長ニ届出ツベシ

第八十條 船舶所有者ハ退職シ又ハ雇止アリタル船員ニ引續キ豫備員ト爲ルコト又ハ船舶外ノ場所ニ勤務スルコトヲ命

第八十四條 船舶所有者ハ船員室其ノ他適當ナル場所ニ第八十八條ノ協定若ハ第八十九條ノ從業規則其ノ他ノ定テ備置キ又ハ船員ノ勞務ニ關シ之ヲ周知セシムベキ事項ヲ平易ニ記述シタル書類ヲ揭示スベシ

シ之ニ給料又ハ手當ヲ支給スルコトキハ其ノ限度ニ於テ當該船員ニ船員法施行令第十五條、第十六條、第十八條又ハ第二十二條ノ規定ニ依ル手當ヲ支給スルコトヲ要セズ

第六章 報 告

第八十一條 海員ノ給料ガ歩合ニ依リ支拂ハルル場合ニ於テハ船員法施行令第十五條、第十六條、第十八條又ハ第二十二條ノ規定ニ依ル手當ノ算出ノ標準トスベキ給料ハ同様ノ船舶ニ於テ同様ノ勞務ニ従事スル者ガ通常ノ場合ニ於テ受

第八十五條 船舶所有者ハ左ノ各號ノ事項ニ付毎年六月及十二月ノ末日ニ終ル六月間ノ狀況ヲ夫々八月及翌年二月ノ末日迄ニ左ノ各號ノ書式ニ依リ所轄遞信局長ニ報告スベシ

船員法施行規則

一 船員ノ傷病及死亡並ニ其ノ扶助

船員法施行規則

二 雇止(退職)船員ニ對スル手當ノ支給

船員法施行規則

第二十一號書式

船員法施行規則

二七

三 船員ノ送還

第二十二號書式

第八十六條 船員法施行令第二十五條第一項ノ許可ヲ受ケタル共済組合其ノ他ノ扶助施設ノ代表者ハ每事業年度終了後一月内ニ其ノ年度ニ於ケル事業及會計ノ狀況並ニ第二十三號書式ニ依ル給付狀況ヲ所轄選信局長ニ報告スベシ

第八十七條 三十名以上ノ船員ノ團體ノ代表者ハ規約若ハ定款ヲ作成若ハ變更シタルトキ、主タル役員ヲ選任若ハ解任シタルトキ又ハ解散シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ所轄選信局長ニ報告スベシ

前項ノ團體ノ代表者ハ其ノ事業年度經過後一月内ニ最近ニ於ケル所屬團體員數並ニ其ノ年度ニ於ケル事業及會計ノ狀況ヲ所轄選信局長ニ報告スベシ

第八十八條 船舶所有者又ハ其ノ團體ノ代表者ハ船員ノ勞務ニ關スル條件ニ付船舶所有者又ハ其ノ團體ガ船員ノ團體ト協定ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク之ヲ所轄選信局長ニ報告スベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第八十九條 船舶所有者又ハ其ノ團體ハ船員ニ付左ノ事項ニ關スル從業規則其ノ他ノ定テ設ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ所轄選信局長ニ報告スベシ之ヲ變更又ハ廢止シタルトキ亦同ジ

一 給料及手當

二 食料

三 傷病又ハ死亡ニ對スル扶助

四 退職手當

五 送還

六 就業時間及休憩時間

七 休暇

八 豫備員

九 教習

十 制裁及褒賞

十一 其ノ他勞務ニ關スル條件

第七章 雜則

第九十條 船員法施行令及本令中同一ノ家庭ニ屬スル者トハ同一ノ籍内ニ在ル者及親族又ハ親族ニ非ザルモ事實上親族關係ト同様ノ事情ニ在ル者ニシテ住居及家計ヲ同ジクスル者ヲ謂フ

第九十一條 船員法施行令及本令中最初ニ到着シタル港トハ最初ニ到着シタル管海官廳所在ノ港ヲ謂フ

第九十二條 本令中所轄選信局長トハ申請、届出又ハ報告ヲ爲スベキ者ノ住所又ハ主タル事務所所在地(學校其ノ他之ノニ在リテハ)ヲ管轄スル選信局長ヲ謂フ

但シ行政區劃ノ變更ニ因ル場合又ハ記載事項ノ錯誤ガ官廳ノ過失ニ出デタル場合ヲ除ク

第八條第一項各號ノ事項一箇ニ付 五錢

三 第三十條ノ規定ニ依ル報告書ノ認證

一通ニ付 一圓

四 公認又ハ再公認

海員一人ニ付 十錢

五 公認ノ認證又ハ再認證

一件ニ付 五錢

六 船長ノ就職若ハ退職ノ認證又ハ再認證

一件ニ付 七錢

七 第六十四條ノ規定ニ依ル證明又ハ再證明

一件ニ付 五錢

八 第六十五條ノ規定ニ依ル履歷ノ證明

一件ニ付 二十錢

前項ノ手数料ハ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ガ取扱フトキハ其ノ倍額トス

前二項ノ手数料ハ官廳ノ執務時間外、休日又ハ休暇日ニ取扱フトキハ前二項ノ額ノ倍額トス

前三項ノ場合ニ於テ官廳外ノ場所ニ於テ取扱フトキハ前三項ノ額ニ第一項又ハ第二項ノ額ヲ加フ

第九十九條 前條第一項第一號ノ手数料及同項第二號乃至第七號ノ手数料ニシテ左ニ掲グル場所ニ於テ納付スルモノハ

第九十三條

船員法第四十三條ニ規定スル船舶貸借ニハ船舶所有者ガ船長其ノ他ノ乗組員ヲ選任シ又ハ雇入レタル場合ヲ包含セザルモノトス

第九十四條

船員法第四十二條第一項ノ證票(船舶臨檢證票ト稱ス)ノ様式ハ第二十四號書式ニ依ル

第九十五條

船員法第四十五條ノ規定ニ依ル市町村長又ハ之ニ準ズル者ハ選信大臣之ヲ告示ス

前項ノ市町村長又ハ之ニ準ズル者ハ船員法施行令第七條、第十一條、第二十五條、第三十一條又ハ本令第六十三條ノ規定ニ依ル許可ニ關スル事務ヲ除クノ外船員法、同法施行令又ハ本令ニ依リ管海官廳ノ行フベキ一切ノ事務ヲ行フ

第九十六條

本令ノ規定ニ依リ捺印スベキ者ガ印ヲ有セザルトキハ捺印ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第九十七條

船員法、同法施行令及本令ニ依リ管海官廳ノ行フベキ事務ハ當事者ノ申請ニ依リ管海官廳ニ於テ理由アリト認ムルトキハ官廳ノ執務時間外、休日若ハ休暇日又ハ官廳外ノ場所ニ於テモ之ヲ行フコトアルベシ

第八章 手 數 料

第九十八條 手数料ノ額左ノ如シ

- 一 船員手帳ノ交付又ハ再交付 一部ニ付 二十錢
- 二 船員手帳ノ訂正

第二十五號書式ノ手数料納付書ニ、同項第八號ノ手数料ハ申請書ニ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ貼附シテ之ヲ納付スベシ

- 一 遞信局海事部又ハ同分室
- 二 遞信局海事部出張所又ハ同分室

第九章 罰

則

第一百條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第七條、第十條又ハ第十二條ノ規定ニ違反シ船員手帳ノ交付、訂正又ハ再交付ヲ申請セザル者

二 第十六條乃至第十九條ノ規定ニ違反シ船員手帳ヲ保管セズ、返還セズ、提出セズ又ハ檢閲ニ供セザル者

三 第二十條ノ規定ニ違反シ書類ヲ提出セザル者

四 船員手帳ヲ毀棄シタル者

第一百一條 船長ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二十五條ノ規定ニ違反シ遺留品目錄ヲ作成セザルトキ

二 第二十七條ノ規定ニ違反シ遺留品ヲ引渡サズ又ハ提出セザルトキ

三 第五十四條ノ規定ニ違反シ雇止證明書ヲ交付セズ又ハ公認ノ通知ヲ爲サザルトキ

ル者ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ第十五條ノ規定ニ依リ寫眞ノ貼附ヲ受クベシ

第七條 本令施行ノ際現ニ乗船中ノ船長ニシテ就職ノ認證ヲ受ケザル者ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ第五十七條ノ規定ニ依リ就職ノ認證ヲ申請スベシ

第八條 昭和十三年三月遞信省令第二十二號附則第二項ノ規定スル期間中ニ同令ニ依ル海員名簿ヲ備ヘタルトキハ船長ハ之ニ海員ノ現在ノ雇入契約ニ付書式ニ定ムル事項ヲ記載シ同令施行前ノ規定ニ依ル海員名簿ヲ添附シ遲滞ナク之ヲ最寄管海官廳ニ提出シテ其ノ檢閲ニ供スベシ

第九條 本令施行ノ際現ニ乗船中ノ乗組員ニシテ第六十四條ニ規定スル者ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ乗船ノ證明ヲ申請スベシ此ノ場合ニ於テハ第六十四條ノ規定ヲ準用ス

第十條 本令施行ノ際現ニ乗船中ノ乗組員ノ受有スル船員手帳ニ記載シタル事項中第五十六條ニ掲グルモノガ事實ト相違スルトキハ船長ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ同條ノ規定ニ依リ證明ヲ申請スベシ

第十一條 第七十四條乃至第七十六條ノ規定ハ本令施行ノ日ヨリ一年内ハ之ヲ適用セズ

第十二條 本令施行ノ際現ニ第八十九條各號ニ掲グル事項ニ付定アルトキハ船舶所有者又ハ其ノ團體ハ本令施行ノ日

船員法施行規則

四 第五十七條又ハ第六十條ノ規定ニ違反シ船長ノ就職者ハ退職ノ認證又ハ再認證ヲ受ケザルトキ

第一百二條 海員ガ第五十二條、第五十三條又ハ第五十五條ノ規定ニ違反シ公認ノ認證又ハ再認證ヲ申請セザルトキハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

第一百三條 本令ハ昭和十二年法律第七十九號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一百四條 船員最低年齡法施行細則、明治三十二年六月遞信省令第二十六號及明治三十七年七月遞信省令第五十號ハ之ヲ廢止ス

船舶安全法施行規則第七十四條及第七十六條第一號ハ之ヲ削除ス

昭和八年五月遞信省令第二十三號第一條中「船員法第十七條」ヲ「船員法第十五條」ニ改ム

第一百五條 本令施行前ニ交付ヲ受ケタル船員手帳ハ之ヲ本令ニ依ル船員手帳ト看做ス但シ之ニ認證又ハ證明ヲ申請セントスル者ハ本令ニ依ル書式ニ從ヒ適宜之ヲ訂正スベシ
本令施行前ニ交付ヲ受ケタル船員手帳ニ付テハ船員ハ餘白ナキモノトシテ船員手帳ノ再交付ヲ申請スルトコトヲ得
第一百六條 本令施行ノ際寫眞ヲ貼附セザル船員手帳ヲ受有ス

ヨリ六月内ニ所轄遞信局長ニ報告スベシ但シ臨時船舶管理法施行規則第十七條及第二十四條ノ規定ニ依リ届出アリタル定ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則 (昭和十五年四月二十六日省令第二十五號)
本令ハ昭和十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ規定ニ依ル船員手帳ハ本令ノ書式ニ從ヒ適宜之ヲ訂正シテ仍使用スルトコトヲ得

別 表
第一號表(第三條關係)
健康檢査合格標準

檢査項目	合 格 標 準
一 視 力	萬國視力表ヲ五〇〇〇種ノ距離ニ於テ一八〇・三號他眼ハ〇〇・二號ヲ明視シ得ルモノ
二 聽 覺	三〇種ノ距離ニ於テ兩耳共ニ普通ノ談話ヲ聽取シ得ルモノ
三 體 格	甚シキ身體ノ薄弱、著シキ胸廓發育ノ不良、畸形、四肢ノ運動障害其ノ他船舶内勞働ニ堪ヘズト認メラルモノニ非ザルモノ
四 疾 病	肺、肋膜炎ハ心臟ノ疾患、精神異常、脚氣又ハ各種傳染性疾患ヲ有セザルモノ

現行海事法令

備考

一 合格セル者ニ附與スル健康證明書ニハ被檢者ノ氏名、本籍及出生年月日、檢査年月日並ニ醫師ノ氏名及住所ヲ記載スルノ外本健康檢査合格標準ニ合格シタル旨ヲ附記スルコト

第二號表(第七十條關係)

船員標準食料表

品目	週量
米	五、五〇〇グラム
骨附獸肉	一、二〇〇
骨附魚肉	一、二〇〇
生野菜	三、四〇〇
漬物	八〇〇
味噌、醬油、砂糖其ノ他	適宜

備考

一 本表ニ掲グル食料ノ週量合計ハ二六、〇〇〇カロリーニ相當スルモノトス
 二 本表ニ掲グル食料ニ代ヘ之ト同一以上ノ榮養素ヲ包含スル食料ヲ支給スルヲ妨ゲザルコト

三二

三 主食物中米ハ成ルベク胚芽ヲ含ム無砂搗米トス
 四 白米ヲ用フルトキハ白米一〇〇グラムニ付麥一〇グラムヲ代用シテ白米ニ麥ヲ混用スルコトヲ得ルコト
 五 骨附獸肉ノ可食分ハ六六%トシ骨附魚肉ノ可食分ハ五四・六%トス

第三號表(第七十二條關係)

甲種衛生用品表

一 内用藥	品名	數量	備考
藥品	アスピリン錠	二〇〇箇	
	アミノピリン錠	五〇〇	
	安息香酸ソーダカフェイン(アンナカ)	五〇瓦	劇藥
	鹽酸キニーネ錠	二五〇箇	
	稀鹽酸	五〇〇瓦	
	規鐵丸	五〇〇箇	
	苦味チンキ	五〇〇瓦	
	健胃錠	五〇〇箇	
	醋酸カリ液	五〇〇瓦	
	サリチル酸ソーダ錠	四〇〇箇	
	サントニン錠	三〇〇箇	
	次硝酸蒼鉛錠	五〇〇箇	

重碳酸ソーダ
 シロップ
 セネガシロップ
 臟器止血成分製劑
 炭酸グアヤコール丸
 チアスターゼ
 薄荷水
 バルビタール錠
 (一錠中主藥〇・一瓦)
 ビタミンB製劑(脚氣藥)
 ヒマシ油
 白檀油又ハコバイバルサム
 プロムカリ
 アロムワレリル尿素錠(一錠中主藥〇・一瓦)
 ホミカエキス十倍末
 マグネシア(假性マグネシア)
 ヨードカリ錠
 硫酸マグネシア(硫苦)
 磷酸コデイン錠(一錠中主藥〇・〇一瓦)
 ロカイヤラツバ丸
 ロートエキス十倍末

一、〇〇〇瓦	劇藥
五〇〇ク	
一、〇〇〇ク	
五〇〇錠	
一、〇〇〇箇	
二五〇瓦	
一、〇〇〇箇	
五〇〇ク	
一〇〇ク	
一〇〇ク	
一〇〇ク	
三〇〇箇	
五〇瓦	劇藥
一〇〇ク	
二〇〇箇	劇藥
一〇〇〇瓦	
一〇〇箇	劇藥
五〇〇ク	
五〇〇ク	劇藥

船員法施行規則

二 外用藥
 藥品名
 亞鉛華オレフ油
 亞鉛華ゴム絆創膏
 亞鉛華澱粉
 アルコール
 アンモニア水
 イヒチオールスルホン酸アンモン(イヒチホール)
 乳酸エトキシジアミノアクリヂン
 鹽素酸カリ
 オレフ油
 過酸化水素水
 過マンガン酸カリ
 稀ヨードチンキ
 グリセリン
 クレオソート
 クレゾール石鹼液
 醋酸鉛(鉛糖)
 サリチル酸アルコール(五%)
 硝酸銀
 蒸溜水

數量	備考
五〇〇瓦	
三本	
五〇〇瓦	
五〇〇ク	
五〇〇ク	
二五〇ク	
五〇〇ク	
五〇〇ク	
五〇〇ク	
五〇〇ク	
二五ク	
五〇〇ク	
五〇〇ク	
五〇〇ク	
五〇〇ク	
二五ク	
七〇〇ク	劇藥

三三

現行海事法令

消毒クリーム(性病豫防薬)	適宜
水銀軟膏	五〇〇瓦
タールバスタ	五〇〇ワ
タンニン酸ロート坐劑	五〇〇ワ
アルマトール	二五瓦
燃料用アルコール	五〇〇ワ
白色ワセリン	五〇〇ワ
ビツク膏	一本
硼酸錠(一錠中主薬二・〇瓦)	一〇〇〇瓦
硼酸軟膏	一〇〇ワ
ハロゲンオキシメルクリフル	二五ワ
オレスセイナトリウム	二五ワ
ヨードホルム	二五ワ
硫酸亜鉛水(〇・五%)	五〇〇ワ
三 醫療器械類	
品名	數量
小外科器械	一具
外科刀	三箇
直剪刀	一々
彎剪刀	一々
ピンセット	二々
有鈎ピンセット	二々
兩頭銳匙	一々
劇藥	
劇藥	一〇〇〇瓦
劇藥	二五ワ

止血鉗子	三箇
持針器	一々
探子	二々
縫合針	五々
縫合糸	一々
消毒盤	一々
膿盆	一々
グリセリン灌腸器	一箇
ゴムカテーテル	一箇
尿道注射器	一箇
スポイト	一々
洗眼コップ	一々
反射鏡	一々
卷綿子(咽頭用)	一々
同(耳鼻用)	一々
消毒ガーゼ貯槽	一々
器械消毒器	一々
天秤	一々
竿秤(一瓦用)	一々
液量器	二〇〇cc
二〇〇cc	二〇〇cc
乳鉢(乳棒共)	一組
藥匙	一組

三四

金屬製	二箇
水牛製	一箇
漏斗	二箇(二寸五分)
膏藥板	一箇
膏藥筒	一々
木栓拔	一々
投藥瓶	五〇箇
	一〇〇ワ
	二〇〇cc
	一〇〇cc
	六〇cc
	三〇cc
投藥瓶箋	一〇〇枚
内用	一〇〇枚
外用	一〇〇枚
投藥袋	一〇〇枚
内用	五〇枚
外用	五〇枚
藥包紙	五〇箇
點眼瓶	五〇箇
カフセル	一〇〇ワ
膏藥容器	一〇〇ワ
脱脂綿	四〇〇瓦

船員法施行規則

ガーゼ九米	一〇反
ヨードホルムガーゼ	二米
卷綿帶	二〇箇
四裂 半反卷	二〇箇
五裂 同	一〇箇
六裂 同	一〇箇
八裂 同	一〇箇
三角巾	一〇〇ワ
片眼帶	一〇〇ワ
副木	一〇〇ワ
晒木綿	五反
綿フランネル	三米
防水紙(亞麻仁油紙)	一〇〇枚
氷嚢	二〇箇
氷枕	三々
安全針	一〇〇ワ
防水布	三米
體溫計	三箇
手術用敷布	二枚
手術衣	二々
手洗刷毛	二箇
雑用鉸	一々

三五

吸入器	一箇
挿込便器	一ク
尿管	一ク
指サツク	三六ク
懐爐	一〇ク

備考

一 本表ニ掲グル數量ハ發航當時ニ備フベキモノヲ示ス航行中消費シタル爲右ノ數量ニ達セザルニ至リタルトキハ次ノ到著港ニ於テ能フ限り之ヲ補充スルコト

第四號表(第七十二條關係)

乙種衛生用品表

一 内用藥	品名	備考
アスピリン錠		
鹽酸キニーネ錠		
健胃錠		
コロダイン		
次硝酸着鉛錠		
重炭酸ソーダ		
ビタミンB製劑(脚氣藥)		

ヒマシ油	劇藥
白檀油又ハコバイバルサム	
葡萄酒	
ブロムワレリル尿素錠(一錠中主藥〇・一瓦)	
硫酸マグネシア(硫苦)	
磷酸コデイン錠(一錠中主藥〇・〇二瓦)	
ワレリルアセチルフエノールフタレイン錠(一錠中主藥〇・二瓦)	

二 外用藥

藥品名	備考	劇藥
亞鉛華オレフ油		
亞鉛華ゴム絆創膏		
アルコール		
アンモニア水		
オレフ油		
過酸化水素水		
稀ヨードチンキ		
グリセリン		
クレオソート		
クレゾール石鹼液		
サルチル酸アルコール(五%)		
水銀軟膏		
硼酸錠		

劇藥

備考

劇藥

硼酸軟膏
ビツク膏
ヨードホルム
硫酸亞鉛水(〇・五%)

三 醫療器械類

小外科器械
消毒盤
止血帶
ヌボイト
ゴムカテーテル
體溫計
灌腸器(イチヂク灌腸器)
洗眼コツプ
挿込便器
尿管
氷嚢
氷枕
懐爐
指サツク

四 綿帶材料

船員法施行規則

劇藥

ガーズ	昇承ガーズ
脱脂綿	卷綿帶
三角巾	綿フラネル
防水紙	片眼帶
副木	五 藥劑用品
藥袋	藥包紙
藥匙	漏斗
液量器	點眼瓶
膏藥筒	カプセル

現行海事法令

第一號書式(豎二九・七種)(第八條關係)

船員手帳交付申請書		船員手帳		第		號		氏名印		
船員手帳	交付年月日	男	女	別	※	出生年月日	※	年	月	日
本籍	※									
番										
船員手帳										
號										
第										
號										
氏名印										
印										

備考

- 一 ※欄ノミ申請者ニ於テ記載スルコト
- 二 氏名ニハ振假名ヲ附スルコト
- 三 男女別欄ニハ男子ナルトキハ記載ニ及バザルコト

第二號書式(豎二九・七種)(第十一條關係)

船員手帳訂正申請書		御中		申請者(氏名印)	
管海官廳名		御中		申請者(氏名印)	
船員手帳番號	第	號			
氏名	新(正)	舊(誤)			
本籍	新(正)	舊(誤)			
出生年月日	年	月	日		
訂正ノ事由	誤	正			

備考

- 一 不用ノ欄ニハ斜線ヲ劃スルコト
- 二 新舊(正誤)欄ノ氏名ニハ振假名ヲ附スルコト
- 三 訂正ノ事由欄ニハ「何年何月何日養子縁組ニ因リ轉籍シタルニ依ル」等ト記載スルコト

第三號書式(豎二九・七種)(第十三條關係)

船員手帳再交付(滅失、毀損、無餘白)申請書	
船員手帳番號	第 號
本籍	※
姓名	氏 名 印
出生年月日	※
男女別	※
船員手帳再交付年月日	年 月 日
原手帳交付管海官廳名、番號、滅失(毀損)ノ年月日、場所及事由	
※	

備考

- 一 ※欄ノミ申請者ニ於テ記載スルコト
- 二 氏名ニハ振假名ヲ附スルコト
- 三 男女別欄ニハ男子ナルトキハ記載ニ及バザルコト

- 四 原手帳番號不明ノ場合ニ於テハ原手帳番號不明ト記載スルコト又船員手帳滅失(毀損)ノ事由ハ成ルベク詳細ニ記載スルコト
- 五 第十三條第四項ノ規定ニ依リ船長ガ連署スル場合ニ於テハ船員手帳滅失(毀損)ノ事由ヲ記載シタル次行ニ當該船長ハ「右相違ナキコトヲ證明ス」ト記載シ署名捺印スルコト

第四號書式(第二十一條關係)

年 月 日 交付

(管海官廳) 第 號

海 員 手 帳

(管海官廳名印)

寫 眞 貼 附 欄

官廳名	年月日	公認地	雇入年月日	雇入年月日	雇入期間	給料	職務	船主姓名 又ハ名稱	總噸數	船名	船種	航行區域	又ハ制限	從業員數	機關ノ種別及馬力	船長氏名	標準報酬等級	認證書年月日	官廳印
	年 月 日		年 月 日						噸	船	丸								

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

修了年月日	養成所等ノ名稱及	船員ノ講習ヲ受ケタル學校ノ講習會	其ノ他ノ資格證明書		水夫適任證書及番號	救命艇手適任證書及番號	種類及番號			履歴關係
			第 號	第 號			免狀	免狀	免狀	
年 月 日			第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	
年 月 日			第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	

九

及公認年月日 官廳名	及雇止年月日 雇止地	雇止事由	新又ノ更		契約ノ更		雇入ノ事
			公認年月日及官廳名	事項	公認年月日及官廳名	事項	
年 月 日	年 月 日		年 月 日		年 月 日		
				等報標級酬準		等報標級酬準	
名官日年認 印廳及月證			名官日年認 日廳及月證		名官日年認 日廳及月證		

私
用

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

備考

- 一 船員手帳ノ大サハ一五糎、横一〇・五糎トス
- 二 第一頁ハ淡綠色紋彩刷トス
- 三 第四頁乃至第七頁ハ第三頁ニ同ジク第十頁以下ハ順次第八頁第九頁ニ同ジ最後ニ履歴關係欄、私用欄、船員手帳受有者心得及記載心得等ヲ附ス
- 四 官廳記事欄中第六頁及第七頁ハ船員保險法ニ關スル事項ヲ記載スルコト
- 五 第八頁以下ノ各欄ハ申請書ニ於テ之ヲ記載スルコト
- 六 機關ノ種類欄ニハ汽機又ハ發動機ノ別ヲ記載スルコト
- 七 機關部員以外ノ者ハ機關ノ欄ノ記載ヲ省略シ得ルコト
- 八 手當欄ニハ職務手當、勤続手當等ノ如ク支給額ガ確定セル手當ノ合金額ヲ記載スルコト但シ其ノ種別別ニ記載スルモ妨ナキコト
- 九 特ニ希望スル海員ノ船員手帳ニハ給料及手當ヲ記載セザルモ妨ナキコト
- 十 雇入契約ノ更新又ハ變更ノ事項欄ニハ更新又ハ變更ノ事項ノ外其ノ場所及年月日ヲ記載スルコト
- 十一 船員法第二十七條又ハ第二十八條第三項ノ規定ニ依リ存續セシメラレタル雇入契約ノ終了ノ場合ニハ雇止事由欄ニ雇止事由ノ外右ノ條文、存續期間及港(例ヘバ)期間滿了但シ法第二十八條ニ依リ何年何月何日何何港ヨリ何日間契約存續ノ如シヲ記載スルコト
- 十二 乗船、下船又ハ職務變更ノ證明ノ場合ニ在リテハ申請者ニ於テ給料、手當、雇入期間又ハ雇止事由ノ各欄ニ斜線ヲ劃シ其ノ他ノ各欄中「雇入」ヲ「乗船」ニ「雇止」ヲ「下船」ニ「雇入契約ノ更新又ハ變更」ヲ「職務變更」ニ「公認」ヲ「届出」ニ訂正スルコト此ノ場合ニ於テハ管海官廳ニ於テ「認證」トアルヲ「證明」ト訂正スルモノトス
- 十三 船長ノ就職又ハ退職ノ認證ノ場合ニ在リテハ船長ニ於テ給料、手當及雇入期間並ニ公認年月日及官廳名ノ各欄ニ

現行海軍法令

- 斜線ヲ劃シ其ノ他ノ各欄中「雇入」又ハ「雇止」トアルヲ「就職」又ハ「退職」ト訂正スルコト
- 十四 再認證ノ場合ニ於テハ最後公認ヲ受ケタルモノニ付記載ヲ爲スコト但シ雇入期間欄ニハ最後ノ雇入又ハ更新ノ年月日ヲ附記シ雇入年月日及雇入地欄ニハ斜線ヲ劃スコト此ノ場合ニ在リテハ管海官廳ニ於テ認證年月日及官廳名印欄ニ「再認證」ト附加(朱書)スルモノトス船長再認證及再證明ノ場合モ亦之ニ準ズルコト
- 十五 不用ノ欄ハ斜線ヲ劃スコト
- 十六 第五十六條ノ規定ニ依ル訂正ハ文字ヲ讀ミ得ベキ様抹消シ右側ニ訂正シタル事項ヲ記載スルコト
- 十七 外國航路ニ就航スル船舶ニ乗組ム船員ノ船員手帳ニ付テハ第一頁記載事項ノ左側ニ管海官廳ニ於テ、第六頁以下各頁ノ記載事項ノ左側ニ申請者ニ於テ英譯ヲ附シ得ルコト
- 十八 履歴關係欄ハ船員手帳受有者ニ於テ記載スルコト
「其ノ他ノ資格證明書」欄ニハ無線通信士資格檢定合格證書、聽守員證明書、醫師ノ免許書等ノ名稱及番號ヲ記載スルコト
- 十九 私用欄ニハ褒賞ヲ受ケタルコト其ノ他適宜ノ事項ヲ船員手帳受有者ニ於テ記載スルヲ得ルコト

第五號書式(豎二九・七欄)(横四二欄)(第二十九條關係)

年 月 日

報告者(氏名印)

(管海官廳名)
御 中
(件名)報告書

長 關 機		長 船		船 種	船 名	船 丸 第 號	船 籍 港	機 關 ノ 種 類 及 公 稱 馬 力	航 行 區 域 又 ハ 從 業 制 限
氏 名	住 所	氏 名	住 所						
海技免狀		海技免狀							
免狀第 號		免狀第 號							

船員法施行規則

現行海事法令

發航港及到達港
事實發生年月日時
事實ノ顛末

發航港

到達港

備考

- 一 報告者ノ肩書ニハ船長又ハ船舶所有者ト記載シ若シ船長ガ代理人ナシテ出頭セシメタルトキハ其ノ職務名ヲ記載スルコト(例ヘバ「船長何某代理人何等運轉士何某」ト記載スルガ如シ)
- 二 「(件名)報告書」ノ(件名)ノ箇所ニハ衝突、火災、救助、死亡等報告スベキ事實ノ件名ヲ記載スルコト
- 三 船舶ノ海難ニ關スル報告ニ付船舶ガ船級船ナルトキハ船級及旅客船、非旅客船等ノ別ヲ備考トシテ事實ノ顛末欄ノ末尾ニ記載スルコト
- 四 報告スベキ事項ガ機關ニ關セザルトキハ該當欄ハ記載スルヲ要セザルコト
- 五 事實ノ顛末ハ成ルベク詳細ニ之ヲ記載スルコト
- 六 他ノ船舶ノ遭難ヲ知リタルコトノ報告ノ場合ニハ遭難救助ニ赴カザリシ事由ヲ記載スルコト
- 七 報告書ガ二葉以上ニ互ルトキハ每葉ニ契印ヲ爲スコト

第六號書式(豎二九・七欄) (第三十四條關係)
横四二欄

乘組員實數				
計	他ノ其	部務事	部關機	部板甲
人	人	人	人	人

備考	計	第號	第號	第號	番船員手帳	海員氏名	年出月日	海免狀	職務	給料	報酬	手當	報酬	期入	職業者ノ姓名	摘要
					書ノ種類	其ノ他ノ種類	資格證明	種類	料準給計	月額	等級	間	ノ氏名又ハ			
	人	年月日	年月日	年月日												

(管海官廳名) 御 中

申請者 (氏 名 印)

備考

- 一 申請者ノ肩書ニハ船長又ハ船舶所有者ト記載シ若シ代理人ヲシテ出頭セシメタルトキハ其ノ職務名ヲ記載スルコト
(例ヘバ「船長何某代理人何等運轉士何某」ト記載スルガ如シ)
- 二 船舶ノ用途欄ニハ旅客船、貨物船、貨客船、油船、漁船等ノ區別ヲ記載スルコト
- 三 機關ノ種類欄ニハ汽機又ハ發動機ノ別ヲ記載スルコト
- 四 機關部員以外ノ者ノミノ雇入ニ付テハ機關ノ欄ノ記載ヲ省略シ得ルコト
- 五 海員氏名ノ記載順序ハ甲板部、機關部、事務部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職掌ノ順位ニ依ルコト
- 六 一等運轉士、二等運轉士、一等機關士又ハ二等機關士等二名以上乗組ムトキハ其ノ順位(例ヘバ首席、次席、三席等)ヲ職務名ノ上部ニ附記スルコト
- 七 手當欄ニハ職務手當、勤続手當等ノ如ク支給額ガ確定セル手當ノ合金額(準給料欄ニ記載シタル手當ヲ含ム)ヲ記載スルコト但シ其ノ種類別ニ記載スルモ妨ナキコト
- 八 職業紹介ヲ爲シタル者ノ氏名又ハ名稱欄ニハ船員職業無料紹介所ノ取扱ナルトキハ其ノ所名ヲ略記スルコト(例ヘバ海事協同會東京船員職業無料紹介所ノ紹介ナルトキハ「東京協同會」トスルガ如シ)有料其ノ他ノ場合ニ於テハ必ズ氏名又ハ名稱ヲ記載スルコト
- 九 海員ガ紹介者ナクシテ雇入ラレタルトキ、豫備員若ハ陸上勤務者ヨリ當該所有者ノ船舶ニ乗組テ命ゼラレタルトキ又ハ同一官廳ニ於テ同一船舶ニ付同時ニ雇止及雇入ノ公認ヲ受クルトキハ職業紹介ヲ爲シタル者ノ氏名又ハ名稱欄ニハ「ナシ」ト記載シ、同一所有者ノ船舶間ニ於テ轉船ヲ命ゼラレタルトキハ「何九ヨリ轉船」ト記載スルコト
- 十 乗組員實數欄中甲板部人員ニハ船長ヲ加算スルコト
- 十一 本欄ノ記載事項以外ニ特約アル場合ニハ備考欄ニ其ノ海員ノ氏名及特約ノ内容ヲ記載スルコト
- 十二 本欄ノ記載事項中出生年月日、準給料及計ノ各欄ノ記載ハ之ヲ省略シ得ルコト

第七號書式(豎二九・七種)(横四二種)(第三十六條關係)

乘組員實數		甲		機		事		其		他		計	
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

年 月 日		御 中		年 月 日		申請者 (氏 名 印)	
(管海官廳名)				雇止公認申請書			
船舶番號	船種	船名	船丸	船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱			
第 號	第 號	第 號	第 號				
雇止年月日	雇止地	出生年月日	雇入公認年月日及官廳名	職務	雇止事由	備考	
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日				
計	第 號	第 號	第 號	船員手帳番號	海員氏名	出 生	雇 入
人	人	人	人	人	人	年 月 日	年 月 日

備考

- 一 申請者ノ肩書ニハ船長又ハ船舶所有者ト記載シ若シ代理人テシテ出頭セシメタルトキハ其ノ職務名ヲ記載スルコト
(例ヘバ「船長何某代理人何等運轉士何某」ト記載スルガ如シ)
- 二 海員氏名ノ記載順序ハ甲板部、機關部、事務部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職掌ノ順位ニ依ルコト
- 三 乗組員實數欄ニハ雇止ラレタル者ヲ差引キタル員數ヲ記載スルコト
- 四 船員法第二十七條又ハ第二十八條第三項ノ規定ニ依リ存續セシメタル雇入契約ノ終了ノ場合ニハ雇止事由欄ニ雇止事由ノ外右ノ條文、存續期間及港(例ヘバ「期間満了但シ法第二十七條ニ依リ何年何月何日何港ヨリ何日間契約存續」ノ如シ)ヲ記載スルコト
- 五 雇止ニ際シ本欄記載事項以外ニ特約アルトキハ備考欄ニ之ヲ記載スルコト
- 六 本欄ノ記載事項中出生年月日欄ノ記載ハ之ヲ省略シ得ルコト

第八號書式(暨二九・七種) (第三十九條關係)

年 月 日

申請者 (氏 名 印)

船 舶 番 號		船 種 船 名		船 丸		及 船 舶 所 有 者 名 稱 住 所		船 名 又 ハ 名 稱		所 住 所		更 新 年 月 日		更 新 地 方		更 新 期 間 満 了 ノ 日		更 新 年 月 日		船 員 手 帳 番 號		海 員 氏 名		雇 入 日 及 公 認 ノ 年 月 日		職 務		更 新 シ タ ル 契 約 ノ 期 間		計																																																																					
																														第 一 號	第 二 號	第 三 號	第 四 號	第 五 號	第 六 號	第 七 號	第 八 號	第 九 號	第 十 號	第 十 一 號	第 十 二 號	第 十 三 號	第 十 四 號	第 十 五 號	第 十 六 號	第 十 七 號	第 十 八 號	第 十 九 號	第 二 十 號	第 二 十 一 號	第 二 十 二 號	第 二 十 三 號	第 二 十 四 號	第 二 十 五 號	第 二 十 六 號	第 二 十 七 號	第 二 十 八 號	第 二 十 九 號	第 三 十 號	第 三 十 一 號	第 三 十 二 號	第 三 十 三 號	第 三 十 四 號	第 三 十 五 號	第 三 十 六 號	第 三 十 七 號	第 三 十 八 號	第 三 十 九 號	第 四 十 號	第 四 十 一 號	第 四 十 二 號	第 四 十 三 號	第 四 十 四 號	第 四 十 五 號	第 四 十 六 號	第 四 十 七 號	第 四 十 八 號	第 四 十 九 號	第 五 十 號	第 五 十 一 號	第 五 十 二 號	第 五 十 三 號	第 五 十 四 號	第 五 十 五 號	第 五 十 六 號	第 五 十 七 號	第 五 十 八 號	第 五 十 九 號	第 六 十 號	第 六 十 一 號	第 六 十 二 號	第 六 十 三 號	第 六 十 四 號	第 六 十 五 號	第 六 十 六 號	第 六 十 七 號	第 六 十 八 號	第 六 十 九 號	第 七 十 號

- 一 申請者ノ肩書ニハ船長又ハ船舶所有者ト記載シ若シ代理人テシテ出頭セシメタルトキハ其ノ職務名ヲ記載スルコト(例ヘバ「船長何某代理人何等運轉士何某」ト記載スルガ如シ)
- 二 海員氏名ノ記載順序ハ甲板部、機關部、事務部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職掌ノ順位ニ依ルコト

第九號書式(豎二九・七種)(橫四二種)(第四十條關係)

(管海官廳名) 中 申請者 (氏 名印)

年 月 日

雇入契約變更公認申請書

第 號	船 舶 番 號	船 種 船 名	船 舶 所 有 者 ノ 住 所 及 氏 名 又 ハ 名 稱
	第 號	第 丸	
年 月 日	變 更 年 月 日	變 更 地	
年 月 日	出 生 年 月 日	雇 入 公 認 ノ 年 月 日 及 官 廳 名	
	海 技 免 狀 其 他 ノ 資 格 證 明 書 ノ 種 類		
舊	新	舊	新
		變 更 ノ 內 容	
		職 務	報 酬 月 額
		給 料 準 給 計	手 賞
			標 準 報 酬 等 級 其 他

第 號	年 月 日	年 月 日	新	舊
計	人	一	一	一

備考

- 一 申請者ノ肩書ニハ船長又ハ船舶所有者ト記載シ若シ代理人ヲシテ出頭セシメタルトキハ其ノ職務名ヲ記載スルコト
(例ハ「船長何某代理人何等運轉士何某」ト記載スルガ如シ)
- 二 海員氏名ノ記載順序ハ甲板部、機關部、事務部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職掌ノ順位ニ依ルコト
- 三 「其ノ他」ノ變更欄ニハ雇入期間ノ變更又ハ特約事項ノ設定廢止若ハ變更等ヲ記載スルコト
- 四 變更ノ内容欄中變更ナキモノニ付テハ斜線ヲ劃スコト但シ變更アリタル事項ヲ該欄ニ擴張シ記載スルモ妨ナキコト
- 五 本欄ノ記載事項中出生年月日、準給料及計ノ各欄ノ記載ハ之ヲ省略シ得ルコト

第十號書式(豎二九・七種)(橫四二種)(第四十六條關係)

年 月 日

(管海官廳名)

御 中

申請者 (氏

名 印)

再公認(海員名簿滅失、毀損)申請書

第 船 第 船 第 船 第 船 第 船 第 船	番 員 手 帳 帳	第 船 種 船 名	船 舶 所 有 者 ノ 住 所 及 氏 名 又 ハ 名 稱
第 號	第 號	第 號	第 號
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
及 公 認 ノ 年 月 日	職 務	給 料	手 當
	期 雇 間 入		

備 考	人	┆	┆	┆	┆	┆	┆	┆	┆	┆
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

備 考

- 一 申請者ノ肩書ニハ船長又ハ船舶所有者ト記載シ若シ代理人ナシテ出頭セシメタルトキハ其ノ職務名ヲ記載スルコト
(例ヘバ「船長何某代理人何等運轉士何某」ト記載スルガ如シ)
- 二 海員氏名ノ記載順序ハ甲板部、機關部、事務部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職掌ノ順位ニ依ルコト
- 三 船員手帳ガ滅失又ハ毀損シタル海員ノ船員手帳番號欄ノ上部ニハ〇印ヲ記載スルコト
- 四 各欄ニハ最後公認ヲ受ケタルモノヲ記載スルコト但シ雇入期間欄ニハ最後ノ雇入又ハ更新ノ年月日ヲ附記スルコト
- 五 備考欄ニハ本欄記載事項以外ノ特約ニシテ最後公認ヲ受ケタルモノニ付其ノ海員ノ氏名及特約ノ内容ヲ記載スルコト

第十一號書式(豎二九・七種)(第四十九條關係)

		(管海官廳名) 御中								(氏名印)	
		海員死亡(行方不明)届									
		船 舶 番 號	船 種 船 名	航 行 區 域 又 ハ 從 業 制 限 又	總 噸 數	船 舶 所 有 者 ノ 住 所 及 氏 名 又 ハ 名 稱					
		第 號	丸		噸						
		番 船 員 手 帳 號	氏 名	出 生 年 月 日	雇 入 年 月 日	雇 入 地	職 務	報 酬 月 額	手 當	死 亡 年 月 日 (行方不明)	
		第 號	名	年 月 日	年 月 日		給 料 準 給 料 計	標 準 報 酬 等 級			
計 人		第 號	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日					
		第 號	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日					
		第 號	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日					
		第 號	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日					
		第 號	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日					
		第 號	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日					

備考

- 一 船舶所有者(船長)ノ住所及氏名又ハ名稱(船長氏名)欄ニハ届出者ガ船長ナルトキハ船舶所有者、船舶所有者ナルトキハ船長ニ付記載スルコト
- 二 職務、給料及手當ノ各欄ニハ死亡又ハ行方不明當時ノモノヲ記載スルコト
- 三 本欄ノ記載事項中出生年月日、準給料及計ノ各欄ノ記載ハ之ヲ省略シ得ルコト

第十二號書式(イ)(用紙適宜)(第五十二條及第六十四條關係)

		(管海官廳名) 御中								(氏名印)	
		雇入公認認證(乗船證明)申請書									
		船 種 船 名	總 噸 數	航 行 區 域 又 ハ 從 業 制 限 又	種 類	公 稱	馬 力	船 長 氏 名			
		船 丸	噸		種 類	公 稱	馬 力				
		船舶所有者ノ氏名又ハ名稱									
		船 員 手 帳 號	職 務	給 料	手 當	雇 入 期 間					
		第 號									
		雇 入 年 月 日 (乘 船)	雇 入 地 (乘 船) 地	公 認 年 月 日 (届 出)	公 認 年 月 日 (届 出)	タ 公 認 官 廳 名					
		年 月 日		年 月 日	年 月 日	タ 公 認 官 廳 名					

備考

- 一 機關部員以外ノ者ハ機關ノ欄ノ記載ヲ省略シ得ルコト
- 二 機關ノ種類欄ニハ汽機又ハ發動機ノ別ヲ記載スルコト
- 三 乗船證明申請ノ場合ニハ給料、手當及雇入期間ノ各欄ニ斜線ヲ劃スコト

船員法施行規則

現行海事法令

第十二號書式(口)(用紙適宜)第五十二條及第六十四條關係

年 月 日

(管海官廳名) 御 中

雇止公認認證 下船證明)申請書

申請者 (氏 名印)

船種	船名	船舶所有者ノ氏名又ハ名稱
船丸		
船員手帳番號	職 務	雇 止 事 由
第 號		
雇止(下船)年月日	雇止(下船)地	公認(届出)年月日
年 月 日		シタル官廳名

備考

一 下船證明申請ノ場合ニハ雇止事由欄ニ斜線ヲ劃スコト

第十二號書式(ハ)(用紙適宜)第五十二條及第六十四條關係

年 月 日

(管海官廳名)

御 中

雇入契約更新公認認證(職務變更證明)申請書

申請者 (氏 名印)

船種	船名	船舶所有者ノ氏名又ハ名稱
船丸		
更新(變更)年月日	更新(變更)地	更新シタル契約ノ期間(變更)
年 月 日		
船員手帳番號	公認(届出)年月日	シタル官廳名
第 號	年 月 日	

船員法施行規則

第十二號書式(二)(用紙適宜)(第五十五條及第六十四條關係)

(管海官廳名) 御中									
再認證(船員手帳滅失、毀損)申請書									
申請者 (氏名印)									
船種船名		總噸數		航行區域又		種類		公稱馬力	
船丸		噸		限又		機		馬力	
船名又所有者ノ		船長氏名		公認(届出)年月日		公認(届出)シタル官廳名		馬力	
氏名		年		月		日		シタル官廳名	
船員手帳番號		職務		給料		手當		雇入期間	
第 號		第 號		第 號		第 號		第 號	

備考

- 一 機關ノ種類欄ニハ汽機又ハ發動機ノ別ヲ記載スルコト
- 二 機關部員以外ノ者ハ機關ノ欄ノ記載ヲ省略シ得ルコト
- 三 各欄ニハ最後公認ヲ受ケタルモノ(最後届出アリタルモノ)ニ付記載ヲ爲スコト但シ雇入期間欄ニハ最後ノ雇入又ハ更新ノ年月日ヲ附記スルコト
- 四 再證明申請ノ場合ニハ給料、手當及雇入期間ノ各欄ニ斜線ヲ劃スコト

第十三號書式(豎二九・七種)(横四二種)(第五十六條、第六十條及第六十四條關係)

(管海官廳名) 御中									
船員手帳記載事項訂正證明申請書									
船長 (氏名印)									
船種船名		船種船名		船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱		訂正スベキ事項ノ内容		新舊	
船丸		丸		名		新		舊	
船名又所有者ノ		船長氏名		公認(届出)年月日		公認(届出)シタル官廳名		馬力	
氏名		年		月		日		シタル官廳名	
船員手帳番號		職務		給料		手當		雇入期間	
第 號		第 號		第 號		第 號		第 號	
計		第 號		第 號		第 號		第 號	

備考

- 一 氏名ノ記載順序ハ甲板部、機關部、事務部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職掌ノ順位ニ依ルコト

船員法施行規則

第十四號書式(豎二九・七種)(第五十八條及第六十條關係)

		年 月 日		船 丸 船長 (氏 名 印)	
(管海官廳名) 御 中		船長就職認證申請書			
船 船 番 號	船 種	船 名	船 丸	船主所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	
第 噸 數	船 舶 ノ 用 途	航 行 區 域 又	丸		
船 員 手 帳 番 號	就 職 年 月 日	就 職 地			
第 海 技 免 狀 種 類	給 料	手 當			

備考
 一 船舶ノ用途欄ニハ旅客船、貨物船、貨客船、油輪船、漁船等ノ區別ヲ記載スルコト
 二 手當欄ニハ職務手當、勤続手當等ノ如ク支給額ヲ確定セル手當ノ金額ヲ記載スルコト但シ其ノ種類別ニ記載スルモ妨ナキコト
 三 再認證ノ場合ニ於テハ本申請書ヲ「船長就職再認證申請書」トスルコト此ノ場合ニ於テハ給料、手當ハ再認證ヲ受クル當時ノモノヲ記載スルコト

第十五號書式(豎二九・七種)(第五十八條關係)

		年 月 日		船 丸 船長 (氏 名 印)	
(管海官廳名) 御 中		船長退職認證申請書			
船 船 番 號	船 種	船 名	船 丸	船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	
第 號	就 職 認 證 ノ 年 月 日 及 官 廳 名	退 職 年 月 日	退 職 地	退 職 事 由	
船 員 手 帳 番 號	退 職 年 月 日				

乘組員實數																								
計	他ノ其	部務事	部關機	部板甲																				
人	人	人	人	人																				
計	第 號	第 號	第 號	番 船 員 手 帳 號	乘 船 者 氏 名	職 務	海技免狀其ノ他ノ 資格證明書ノ種類	給與ニ關スル事項	乘 船 年 月 日	乘 船 地	種 機 類 公 稱 馬 力	馬 力	(管海官廳名) 乘 御 船 中 届 届 出 者 (氏 名)	年 月 日	船 舶 番 號	船 種 船 名	船 種 船 名	總 噸 數	船 舶 用 途	航 行 區 域 又 ハ 從 業 制 限	船 舶 所 有 者 ノ 住 所 及 氏 名 又 ハ 名 稱			
																						噸	噸	
人																								

備考

- 一 船舶ノ用途欄ニハ旅客船、貨物船、貨客船、油船、漁船等ノ區別ヲ記載スルコト
- 二 機關ノ種類欄ハ汽機又ハ發動機ノ別ヲ記載スルコト
- 三 機關部員以外ノ者ノミノ乗船ニ付テハ機關ノ欄ノ記載ヲ省略シ得ルコト
- 四 乗船者氏名ノ記載順序ハ甲板部、機關部、事務部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職掌ノ順位ニ依ルコト
- 五 母船式漁業ニ従事スル母船ノ漁夫及雜夫其ノ他船員手帳ノ受有ヲ要セザル者ニ付テハ船員手帳番號欄ニハ斜線ヲ劃スコト
- 六 一等運轉士、二等運轉士、一等機關士又ハ二等機關士等二名以上乗組ムトキハ其ノ順位(例ハ首席、次席、川席)ヲ職務名ノ上部ニ附記スルコト
- 七 給與ニ關スル事項欄ニハ給料、手當等ノ給付ヲ受クル場合ニ於テ其ノ種類及金額ヲ記載スルコト
- 八 乗組員實數欄中甲板部人員ニハ船長ヲ加算スルコト

第十七號書式(豎二九・七種)(第六十一條關係)

乘組員實數										
計	他ノ其	部務事	部關機	部板甲						
人	人	人	人	人						
計	第	第	第	船員手帳番號	下船年月日	第	船	船	船	船
人	號	號	號	號	年 月 日	號	種	種	種	種
				下船者氏名	下	船	船	船	船	船
				乘船屆出ノ年	地	丸	丸	丸	丸	丸
				月日及官廳名	船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱					
				職	届出者 (氏 名 印)					
				務						

備考 一 下船者氏名ノ記載順序ハ甲板部、機關部、事務部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職掌ノ順位ニ依ルコト

二 乗組員實數欄ニハ下船シタル者ヲ差引キタル員數ヲ記載スルコト

第十八號書式(豎二九・七種)(第六十一條關係)

管海官廳名										
計	第	第	第	船員手帳番號	變更年月日	第	船	船	船	船
人	號	號	號	號	年 月 日	號	種	種	種	種
				乘船者	變更	船	船	船	船	船
				氏名	地	丸	丸	丸	丸	丸
				乘船屆出ノ年	船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱					
				海免狀其ノ他ノ資格證明書ノ種類	届出者 (氏 名 印)					
				新						
				舊						

備考 一 乗船者氏名ノ記載順序ハ甲板部、機關部、事務部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職掌ノ順位ニ依ルコト

船員法施行規則

年 月 日

(遞信局長名) 殿

報告者 (氏 名 印)

乘組員異動報告書 (年 至 月 月)

就 航 航 路

備 考	第 號	第 號	第 號	船員手帳番號	乘組員氏名	就 任	職 務	新 變 更	年 退 任	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	船 種	船 名	總噸數	用 途	機 關 稱 呼	馬 力 類 備 考	
																				第 號

備 考

- 一 船舶ニ關スル記事欄ニハ屆出期間中ニ就航シ又ハ離航スルニ至リタル船舶ヲモ記載シ備考欄ニ就航又ハ離航ノ年月日ヲ記載スルコト
- 二 船舶ノ用途欄ニハ旅客船、貨物船等ノ區別ヲ記載スルコト
- 三 機關ノ種類欄ニハ汽機又ハ發動機ノ別ヲ記載スルコト
- 四 乘組員ニ關スル記事欄ハ船舶ニ關スル記事欄ニ引續キ之ヲ設ケ又ハ別葉ニ之ヲ設ケルコト

第二十號書式(竪四二一種) (横二九七種) (第八十五條關係)

年 月 日

(遞信局長名) 殿

船員傷病等ノ報告書

年自 月至 月

船舶所有者(住所及氏名又ハ名稱印)

備考	船名				氏名	船種	職務	月給額	病名又ハ負傷ノ種類	原因(職務上ノ外ノ別及ム)	發病ノ年月日	發病ノ場所	治療ノ年月日	存續ニ就ケル身ノ程度	治療中ノ手當	葬祭料	扶助ノ種類
	船丸	船丸	船丸	船丸													

(其ノ一 個人別ノ欄)

(其ノ二 合計ノ欄)

備考	病名ノ種類及人員數						職務ニ因ルモノ						職務ニ因ラザルモノ						扶助ノ種類						人員數	延日數	合金額	同上中共濟組合等ヨリ支辨シタル額						
	計	人	人	人	人	人	故意又ハ過失ナキモノ	故意又ハ過失アルモノ	重過失アルモノ	重過失アルモノ	重過失アルモノ	重過失アルモノ	療養中ノ手當	失業手當	葬祭料	(其ノ他ノ種類別)	計	人	人	人	人	人	人	日					日	日	日	日	日	

備考

- 一 本表ニハ疾病又ハ傷病ノ爲雇入契約存續(就職)中引續キ三日以上勞務ニ服セザリシ者ニ限り記載スルコト但シ死亡シ又ハ雇止(退職)シタル者ハ三日ニ滿タザルトキト雖モ之ヲ記載スルコト
- 二 記載ノ順序ハ治療若ハ死亡シ又ハ扶助終了シタル者ニ付發病又ハ負傷シタル日ノ順ニ依ルコト

船員法施行規則

現行海事法令

- 三 女子ノ氏名ノ上部ニハ〇印ヲ附スルコト
- 四 船種船名、職務及給料月額ハ發病又ハ負傷當時ノモノヲ記載スルコト
- 五 發病又ハ負傷ノ場所欄ニハ船舶ノ位置及船内ノ場所ヲ記載スルコト(例ヘバ「印度洋航行中、機關室」、「横濱港碇泊中、甲板」等ト記載スルガ如シ)
- 六 一旦治癒シタル後再發シタルトキハ之ヲ別ニ記載スルコト

第二十一號書式(豎二九・七種)(第八十五條關係)

年 月 日

(遞信局長名) 殿

雇止(退職)船員ニ對スル手當支給報告書

(年 自 月)

船舶所有者(住所及氏名又ハ名稱印)

備 考	計 人	雇止(退職)事由	職 務	別 人	員 數	手 當	額
					人		
					人		
					人		
					人		

第二十二號書式(豎二九・七種)(第八十五條關係)

年 月 日

(遞信局長名) 殿

船員送還報告書

(年 自 月)

船舶所有者(住所及氏名又ハ名稱印)

備 考	計 人	氏 名	船 種	船 名	職 務	給 料	送還事由	送還期間	送還區間	送還費用
			船	丸				至自 年 年 月 月		
			船	丸				至自 年 年 月 月		
			船	丸				至自 年 年 月 月		

備考

- 一 記載ノ順序ハ送還終了シタル者ニ付送還開始ノ日ノ順ニ依ルコト
- 二 送還ニ代ヘテ費用ヲ支給シタルトキハ送還費用欄ニ其ノ旨ヲ、送還期間欄ニ費用ヲ支給シタル年月日ヲ、送還區間欄ニハ費用支出ノ算出基準ト爲リタル區間ヲ記載スルコト

船員法施行規則

現行海事法令

第二十三號書式(豎二九・七輝)(横四二・一輝)(第八十六條關係)

年 月 日

(逕信局長名) 殿

(共濟組合其ノ他ノ扶助施設ノ名稱) 給付狀況報告書

年 自 至 月 月

代表者 (住所及 氏名又ハ名稱印)

備 計 考	給 付 ノ 種 類	給 付 ヲ 受 ケ タ ル 人 員 數	給 付 金 額	
			人	額
			人	
			人	
			人	
			人	

第二十四號書式(豎八・五輝)(横六・一輝)(第九十四條關係)

(表)

船 船 臨 檢 査 票	逕 信 省 印
第 號	官 氏 名
通 信 省	

船員法施行規則

船員法摘要

(裏)

第四十二條 管海官廳ハ必要アリト認ムルトキハ當該官吏ナシ
 テ船舶ニ臨檢セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ
 其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帶スベシ

第六十二條 船舶所有者又ハ乗組員ガ左ニ該當スル場合ニ於テ
 ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

三 當該官吏ノ臨檢ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタルトキ

第二十五號書式(用紙適宜)(第九十九條關係)

年 月 日

申請者 (氏

名 印)

(官 廳 名)

御 中

手 數 料 納 付 書

何 何 申 請 何 件 (事 項、通、人)

右 手 數 料 金

圓 錢

印 紙

備 考

- 一 船員手帳ノ訂正ヲ申請スル場合ニハ訂正事項何事項、報告書ノ認證ヲ申請スル場合ニハ報告書何通、公認ヲ申請スル場
 合ニハ海員何人ト記載スルコト
- 二 二人以上ノ者ガ同一船舶ニ付同種ノ公認ノ認證又ハ乗船、下船若ハ職務變更ノ證明ヲ申請シタル場合其ノ手数料ヲ同時
 ニ納付スルトキハ其ノ代表者(代理人)ニ於テ取纏メ本納付書一通ニ依リ納付スルコトヲ得ルコト此ノ場合ニ於テハ申請
 者欄ニハ「外何人」ト附記スルコト
- 三 申請者ハ收入印紙ノ消印ヲセザルコト

船員法取扱手續

昭和十三年三月二十五日改正(昭和十五年四月)
逓信省公報第四百五十二號(公達四八四號)

第一章 通 則

第一條 管海官廳ニ於テ誤記又ハ脱字シタル爲書類ノ文字ヲ訂正、削除又ハ挿入スルトキハ訂正又ハ削除スベキ文字ハ之ヲ讀ミ得ベキ様抹消シ訂正、削除又ハ挿入シタル箇所ニ第一號書式ノ官廳印ヲ押捺スベシ

第二條 海員名簿、船員手帳、船員法施行規則(以下單ニ規則ト稱ス)第二十六條ノ遺留品目錄又ハ同第三十條ノ書類ノ記載ニ誤記又ハ脱字アリタル爲文字ノ訂正、削除又ハ挿入アリタルトキハ其ノ箇所ニ第一號書式ノ官廳印ヲ押捺スベシ

第三條 左ノ場合ニ使用スル官廳印ハ第二號書式ニ依ルベシ

- 一 航海日誌ノ檢閲
- 二 公認若ハ再公認、公認ノ認證若ハ再認證、船長ノ就職又ハ退職ノ認證若ハ再認證、乗船、下船又ハ職務變更ノ認證若ハ再認證
- 三 海員名簿又ハ船員手帳ノ官廳記事欄ノ押捺

四 各種ノ申請書、屆書又ハ報告書ノ右方上欄ノ押捺

第四條 管海官廳ニハ第三號書式ノ事務取扱簿ヲ備置クベシ

第五條 逓信局ニハ許可簿ヲ備置キ之ニ船員法施行令(以下單ニ施行令ト稱ス)第七條、第十一條、第二十五條若ハ第三十一條又ハ規則第六十三條ノ許可ニ關シ其ノ内容、變更、取消其ノ他必要ナル事項ヲ記載スベシ

第六條 逓信局ニハ報告書受理簿ヲ備置キ之ニ規則第八十五條乃至第八十九條ノ報告ニ關シ其ノ受理年月日、報告書ノ名稱、提出者ノ氏名其ノ他必要ナル事項ヲ記載スベシ

- 第七條 左ノ書類ハ左ノ期間管海官廳ニ之ヲ保存スベシ
 - 一 船員手帳交付(再交付)申請書 永久
 - 二 前號ノ添附書類 三年
 - 三 船員手帳ノ正申請書 一年
 - 四 規則第十七條、第十八條又ハ第二十條ノ疏明書類 一年
 - 五 船員法第十五條ノ報告書 十五年
 - 六 遺留品目錄 十五年
 - 七 削除
 - 八 施行令第七條、第十一條、第二十五條若ハ第三十一條又ハ規則第六十三條ノ許可申請書(許可ノ效力終了後) 一年

九 事務取扱簿、許可簿及報告書受理簿 三年
十 手数料納付書 一年

第八條 管船局ニ送付スル左ノ書類ハ左ノ順序ニ依リ一括シ
業數ヲ附記シタル目次ヲ附スベシ

- 一 船員原簿
- 二 船員手帳訂正報告書
- 三 船員手帳再交付報告書
- 四 返還(提出)船員手帳處理報告書
- 五 期間經過船員手帳處理報告書
- 六 船員手帳受拂報告書
- 七 雇入(雇止、更新、變更)公認(再公認)申請書
- 七ノ二 公認ノ認證(再認證)申請書及乗下船等ノ證明(再證明)申請書
- 八 海員死亡(行方不明)届
- 九 船員手帳記載事項訂正證明申請書
- 十 船長就職(退職)認證(再認證)申請書
- 十一 乗船(下船、職務變更)届
- 十二 乗組員異動報告書
- 十三 手数料收入報告書
- 十四 手数料納付書
- 第九條 逓信局海事部分室、逓信局海事部出張所、同分室又
船員法取扱手續

ハ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長若ハ之ニ準ズル者ガ其ノ取扱事務ニ關スル事故ニ付管船局ニ發スル照復文書ハ所轄逓信局海事部ヲ經由スベシ

第二章 最低年齢

第十條 規則第一條又ハ第二條第一項ノ許可又ハ追認ヲ爲シタルトキハ申請書ノ一通ノ終尾ニ左ノ文例ニ依リ記載シ之ヲ許可書トシテ申請者ニ交付スベシ

年 月 日 逓信局長 名 印

第十一條 規則第一條又ハ第二條第一項ノ許可又ハ追認ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ事項及年月日ヲ管船局ニ報告スベシ

規則第二條第二項ノ届アリタルトキハ其ノ寫ヲ遲滯ナク管船局ニ送付スベシ

第三章 船員手帳

第十二條 船員手帳交付ノ申請アリタルトキハ申請者ニ就キ左ノ事項ヲ確ムベシ

- 一 申請書ニ記載シタル事項ヲ規則第八條第一項ノ添附書類同條第三項ノ場合ニ在リテハ戶籍簿其ノ他ノ公簿ト照合シ氏名、本籍及出生年月日ヲ取糾シタル上本人ニ

八五

相違ナキヤ

二 船員法第四條ノ規定ニ違反セザルヤ

三 新ニ船員手帳ヲ受有スルコトヲ要スル者ナルヤ又ハ船員手帳ヲ受有シ若ハ嘗テ受有シ居タル者ナル場合ニハ當該船員手帳ガ無効ノモノナルヤ

四 現ニ船舶ニ乗組ム際申請スルモノナルヤ

五 申請者ガ未成年者ナル場合ニハ規則第九條ノ書類ヲ取調ベタル上申請者ガ船員タラントスル意思確實ナルヤ且事實法定代理人ノ許可ヲ得タルモノナルヤ此ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ法定代理人ノ印鑑證明書ヲ徴シ得ルコト

第十三條 前條ノ取調ヲ爲シ正當ト認メタルトキハ船員手帳ニ書式ニ從ヒ左ノ事項ヲ記載シ管海官廳印ヲ押捺シテ之ヲ申請者ニ交付スベシ

一 船員手帳交付年月日

二 船員手帳番號(管海官廳名略號ヲ冠附スルコト)

三 管海官廳名

四 氏名、本籍及出生年月日

前項第四號ノ氏名ニハ片假名ニテ振假名ヲ附スベシ但シ外國人ノ氏名ハ左側ニ原字、右側ニ片假名ノ兩様ニテ記載スベシ

船員手帳ノ見返シ白紙裏面ト初葉表面及初葉裏面ト第一頁ニ亙リ各一箇所適宜ノ場所ニ管海官廳印ヲ以テ契印ヲ爲スベシ

第十四條 期間經過船員手帳受有者ニ船員手帳ヲ交付シタルトキハ期間經過船員手帳ノ官廳記事欄ニ左ノ文例ニ依リ記載シ其ノ終尾ニ官廳印ヲ押捺スベシ

第十五條 船員手帳ヲ交付シタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ
何年何月何日期間經過ニ因リ何何第何號交付

一 事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スルコト

二 船員手帳交付申請書ノ相當欄ニ船員手帳番號及交付年月日ヲ記載シ之ヲ船員手帳ノ番號順ニ綴リ置クコト

三 船員原簿用紙ニ必要ナル事項ヲ記載シ一月毎ニ取調メ翌月七日迄ニ之ヲ管船局ニ送付スルコト

第十六條 規則第十條ニ依リ船員手帳訂正ノ申請アリタルトキハ申請書ニ記載シタル事項ヲ船員手帳及規則第八條第一項ノ添附書類、同條第三項ノ場合ニ在リテハ戶籍簿其ノ他ノ公簿ト照合シ正當ト認メタルトキハ船員手帳ヲ訂正シ(但シ訂正シタル箇所ニ認印スルコトヲ要セズ)且其ノ官廳記事欄ニ左ノ文例ニ依リ記載シ其ノ終尾ニ官廳印ヲ押捺シテ之ヲ申請者ニ還付スベシ

何年何月何日何何トアルヲ何何ト訂正

氏名又ハ本籍ニ二回以上變更アリタル者ヨリ同時ニ船員手帳訂正ノ申請アリタルトキハ船員手帳ノ氏名又ハ本籍欄ハ最後ニ變更アリタルモノニ訂正シ其ノ官廳記事欄ニハ各變更ノ顛末ヲ附記スベシ此ノ場合ニ於テ訂正ノ手数料ハ變更ノ回数ニ應ジ之ヲ徵收スベシ
無効ノ船員手帳ハ前二項ニ依リ限ニ在ラズ

第十七條 前條ノ訂正ヲ爲シタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一 事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スルコト

二 船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳ガ訂正シタル場合ニハ船員手帳交付(再交付)申請書ノ相當欄ヲ訂正シ其ノ餘白ニ左ノ文例ニ依リ記載スルコト此ノ場合ニ於テ前條第二項ニ依リ訂正ノ場合ニハ當該申請書ノ相當欄ヲ最後ニ變更アリタルモノニ訂正シ其ノ餘白ニ各變更ノ顛末ヲ附記スルコト

何年何月何日何何トアルヲ何何ト訂正

三 船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳以外ノ管海官廳ガ訂正シタル場合ニハ其ノ都度遲滞ナク船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳ニ第四號書式ノ報告書ヲ送付スルコト

四 第四號書式ノ報告書ヲ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スルコト

船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳ガ當該船員手帳ニ付前項第三號ノ報告ヲ受ケタルトキハ船員手帳交付(再交付)申請書ノ相當欄ヲ訂正シ其ノ餘白ニ左ノ文例ニ依リ記載スベシ但シ前條第二項ニ依リ訂正ノ場合ニハ當該申請書ノ相當欄ヲ最後ニ變更アリタルモノニ訂正シ其ノ餘白ニ各變更ノ顛末ヲ附記スベシ

何年何月何日何何トアルヲ何何ト訂正

第十八條 船員手帳再交付ノ申請アリタルトキハ申請者ニ就キ左ノ事項ヲ確ムベシ

一 申請書ニ記載シタル事項ヲ規則第八條第一項ノ添附書類、同條第三項ノ場合ニ在リテハ戶籍簿其ノ他ノ公簿又ハ毀損若ハ無餘白ノ船員手帳ト照合シ氏名、本籍及出生年月日ヲ取糾シタル上本人ニ相違ナキヤ

二 原船員手帳ノ交付(再交付)管海官廳名及番號、滅失(毀損)ノ年月日、場所及事由又ハ之ニ餘白ナキコト並ニ該船員手帳ガ無効ノモノニ非ザルヤ此ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ申請者ヨリ管船局ノ最後履止證明書ヲ徴シ得ルコト

第十九條 前條ノ取調ヲ爲シ正當ト認メタルトキハ船員手帳ニ書式ニ從ヒ左ノ事項ヲ記載シ管海官廳印ヲ押捺シテ之ヲ申請者ニ交付スベシ

- 一 船員手帳再交付年月日(下方ニ滅失、毀損又ハ無餘白ノ別ヲ記載スルコト)
 - 二 船員手帳番號(管海官廳名略號及新番號ヲ附スルコト)
 - 三 管海官廳名
 - 四 氏名、本籍及出生年月日
- 第十三條第二項及第三項ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第二十條 船員手帳ヲ再交付シタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

- 一 事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スルコト
- 二 船員手帳再交付申請書ノ相當欄ニ船員手帳番號及再交付年月日ヲ記載シ之ヲ船員手帳ノ番號順ニ綴リ置クコト
- 三 原船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳ガ船員手帳ヲ再交付シタル場合ニハ船員手帳交付(再交付)申請書ノ餘白ニ左ノ文例ニ依リ記載シ其ノ全葉ニ朱線ヲ劃スコト
- 四 原船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳以外ノ管海官廳ガ船員手帳ヲ再交付シタル場合ニハ其ノ都度遲滞ナク原船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳ニ第五號書式ノ報告書ヲ送付スルコト但シ原船員手帳ノ番號不明ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 五 第五號書式ノ報告書ヲ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スル

船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳ガ當該船員手帳ニ付前項第四號ノ報告ヲ受ケタルトキハ同項第三號ノ手續ヲ爲スベシ管船局ヨリ番號不明ノ原船員手帳ノ再交付ニ關スル報告ヲ受ケタルトキ亦同シ

第二十一條 規則第十四條ニ依リ船員手帳ヲ申請者ニ還付スルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

- 一 船員手帳ノ初葉表面ニ「毀損(無餘白又ハ滅失)ニ因リ何何第何號再交付」ト朱書スルコト
- 二 船員手帳ノ左方上部ニ適宜穴ヲ穿ツコト

- 第二十二條 規則第十五條ニ依リ寫眞ノ提出アリタルトキハ之ヲ書式ニ從ヒ船員手帳ニ貼附シ右方上部ニ「何年何月何日貼附(再貼附)」ト記載シ且左方下部ニ寫眞ト紙面ニ互リテ管海官廳印ヲ捺捺スベシ
- 第二十三條 船員手帳ノ返還アリタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ
 - 一 死亡又ハ脱船ノ事由ニ因リ返還アリタル場合ニハ返還者ニ就キ死亡又ハ脱船年月日、場所及事實ヲ確ムルコト
 - 二 事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スルコト
 - 三 船員手帳ノ左方上部ニ適宜穴ヲ穿ツコト
 - 四 本人又ハ其ノ遺族ニ附與スル船員手帳ニハ其ノ初葉表

面ニ「廢業(死亡)」ト朱書スルコト

- 五 船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳ガ返還ヲ受ケタル場合ニハ船員手帳交付(再交付)申請書ノ餘白ニ左ノ文例ニ依リ記載シ其ノ全葉ニ朱線ヲ劃スコト
 - 六 船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳以外ノ管海官廳ガ返還ヲ受ケタル場合ニハ其ノ都度遲滞ナク船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳ニ第六號書式ノ報告書ヲ送付スルコト但シ船員手帳ノ番號不明ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ
 - 七 第六號書式ノ報告書ヲ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スルコト
- 船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳ガ當該船員手帳ニ付前項第六號ノ報告ヲ受ケタルトキハ船員手帳交付(再交付)申請書ノ餘白ニ左ノ文例ニ依リ記載シ其ノ全葉ニ朱線ヲ劃スベシ管船局ヨリ番號不明ノ船員手帳ノ返還ニ關スル報告ヲ受ケタルトキ亦同シ
- 何何ニ因リ何年何月何日何處ニ於テ返還(本人又ハ遺族ニ附與)
- 第二十四條 規則第十八條ニ依リ船員手帳ノ提出アリタルトキハ提出者ニ就キ該船員手帳ヲ保管スルニ至リタル事由及

船員法取扱手續

本人ノ所在分明ナラザル爲還付スルコト能ハザルモノナルヤヲ確メ事實相違ナシト認メタルトキハ之ヲ受理スベシ受理シタル船員手帳ハ之ヲ保管シ且事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スベシ

前項ノ船員手帳ヲ規則第十八條第二項ニ依リ廢棄スルトキハ前條ヲ準用ス

- 第二十五條 規則第十九條第二項ニ依リ船員手帳ノ提出アリタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ
- 第二十三條ノ手續ヲ爲スベシ
 - 一 事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スルコト
 - 二 船員手帳ノ初葉表面ニ「期間經過」ト朱書シ且船員手帳ノ左方上部ニ適宜穴ヲ穿ツコト
 - 三 船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳ガ前號ノ手續ヲ爲シタル場合ニハ船員手帳交付(再交付)申請書ノ餘白ニ左ノ文例ニ依リ記載シ其ノ全葉ニ朱線ヲ劃スコト
- 何年何月何日期間經過處理(何何第何號交付)
- 四 船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳以外ノ管海官廳ガ第二號ノ手續ヲ爲シタル場合ニハ其ノ都度遲滞ナク船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳ニ第七號書式ノ報告書ヲ送付スルコト但シ船員手帳ノ番號不明ナルトキ

ハ此ノ限ニ在ラズ

五 第七號書式ノ報告書ヲ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スルコト

船員手帳ヲ交付(再交付)シタル管海官廳ガ當該船員手帳ニ付前項第四號ノ報告ヲ受ケタルトキハ船員手帳交付(再交付)申請書ノ餘白ニ左ノ文例ニ依リ記載シ其ノ全葉ニ朱線ヲ劃スベシ管船局ヨリ不號不明ノ船員手帳ノ期間經過處理ニ關スル報告ヲ受ケタルトキ亦同ジ

何年何月何日何處ニ於テ期間經過處理(何何第何號交付)

第二十六條 規則第二十條ニ依リ書類ノ提出アリタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一 規則第十七條第一項ニ依リ返還スベキ船員手帳ナル場合ニハ第二十三條ニ準ズルコト

二 規則第十八條第一項ニ依リ提出スベキ船員手帳ナル場合ニハ第二十四條ニ準ズルコト

三 規則第十九條第一項ニ依リ檢閲ニ供スベキ船員手帳ナル場合ニハ前條ニ準ズルコト

前項ノ場合ニ於テハ事務取扱簿、船員手帳交付(再交付)申請書並ニ管船局及管海官廳ヘノ報告書ニ「船員手帳返還(提出又ハ檢閲)不能」ト朱書スベシ

第二十七條 船員手帳及船員原簿用紙ハ三分ノ所要數ヲ豫

タル航海日誌ヲ檢閲シ其ノ官廳記事欄ニ左ノ文例ニ依リ記載シ其ノ終尾ニ官廳印ヲ捺捺スベシ

第何頁何何ノ件報告書提出

前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スベシ

第三十一條 規則第三十條ニ依リ書類ノ認證ノ申請アリタルトキハ之ヲ航海日誌ト照合シ且必要ニ應ジ船員法第四十二條ノ措置其ノ他適當ナル方法ヲ講ジ事實ヲ確メ左ノ手續ヲ爲スベシ

一 申請ニ係ル書類ニ記載スル事實ノ内容確實ナリト認メタル場合ニハ甲號文例ニ、事實ノ内容確實ナラザルモ事實アリタルコトヲ認メタル場合ニハ乙號文例ニ依リ該書類ノ終尾ニ記載スルコト此ノ場合ニ於テ書類二葉以上ニ亙ルトキハ管海官廳印ヲ以テ每葉ニ契印スルコト

甲 何何(書類ノ名稱)ヲ檢閲シ(事實ヲ確メタル方法ヲ記載スルコト)右書類ニ記載スル事實アリタルコトヲ認證ス

年 月 日 管海官廳名印

乙 何何(書類ノ名稱)ヲ檢閲シ(事實ヲ確メタル方法ヲ記載スルコト)何何アリタルコトヲ認證ス

船員法取扱手續

メ管船局ニ請求スベシ

船員手帳ノ受拂ニ關シ第八號書式ノ報告書ヲ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スベシ

第四章 船長

第二十八條 遺留品目録ノ證明ノ申請アリタル場合ニ於テ記載ニ相違ナシト認メタルトキハ遺留品目録ノ終尾ニ左ノ文例ニ依リ記載スベシ

右相違ナキコトヲ證明ス

年 月 日

管海官廳名印

前項ノ證明ヲ爲シタルトキハ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スベシ

第二十九條 規則第二十七條ニ依リ遺留品及遺留品目録ノ提出アリタル場合ニ於テ相續人其ノ他ノ權利者ノ存否又ハ所在ガ分明ナラザルコト確實ナリト認メタルトキハ之ヲ受領シ死亡シタル者ガ行旅死亡人ト認メラルトキハ行旅病人及行旅死亡人取扱法ニ依リ遺留品及遺留品目録ヲ最寄市町村長ニ、行方不明ト爲リタル者ノ遺留品ガ置去リタル物件ト認メラルトキハ遺留品及遺留品目録ヲ遺失物法ニ依リ最寄警察署ニ送付シ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スベシ

第三十條 規則第二十九條ノ報告ヲ受ケタルトキハ提出アリ

年 月 日

管海官廳名印

二 前號ノ認證ヲ爲シタルトキハ航海日誌ノ官廳記事欄ニ左ノ文例ニ依リ記載シ其ノ終尾ニ第二號書式ノ官廳印ヲ捺捺スルコト

第何頁何何ノ件(甲)(乙)ニ依リ認證

三 他ノ管海官廳ニ於テ認證ヲ爲シタル事項ニ付更ニ認證ノ申請アリタルトキハ申請ニ係ル書類ニ記載シタル事實ノ内容ヲ航海日誌ニ記載シタル事實ノ内容ト照合シ之ニ相違ナキコトヲ確メタル上他ノ管海官廳ニ於テ爲シタル同様ノ認證ヲ爲スコト

四 認證ヲ爲シタルトキハ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スルコト

第五章 乗船又ハ下船等ニ關スル手續

第一節 公認

第三十二條 公認ハ左ノ手續ニ依ルベシ

一 當事者ガ代理人ヲシテ出頭セシメタルトキハ其ノ理由ヲ取調ベ事情已ムコトヲ得ズト認メタル場合ニ限り之ヲ認ムルコト但シ代理人ハ成ルベク左ノ各號ニ依ラシムルコト

イ 船長又ハ船舶所有者ノ代理人トシテハ運轉士、事務

- 員又ハ公認ヲ受クベキ海員ガ機關部員ノミナルトキハ機關長若ハ機關士、醫務關係員若ハ無線通信關係員ノミナルトキハ其ノ長若ハ首席者
- 高等海員ノ代理人トシテハ他ノ高等海員、他ノ高等海員ナキトキハ其ノ他ノ海員
- 普通海員ノ代理人トシテハ同一部ニ屬スル他ノ普通海員、同一部ニ屬スル他ノ普通海員ナキトキハ其ノ他ノ海員
- 二 船長又ハ船舶所有者及海員ガ入場シタルトキハ先ヅ海員名簿ニ記載シタル事項中總員ニ共通ナル事項ヲ讀開カセテ次テ海員名簿ニ記載シタル順序ニ依リ船長又ハ船舶所有者及各海員ヲ呼出ダシ之ニ特別ナル事項ヲ讀開カセ雙方異議ナキトキハ海員名簿ノ該賞欄ニ官廳印ヲ押捺スルコト但シ海員ガ少數ナルトキ又ハ總員ニ讀開カスベキ事項ガ同様ナルトキハ同時ニ總テノ事項ヲ總員ニ讀開カスモ妨ゲナキコト
- 三 海員名簿ニ記載シタル事項ハ之ヲ明瞭ニ讀開カセ其ノ趣旨ヲ了解セザル者アルトキハ之ヲ説明シテ納得セシムルコト
- 四 公認ヲ爲サザル者アルトキハ海員名簿及公認申請書ノ其ノ者ノ欄ニ朱線ヲ劃シ且海員名簿ノ當該欄ニハ第一號

- 書式ノ官廳印ヲ押捺スルコト
 - 五 施行令第三條第一項又ハ第二項ノ場合ニ於テハ海員名簿ノ當該海員ノ備考欄ニ左ノ文例ニ依リ記載スルコト
船員法施行令第三條第一項(第二項)ニ依ル
 - 六 雇止、更新又ハ變更ノ公認アリタルトキハ海員名簿ノ當該海員ノ備考欄ニ「雇止公認済」、「更新公認済」又ハ「職務(給料、手當、其ノ他)變更公認済」ト朱書スルコト
 - 七 公認ヲ爲シタルトキハ書式ニ從ヒ事務取扱簿ニ記載スルコト
 - 八 公認ヲ爲シタルトキハ公認申請書ノ右方上欄ニ官廳印ヲ押捺シ一月毎ニ取纏メ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スルコト
- 第三十三條** 左ノ場合ニ於テハ公認ヲ爲ス限ニ在ラズ
- 一 最後ノ退職、雇止又ハ下船ノ證據ヲ有セザル海員ニ付雇入公認ノ申請アリタルトキ但シ公認ニ際シ新ニ船員ト爲リタル者又ハ規則第七條第二項若ハ第三項ニ依リ船員手帳ヲ交付セラレタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
 - 二 海技免狀其ノ他ノ資格證明書ヲ受有セザル海員ニ付之ヲ受有スルコトヲ要スル職務ニ雇入又ハ職務變更ノ公認ノ申請アリタルトキ

- 三 船員ノ最低年齢ニ關スル規定ニ違反シ雇入公認ノ申請アリタルトキ
 - 四 海員名簿ニ記載シタル事項ニ關シ當事者間ニ異議アリテ決セザルトキ
 - 五 其ノ他法令ニ違反シ又ハ海員ノ保護ニ著シク支障アリト認メラルル雇入契約ニ付公認ノ申請アリタルトキ
- 第三十四條** 船長又ハ船舶所有者ガ公認ノ申請ヲ爲シタル場合ニ於テハ海員ガ出頭セザルトキハ其ノ出頭セザル事由ヲ取調べ病氣其ノ他已ムコトヲ得ザル事由アリト認メタルトキニ限り公認ヲ爲スベシ但シ海員ノ保護ニ支障アリト認メタルトキハ海員ノ出頭ヲ命ジ事情ヲ取判シタル後ニ非ザレバ公認ヲ爲スベカラズ
- 海員ノ出頭ナクシテ公認ヲ爲シタルトキハ海員名簿ノ當該海員ノ備考欄ニ左ノ文例ニ依リ記載スベシ
- 何何(出頭セザル事由ヲ記載ス)ニ因リ不出頭
- 第一項ニ依リ公認ヲ爲シタルトキハ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スベシ
- 第三十五條** 海員ヨリ規則第四十四條ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ノ正當ナルヤ否ヤヲ取調べ理由ナシト認メタルトキハ其ノ旨ヲ告ゲテ之ヲ却下シ理由アリト認メタルトキハ必要ニ應ジ船長又ハ船舶所有者ヲ呼出シ爭ニ關シ各意見ヲ

船員法取扱手續

- 述ベシムベシ
- 前項ノ手續ヲ爲シタル後申立テ正當ト認メタルトキハ船長又ハ船舶所有者ヲシテ雇止公認申請書ヲ提出セシメ公認ヲ爲スベシ此ノ場合ニ於テハ海員名簿ノ當該海員ノ備考欄ニ左ノ文例ニ依リ記載スベシ
- 船員法施行規則第四十四條ニ依ル
- 前項ニ依リ公認ヲ爲シタルトキハ事務取扱簿ノ書式ニ從ヒ記載スベシ
- 第三十六條** 再公認ハ左ノ手續ニ依ルベシ
- 一 船員手帳ヲ受有スル海員ニ付テハ海員名簿ニ記載シタル事項ヲ船員手帳ニ記載シタル事項ト照合シ相違ナキヤ船員手帳ヲ受有セザル海員ニ付テハ海員名簿ニ記載シタル事項ヲ海員ニ讀開カセ相違ナキヤヲ確ムルコト
 - 二 前號ニ依ルコトヲ得ザルトキハ再公認申請書ヲ管船局ニ送付シ原公認事項トノ照合ヲ受ケタル上海員名簿ニ記載シタル事項ト照合シ相違ナキヤヲ確ムルコト
 - 三 前號ニ依リ海員名簿ニ記載シタル事項ニ相違ナシト認メタルトキハ其ノ該當欄ニ官廳印ヲ押捺シ且備考欄ニ「再公認」ト朱書スルコト
 - 四 再公認ヲ爲シタルトキハ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スルコト

五 再公認ヲ爲シタルトキハ再公認申請書ノ右方上欄ニ官廳印ヲ押捺シ一月毎ニ取纏メ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スルコト

第三十七條 規則第四十九條ノ届アリタルトキハ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載シ届書ヲ一月毎ニ取纏メ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スベシ

第二節 公認ノ認證

第三十八條 公認ノ認證ノ申請アリタルトキハ海員名簿其ノ他公認ヲ受ケタルコトヲ證スル書類ニ依リ船員手帳ニ記載シタル事項ヲ確メ之ニ相違ナシト認メタルトキハ船員手帳ノ該當欄ニ官廳印ヲ押捺スベシ

再認證ノ申請アリタルトキハ前項ニ依ルノ外船員手帳ノ認證年月日及官廳名印欄ニ「再認證」ト朱書スベシ
公認ノ認證又ハ再認證ヲ爲シタルトキハ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スベシ

第三十九條 規則第五十六條ノ證明ノ申請アリタルトキハ船舶検査證書ノ他變更アリタルコトヲ證スル書類ニ依リ變更ノ事實ヲ之ニ相違ナシト認メタルトキハ船員手帳ノ訂正シタル箇所ニ第一號書式ノ官廳印ヲ押捺シ船員手帳ノ官廳記事欄ニ左ノ文例ニ依リ記載シ其ノ終尾ニ第二號書式ノ官廳印ヲ押捺スベシ

第何頁記載ノ「何何」ハ何年何月何日「何何」ト訂正前項ノ訂正ヲ爲シタルトキハ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載シ申請書ノ右方上欄ニ官廳印ヲ押捺シ一月毎ニ取纏メ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スベシ

第三節 船長ノ就職又ハ退職ノ認證

第四十條 船長ノ就職又ハ退職ノ認證ノ申請アリタルトキハ就職又ハ退職アリタルコトヲ證スル書類ニ依リ船員手帳ニ記載シタル事項ヲ確メ之ニ相違ナシト認メタルトキハ船員手帳ノ該當欄ニ官廳印ヲ押捺スベシ

再認證ノ申請アリタルトキハ前項ニ依ルノ外船員手帳ノ認證年月日及官廳名印欄ニ「再認證」ト朱書スベシ

第四十一條 船長ノ就職若ハ退職ノ認證又ハ再認證ヲ爲シタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一 事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スルコト
二 船長就職(退職)認證(再認證)ノ申請書ノ右方上欄ニ官廳印ヲ押捺シ一月毎ニ取纏メ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スルコト

第四節 乗船又ハ下船等ノ届出及證明

第四十二條 乗船、下船又ハ職務變更ノ届アリタルトキハ規則第六十一條第一項各號ニ掲グル者ナルヤヲ確メ之ニ相違ナシト認メタルトキハ受理シ左ノ手續ヲ爲スベシ

認ノ申請アリタルトキハ已ムコトヲ得ザル事由アリヤヲ取調ベ左ノ各號ニ依リ許可スベシ

一 船長ニ代リテ給料及手當ヲ支拂ハシメントスル職員トハ船舶職員法ニ依リ船舶ニ乗組マシムベキ船舶職員又ハ事務部員ニ付テハ其ノ長若ハ之ニ準ズル高等海員トスルコト
二 船舶ノ乗組員數ハ成ルベク二十人以上ノモノニ限ルコト

三 許可ノ期間ハ一年ノ範圍内ニ於テ適宜之ヲ定ムルコト
前項ノ場合ニ於テハ第十條及第十一條第一項ヲ準用ス規則第六十七條第二項ノ届アリタルトキハ第十一條第二項ヲ準用ス

第四十七條 規則第七十一條第一項又ハ第二項ノ許可又ハ追認ノ申請アリタルトキハ已ムコトヲ得ザル事由アリヤヲ取調ベ船舶ノ豫定航路一航海ノ所要期間又ハ三月ノ範圍内ニ於テ適宜期間ヲ定メ許可スベシ

前項ノ場合ニ於テハ第十條及第十一條第一項ヲ準用ス規則第七十一條第三項ノ届アリタルトキハ第十一條第二項ヲ準用ス

第四十八條 規則第八十二條ノ許可ノ申請アリタルトキハ意見ヲ具シ規約、會計狀況、給付ノ實績其ノ他參考ト爲ルベ

五 再公認ヲ爲シタルトキハ再公認申請書ノ右方上欄ニ官廳印ヲ押捺シ一月毎ニ取纏メ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スルコト

第三十七條 規則第四十九條ノ届アリタルトキハ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載シ届書ヲ一月毎ニ取纏メ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スベシ

第二節 公認ノ認證

第三十八條 公認ノ認證ノ申請アリタルトキハ海員名簿其ノ他公認ヲ受ケタルコトヲ證スル書類ニ依リ船員手帳ニ記載シタル事項ヲ確メ之ニ相違ナシト認メタルトキハ船員手帳ノ該當欄ニ官廳印ヲ押捺スベシ

再認證ノ申請アリタルトキハ前項ニ依ルノ外船員手帳ノ認證年月日及官廳名印欄ニ「再認證」ト朱書スベシ
公認ノ認證又ハ再認證ヲ爲シタルトキハ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スベシ

第三十九條 規則第五十六條ノ證明ノ申請アリタルトキハ船舶検査證書ノ他變更アリタルコトヲ證スル書類ニ依リ變更ノ事實ヲ之ニ相違ナシト認メタルトキハ船員手帳ノ訂正シタル箇所ニ第一號書式ノ官廳印ヲ押捺シ船員手帳ノ官廳記事欄ニ左ノ文例ニ依リ記載シ其ノ終尾ニ第二號書式ノ官廳印ヲ押捺スベシ

一 事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スルコト
二 乗船(下船、職務變更)ノ届ノ右方上欄ニ官廳印ヲ押捺シ一月毎ニ取纏メ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スルコト

第四十三條 規則第六十三條第二項又ハ第三項ノ許可若ハ追認ヲ爲シ又ハ届アリタルトキハ第十條及第十一條ヲ準用ス

第四十四條 規則第六十三條第一項ノ報告アリタルトキハ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載シ報告書ノ右方上欄ニ官廳印ヲ押捺シ一月毎ニ取纏メ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スベシ

第四十五條 規則第六十四條ノ證明ノ申請アリタルトキハ乗船(下船、職務變更)ノ届、規則第六十三條第一項ノ報告書其ノ他乗船、下船若ハ職務變更ノ届又ハ報告アリタルコトヲ證スル書類ニ依リ船員手帳ニ記載シタル事項ヲ確メ之ニ相違ナシト認メタルトキハ船員手帳ノ各欄中「認證」トアルヲ「證明」ト訂正シ證明年月日及官廳名印欄ニ官廳印ヲ押捺スベシ

再證明ノ申請アリタルトキハ前項ニ依ルノ外船員手帳ノ證明年月日及官廳名印欄ニ「再證明」ト朱書スベシ
證明又ハ再證明ヲ爲シタルトキハ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スベシ

第六章 乗組員ノ保護

第四十六條 規則第六十七條第一項又ハ第二項ノ許可又ハ追認ノ申請アリタルトキハ已ムコトヲ得ザル事由アリヤヲ取調ベ左ノ各號ニ依リ許可スベシ

船員法取扱手續

キ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ申請書ヲ管船局ニ送付シ
指揮ヲ受クベシ
許可ヲ爲シタルトキハ許可書ヲ申請者ニ交付スベシ
規則第八十三條ノ届アリタルトキハ第十一條第二項ヲ準用
ス

第七章 報 告

第四十九條 規則第八十五條ノ報告書ハ同條各號ノ順ニ取纏
メ夫々九月及三月ノ末日迄ニ之ヲ管船局ニ送付スベシ

第五十條 規則第八十六條乃至第八十九條ノ報告書ハ報告ヲ
受ケタルトキヨリ一月内ニ之ヲ管船局ニ送付スベシ

第八章 雜 則

第五十一條 船員法第四十條ノ援助ヲ爲シタルトキハ遅滞ナ
ク其ノ願末ヲ管船局ニ報告シ事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載
スベシ

第五十二條 船舶所有者、船長及海員ノ間ニ事件ガ生ジタル
場合ニ於テ船員ノ保護又ハ監督上必要ト認ムルトキ又ハ右
ノ事件ガ労働爭議ト爲ル惧アリト認メタルトキハ當事者ノ
申請ニ依ルト否トニ拘ラズ事件ノ解決ニ付斡旋ヲ爲スベシ
第五十三條 斡旋ヲ爲ス場合ニ於テハ當事者ノ申立ヲ聽取シ
且必要ニ應ジ船員法第四十二條ノ措置其ノ他適當ナル方法
ヲ講ジ迅速且妥當ナル解決ヲ計ルベシ

書式ニ從ヒ記載シ其ノ寫ヲ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スベ
シ
管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長又ハ之ニ準ズル者ガ前項ノ
報告ヲ爲ス場合ニハ同月間ニ於ケル船員手帳ノ交付又ハ再
交付ノ手数料納付書ヲ之ニ添附スベシ

附 則

第五十九條 本公達ハ昭和十二年法律第七十九號施行ノ日ヨ
リ之ヲ施行ス

第六十條 規則第八八條ニ依リ海員名簿ノ提出アリタルトキ
ハ之ヲ舊海員名簿ト照合シ相違ナシト認メタルトキハ海員
名簿ノ公認年月日及官廳名印欄ニ官廳印ヲ押捺シ且「檢閲」
ト朱書スベシ

第六十一條 規則第九九條ノ證明ヲ爲シタルトキハ證明事項
(規則第十六號書式各欄記載事項トス)ヲ記載シタル報告書
ヲ一月毎ニ取纏メ翌月七日迄ニ管船局ニ送付スベシ

第六十二條 本公達施行前管海官廳ニ於テ取扱ヒタル事項ニ
シテ舊公達ニ依リ管船局ニ報告スベキモノハ本公達施行後
ト雖モ舊公達ニ依リ報告スベシ

附則 (昭和十五年四月二十六日公達第四八四號)

本公達ハ昭和十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス
書式省略ス

船員法取扱手續

斡旋ヲ爲シタルトキハ其ノ願末ヲ遅滞ナク管船局ニ報告シ
事務取扱簿ニ書式ニ從ヒ記載スベシ

第五十四條 船内ニ於ケル食料、衛生、海員ノ給料及手當ノ
支拂、海員ノ扶助其ノ他海員ノ保護又ハ船内規律其ノ他海
員ノ取締ニ關スル狀況ヲ視察スル爲船中ニ臨檢シタルトキ
ハ其ノ結果ヲ遅滞ナク管船局ニ報告シ事務取扱簿ニ書式ニ
從ヒ記載スベシ

第五十五條 海員ノ行狀等ニ關シ重要ナル事項アリト認ムル
トキハ航海日誌其ノ他ヲ取調べ特ニ重要ナル事項アルトキ
ハ之ヲ管船局ニ報告シ又犯罪ト認ムベキ廉アルトキハ之ヲ
告發スル等必要ナル措置ヲ爲スベシ

第五十六條 規則第九十五條ニ依リ告示セラレタル市町村長
又ハ之ニ準ズル者ハ當該市町村又ハ之ニ準ズル地ノ名稱ニ
變更アリタルトキ又ハ町ガ市ニ、村ガ町ニ爲リタルトキ其
ノ他之ニ準ズル變更アリタルトキハ其ノ旨遅滞ナク管船局
ニ報告スベシ

第九章 手 數 料

第五十七條 手数料納付書ヲ受理シタルトキハ貼附ノ收入印
紙ガ手数料ノ金額ニ相當スルヤチ確メ納付書ト印紙ノ彩紋
トニ掛ケ黒肉ヲ用ヒ鮮明ニ消印スベシ

第五十八條 收納シタル手数料ハ一月毎ニ之ヲ事務取扱簿ニ

船員法第四十五條ニ依リ
管海官廳ノ事務ヲ行フ市
町村長

昭和十三年三月二十五日
逓信省告示第八百六十九號

最近改正昭和十七年六月八日
逓信省告示第八七二號

船員法第四十五條ニ依リ昭和十三年三月二十八日ヨリ左記市
町村長及之ニ準ズル者ヲシテ管海官廳ノ事務ヲ行ハシム
市町村長及之ニ準ズル者ノ名稱 略 號

- 北海道室蘭市長
- 同 茅部郡森町長
- 同 松前郡松前町長
- 同 岩内郡岩内町長
- 同 根室郡根室町長
- 同 宗谷郡稚内町長
- 同 留萌郡留萌町長
- 同 天鹽郡天鹽町長
- 同 網走郡網走町長
- 同 紋別郡紋別町長

船員法第四十五條ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長

- 同 浦河郡浦河町長
- 同 厚岸郡厚岸町長
- 東京府大島波浮港町長
- 京都府舞鶴市長
- 同 與謝郡宮津町長
- 神奈川縣三浦郡三崎町長
- 同 足柄下郡眞鶴町外二箇村組合長
- 兵庫縣飾磨市長
- 同 飾磨郡家島町長
- 同 赤穂郡坂越町長
- 同 城崎郡港村長
- 同 津名郡江井町長
- 同 都志町長
- 同 三原郡福良町長
- 長崎縣佐世保市長
- 同 西彼杵郡崎戸町長
- 同 南高來郡口之津町長
- 同 北松浦郡平戸町長
- 同 小値賀町長
- 同 南松浦郡玉之浦町長
- 同 上縣郡佐須奈村長

- (浦河)
- (厚岸)
- (波浮港)
- (舞鶴)
- (宮津)
- (三崎)
- (眞鶴)
- (飾磨)
- (家島)
- (坂越)
- (港)
- (江井)
- (都志)
- (福良)
- (佐世保)
- (崎戸)
- (口之津)
- (平戸)
- (小値賀)
- (玉之浦)
- (佐須奈)

現行海事法令

同 下縣郡殿原町長
 新潟縣中頸城郡直江津町長
 同 佐渡郡小木町長
 同 兩津町長
 千葉縣銚子市長
 同 館山市長
 同 夷隅郡勝浦町長
 茨城縣那珂郡那珂湊町長
 同 久慈郡久慈町長
 三重縣四日市市長
 同 度會郡大湊町長
 同 鵜倉村長
 同 南海村長
 同 志摩郡鳥羽町長
 同 濱島町長
 同 的矢村長
 同 北牟婁郡尾鷲町長
 同 引本町長
 同 南牟婁郡南輪內村長
 同 荒坂村長
 同 鵜殿村長

(殿原)
 (直江津)
 (小木)
 (兩津)
 (銚子)
 (館山)
 (上總勝浦)
 (那珂湊)
 (久慈)
 (四日市)
 (伊勢大湊)
 (鵜倉)
 (南海)
 (鳥羽)
 (濱島)
 (的矢)
 (尾鷲)
 (引本)
 (南輪內)
 (荒坂)
 (鵜殿)

愛知縣半田市長
 同 知多郡常滑町長
 同 寶飯郡三谷町長
 靜岡縣賀茂郡稻取町長
 同 下田町長
 同 田子村長
 同 田方郡伊東町長
 同 志太郡燒津町長
 同 榛原郡御前崎村長
 同 磐田郡掛塚町長
 宮城縣桃生郡雄勝町長
 同 牡鹿郡鮎川町長
 同 本吉郡氣仙沼町長
 福島縣石城郡江名町長
 同 小名濱町長
 同 四倉町長
 岩手縣釜石市長
 同 氣仙郡大船渡町長
 同 下閉伊郡宮古町長
 青森縣八戶市長
 同 下北郡大湊町長

(半田)
 (常滑)
 (三谷)
 (稻取)
 (伊豆下田)
 (田子)
 (伊東)
 (燒津)
 (御前崎)
 (掛塚)
 (雄勝)
 (鮎川)
 (氣仙沼)
 (江名)
 (小名濱)
 (四倉)
 (釜石)
 (大船渡)
 (宮古)
 (八戶)
 (陸奥大湊)

同 大奧村長
 同 東津輕郡平館村長
 山形縣酒田市長
 秋田縣秋田市長
 同 山本郡能代港町長
 同 南秋田郡船川港町長
 福井縣敦賀市長
 同 坂井郡三國町、新保村組合長
 石川縣七尾市長
 同 小松市長
 同 石川郡金石町長
 同 羽咋郡福浦村長
 富山縣上新川郡東岩瀨町長
 同 下新川郡魚津町長
 同 櫻井町長
 鳥取縣鳥取市長
 島根縣濱田市長
 同 邇摩郡溫泉津町長
 同 周吉郡西郷町長
 同 知夫郡黒木村長
 岡山縣和氣郡片上町長

(大奥)
 (平館)
 (酒田)
 (秋田)
 (能代港)
 (船川港)
 (敦賀)
 (三國)
 (七尾)
 (加賀小松)
 (金石)
 (福浦)
 (東岩瀨)
 (魚津)
 (櫻井)
 (鳥取)
 (濱田)
 (溫泉津)
 (西郷)
 (黒木)
 (片上)

同 兒島郡下津井町長
 同 宇野町長
 廣島縣廣島市長
 同 吳市長
 尾道市長
 安藝郡音戸町長
 同 佐伯郡大柿町長
 同 高田村長
 同 賀茂郡安登村長
 同 豊田郡幸崎町長
 同 御手洗町長
 同 中野村長
 同 東野村長
 同 御調郡三庄町長
 同 田熊村長
 沼隈郡浦崎村長
 山口縣宇部市長
 萩市長
 同 徳山市長
 同 防府市長
 同 下松市長

(下津井)
 (宇野)
 (廣島)
 (吳)
 (尾道)
 (音戸)
 (大柿)
 (高田)
 (安登)
 (幸崎)
 (御手洗)
 (中野)
 (東野)
 (三庄)
 (田熊)
 (浦崎)
 (宇部)
 (萩)
 (徳山)
 (防府)
 (下松)

船員法第四十五條ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長

現行海事法令

同 大島郡小松町長
 同 安下庄町長
 同 久賀町長
 同 和田村長
 同 熊毛郡上關村長
 同 麻里府村長
 同 吉敷郡阿知須町長
 同 和歌山縣和歌山市長
 同 新宮市長
 同 田邊市長
 同 海草郡下津町長
 同 日高郡松原村長
 同 白崎村長
 同 西牟婁郡串本町長
 同 德島縣德島市長
 同 勝浦郡小松島町長
 同 那賀郡富岡町長
 同 橋町長
 同 椿村長
 同 海部郡三岐田町長
 同 牟岐町長

(小松)
 (安下庄)
 (久賀)
 (和田)
 (上關)
 (麻里府)
 (阿知須)
 (和歌山)
 (新宮)
 (田邊)
 (下津)
 (松原)
 (白崎)
 (串本)
 (德島)
 (小松島)
 (富岡)
 (橋)
 (椿)
 (三岐田)
 (牟岐)

香川縣高松市長
 同 綾歌郡坂出町長
 同 仲多度郡多度津町長
 同 小豆郡苗羽村長
 愛媛縣今治市長
 同 宇和島市長
 同 八幡濱市長
 同 新居濱市長
 同 温泉郡西中島村長
 同 越智郡波止濱町長
 同 同 伯方町長
 同 喜多郡長濱町長
 同 西宇和郡川之石町長
 同 南宇和郡東外海村長
 高知縣安藝郡室戸町長
 同 室戸岬町長
 同 同 甲浦町長
 同 長岡郡三里村長
 同 吾川郡浦戸村長
 同 高岡郡須崎町長
 同 新宇佐町長

(高松)
 (坂出)
 (多度津)
 (苗羽)
 (今治)
 (宇和島)
 (八幡濱)
 (新居濱)
 (西中島)
 (波止濱)
 (伯方)
 (長濱)
 (川之石)
 (東外海)
 (室戸)
 (室戸岬)
 (甲浦)
 (三里)
 (浦戸)
 (須崎)
 (新宇佐)

同 幡多郡清水町長
 同 同 下田町長
 福岡縣福岡市長
 同 八幡市長
 同 三潯郡大川町長
 大分縣佐伯市長
 同 北海郡佐賀關町長
 同 同 臼杵町長
 同 同 津久見町長
 同 同 保戸島村長
 佐賀縣唐津市長
 同 小城郡芦刈村長
 同 東松浦郡呼子町長
 同 西松浦郡山代町長
 熊本縣宇土郡三角町長
 同 葦北郡水俣町長
 同 天草郡阿村長
 宮崎縣延岡市長
 同 宮崎郡赤江町長
 同 南那珂郡油津町長
 同 南郷町長

(土佐清水)
 (土佐下田)
 (福岡)
 (八幡)
 (大川)
 (佐伯)
 (佐賀關)
 (臼杵)
 (津久見)
 (保戸島)
 (唐津)
 (芦刈)
 (呼子)
 (山代)
 (三角)
 (水俣)
 (阿)
 (延岡)
 (赤江)
 (油津)
 (南郷)

同 兒湯郡美々津町長
 同 東臼杵郡富島町長
 鹿兒島縣川邊郡枕崎町長
 同 日置郡串木野町長
 同 大島郡名瀬町長
 同 同 古仁屋町長
 沖繩縣那霸市長

(美々津)
 (富島)
 (枕崎)
 (串木野)
 (名瀬)
 (古仁屋)
 (那霸)

船員法第四十五條ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長

船員法施行規則第七十四條 ニ依リ航行中ノ船舶ニ於ケル傷病者ノ手當ニ關シ無線電信ニ依ル指示ヲ行フ病院ノ件

昭和十三年三月二十五日改正(昭和十四年八月三十日) 逓信省告示 第八七〇號 (告示第一二四九九號)

船員法施行規則第七十四條ニ依リ航行中ノ船舶ニ於ケル傷病者ノ手當ニ關シ無線電信ニ依ル指示ヲ行フ病院左ノ如シ本告示ハ昭和十三年三月二十八日ヨリ之ヲ行フ

名 稱	所 在
日本海員救濟會橫濱病院	橫濱市
日本海員救濟會大阪病院	大阪市
日本海員救濟會神戸病院	神戸市
日本海員救濟會門司病院	門司市
日本海員救濟會長崎病院	長崎市
咸鏡北道立羅南醫院	羅南邑
京畿道立仁川醫院	仁川府山手町

函館市立病院
小樽市立病院
釧路市立病院
樺太廳大泊醫院
基隆醫院
高雄醫院
日本赤十字社大連病院

函館市
小樽市
釧路市
大泊町
基隆市
高雄市
大連市

船員職業能力申告令

(昭和十四年二月) 勅令第二十三號

第一條 國家總動員法第二十一條ノ規定ニ基ク船員ノ職業能力ニ關スル事項ノ申告及其ノ職業能力ニ關スル検査ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ船員トハ左ニ掲グル者ヲ謂フ

一 船員法第一條(朝鮮船員令及關東州船員令ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)ニ規定スル船員

二 海技免狀ヲ有スル者

三 逓信大臣ノ指定スル船員養成施設ニ於テ其ノ課程ヲ修了シタル者ニシテ修了後三年ヲ經過セザルモノ及該期間

内ニ船員法第一條ニ規定スル船員トシテ船舶ニ乗組ミ最後ノ雇止ノ公認後三年ヲ經過セザルモノ

四 船員法第一條ニ規定スル船員トシテ一年以上船舶ニ乗組ミタル者ニシテ最後ノ雇止ノ公認後三年ヲ經過セザルモノ

第三條 船員ノ職業能力ニ關スル事項ノ申告ハ毎年一回之ヲ爲サシムルモノトス

前項ノ申告ハ七月一日現在ニ依リ同月十五日迄ニ之ヲ爲ス

船員職業能力申告令

第四條 船員ハ左ニ掲グル事項ヲ居住地ヲ管轄スル管海官廳ニ申告スベシ

- 一 氏名
- 二 男女ノ別
- 三 出生ノ年月日
- 四 本籍
- 五 居住ノ場所
- 六 兵役關係
- 七 學歷
- 八 船員手帳ヲ有スルトキハ其ノ管海官廳略號及番號
- 九 海技免狀ヲ有スルトキハ其ノ種類及番號
- 十 無線通信士資格檢定合格證書ヲ有スルトキハ其ノ等級及番號
- 十一 救命艇手適任證書其ノ他ノ海技ニ關スル資格證明書ヲ有スルトキハ其ノ旨
- 十二 乗船履歷
- 十三 現ニ從事スル業務
- 十四 俸給、給料等ヲ受クル者ナルトキハ其ノ額
- 十五 健康狀況殊ニ船内勤務ニ關スル支障ノ有無
- 十六 配偶者ノ有無及現ニ扶養スル者ノ數

十七 船内勤務ニ關スル希望
 十八 其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項
 船員手帳ヲ有スル者ハ前項第十二號ノ申告ヲ爲スコトヲ要セズ

船員第一項ノ申告ヲ爲シタル後同項第一號、第四號乃至第六號及第十三號ニ掲グル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ第六條ノ規定ニ該當スル場合ヲ除クノ外三十日以内ニ居住地ヲ管轄スル管海官廳ニ其ノ旨ヲ申告スベシ

第五條 船員法第一條ニ規定スル船員ハ本令ニ依ル申告ヲ爲スコトヲ要セズ但シ逡信大臣必要アリト認ムルトキハ船員法第一條ニ規定スル船員ノ全部又ハ一部ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ前條第一項ニ掲グル事項ノ一部ヲ申告セシムルコトヲ得

第六條 船員法第三條及第四條ノ規定ニ依ル申告ヲ爲シタル後左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遲滞ナク前ニ申告ヲ爲シタル管海官廳ニ其ノ旨ヲ申告スベシ

一 第九條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキ
 二 本令施行地外ニ居住ノ場所ヲ移シタルトキ

第七條 管海官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該官吏ヲシテ本令ノ申告ヲ爲シタル者ニ就キ其ノ職業能力ニ關シ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第八條 管海官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本令ノ申告ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基ク報告ヲ徵スルコトヲ得

第九條 本令ハ第六條第一號ノ規定ニ依ル申告ニ關スル規定ヲ除クノ外陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ(歸休下士官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ又ハ兵役法第五十五條第二項ノ規定(志願ニ依リ兵籍ニ編入セラレタル者ニ付テハ之ニ該當スル勅令ノ規定ヲ含ム)ニ依リ召集中ノモノ、兵籍ニ編入セラレタル陸海軍學生生徒(海軍豫備練習生及海軍豫備練習生ヲ含ム)、陸海軍軍屬、國家總動員法第四條ノ規定ニ依リ徵用中ノ者竝ニ醫療關係者職業能力申告令ニ依リ申告ヲ爲スベキ者ニ對シテ之ヲ適用セズ

第十條 船員ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノノ申告ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ申告期限ヲ延長スルコトヲ得

一 陸海軍軍人ニシテ召集中ノモノ(前條ニ規定スル召集中ノ者ヲ除ク)
 二 外國旅行中ノ者
 三 其ノ他命令ヲ以テ定ムル者

第十一條 本令中逡信大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ管海官廳トアルハ樺太ニ

在リテハ樺太廳長官ノ指定スル行政官廳、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官ノ指定スル行政官廳トス

第十二條 本令ニ規定スルモノノ外申告ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

附則本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 昭和十四年ニ限リ第三條第二項中七月一日現在ニ依リ同月十五日迄トアルハ四月一日現在ニ依リ同月十五日迄トス

船員職業能力申告令
施行規則

昭和十四年一月
 逡信省令第二號
 昭和十五年五月三十日
 逡信省令第十號
 改正

第一條 船員職業能力申告令(以下申告令ト稱ス)第三條ノ規定ニ依ル申告ハ第一號書式ニ依ル船員職業能力申告書用紙ヲ以テ之ヲ爲スベシ

前項ノ船員職業能力申告書用紙ハ管海官廳其ノ他逡信大臣ノ指示ヲ以テ指定スル者ニ申出デ其ノ交付ヲ受クベシ

第二條 申告令第四條第三項ノ規定ニ依ル申告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

船員職業能力申告令施行規則

前項ノ書面ニハ變更ニ係ル新舊事項及變更ヲ生ジタル年月日ヲ記載シ記名捺印スベシ

第三條 申告令第六條ノ規定ニ依ル申告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

前項ノ書面ニハ申告令第六條各號ニ該當スル事項及其ノ該當スルニ至リタル年月日ヲ記載シ記名捺印スベシ

第四條 申告令第五條ノ規定ニ依リ船員法第一條ニ規定スル船員ニ對シ申告ヲ爲サシムル場合ニ於テハ左ニ掲グル事項ヲ定メ之ヲ告示ス

一 申告ヲ爲スベキ船員ノ範圍
 二 申告ヲ爲スベキ事項
 三 申告ノ時期
 四 申告ノ方法

第五條 管海官廳ハ當該官吏ヲシテ申告令ニ依ル申告ヲ爲シタル者ニ就キ身體、技能其ノ他必要ト認ムル事項ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ在リテハ當該官吏ハ第二號書式ニ依ル證票ヲ携帯スベシ

第六條 申告令第二條第三號ノ規定ニ依リ逡信大臣ノ指定シタル船員養成施設ハ之ヲ告示ス

第七條 申告令第二條第三號ノ規定ニ依リ逡信大臣ノ指定シタル船員養成施設ノ管理者ハ其ノ養成ノ課程ヲ修了シタル

現行海事法令

者ニ付左ニ掲グル事項ヲ遅滞ナク船員養成施設ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ニ報告スベシ但シ遞信大臣ノ指定前ニ養成ノ課程ヲ修了シタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 氏名

二 出生ノ年月日

三 本籍

四 居住ノ場所

五 養成ノ課程ヲ修了シタル年月日

第八條 管海官廳ハ必要アリト認ムル場合船長ノ退職認證ノ申請又ハ海員ノ雇止公認ノ申請アリタル際當該船員ヲシテ申告令第四條各號ニ掲グル事項ニ關シ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條

申告令第二條第二號乃至第四號ニ掲グル船員ガ死亡シタルトキハ死亡ノ際其ノ者ト同居ノ戸主又ハ家族ノ關係ニ在リタル者ハ遅滞ナク其ノ旨ヲ最寄管海官廳ニ報告スベシ但シ船員法第一條ニ規定スル船員ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十條

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ申告期限ハ内地ニ歸來シタル日ヨリ十五日迄之ヲ延長ス
一 申告令第十條第一號ニ該當スル者ニシテ内地ニ居住セザルモノ

二 申告令第十條第二項ニ該當スル者
三 朝鮮、臺灣、樺太、南洋群島又ハ關東州ニ旅行中ノ者
四 船員法第一條ニ規定スル船員以外ノ者トシテ船舶ニ乗組ミ航行中ノモノ

第十一條 船員法施行規則第六十一條第一項第一號乃至第三號ニ掲グル船員ニ付テハ下船届ノ提出アリタルトキ雇止ノ公認アリタルモノト看做ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十五年三月遞信省令第十號)

本令ハ昭和十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

(表)

船員職業能力申告書																								
年 月 日 現在																								
(一) 氏名	(二) 出生の年月日	(三) 男女の別	男	女	(四) 本籍	縣府道	市郡	村町區	番地	(五) 居住の場所	縣府道	市郡	村町區	番地	(六) 船員手帳交付管海官廳名略號及番號	第 第 第 第 第 號	(七) 海技免狀の種類	第 第 第 號	(八) 水先免狀の番號	區 第 號	(九) 無線通信士資格檢定合格證書の等級及番號	級 第 號	(十) 救命艇手適任證書交付管海官廳名及番號	第 第 號

船員職業能力申告令施行規則

(三) 兵 役 關 係 (役種) 海軍豫備員(現官等級) 陸軍 海軍豫備	(三) 學 歷 船員としての學歴 養成所 學校 科卒 科修 現に從事する業	(五) 健 康 狀 況 強健 普通 病弱 支障無 船内勤務有(理由) 支障無	(七) 船内勤務に關する希望 船種 航行區域 其他	(六) 乘 船 履 歷				省
				要申告者なり 要申告者に非ず	丸	馬力	噸	
(徵收年度) 年度	(役 種) 役	種類 報酬 手當月(日) 圓圓 錢錢	乘船年月日 年月日	下船年月日 年月日	給 料 手當月(日) 圓圓 錢錢	現に扶養する者の數	人	

右之通相違無之候也

年 月 日

御中

申告者
氏名印

(裏)

記 載 心 得

一 一般の注意事項

- (イ) 文字は明瞭に墨又は青インクを以て記載すること
- (ロ) 誤記した事項は其の上に線を引いて之を抹消し其の傍は正しい文字を記載すること
- (ハ) 該當しない事項及不要な箇所は其の上に線を引いて之を抹消すること

二 各項目の記載方

- (一) 氏 名
氏名には其の右側に振假名を附けること
- (五) 居住の場所
平常居住する場所を記載すること
- (七) 海技免狀の種類及番號
效力に制限を加へた海技免狀は其の種類及番號を記載すること
海技免狀を併有する者は其の種類及番號を全部併記すること
朝鮮總督、臺灣總督又は滿洲國駐劄特命全權大使から授與された海技免狀を有する者は其の種類及番號の外「朝鮮」、「臺灣」又は「關東州」の文字を冠附すること
- (三) 學 歴
船員としての學歴には商船學校、水産學校其他養成所等を記載すること
其の他の學歴には右以外の最高學歴を記載し、尙試験に依り資格を得たる者は夫れに相當する學校(例へば專檢實檢、高檢合格者は甲種中等學校卒業とするが如し)を記載すること
- (五) 現に從事する業務
- 船員職業能力申告令施行規則

海技免状を有し船員法第一條に規定する船員以外の者として船舶に乗組中のものは本欄に記載するを要しないこと

(イ) 種 類 勤務者に付ては勤務先及職務名又獨立して業務を営む者に付ては其種類を記載し、尙無職の者は無職と記載し、又汽船會社の豫備員は何々會社豫備員と記載すること

(ロ) 報 酬 獨立して業務を営む者は其の平均月收額を記載すること
手當は職務手當、勤続手當等の如く支給額が確定せるものゝ合金額を記載し、尙俸給又は給料の何割と記載するも妨げないこと

(三) 健康 狀況 急性傳染病等の如き一時的疾患に因る故障は船内勤務支障の理由とならないこと
船内勤務支障の理由ある場合は疾病に在りては其の病名を、不具又は精神身體の障害に在りては其の不具又は障害の箇所を記載すること

(ニ) 配偶者の有無及現に扶養する者の數 配偶者は内縁關係をも含み、「現に扶養する者の數」には自己の家計に依存して生活を営む者の數を記載すること

(七) 船内勤務に關する希望 船種は汽船、發動機船、旅客船、貨物船等を記載すること
特に希望する事項(例へば北米航路、上海航路等)又は特に希望しない事項があれば「其の他」に記載すること

(六) 乗 船 履 歴 海技免状を有し船員法第一條に規定する船員であつた者で下船後三年以上を経過したもの及海技免状を有し船員法第一條に規定する船員以外の者として船舶に乗組んでゐたものは最後に乗組んでゐた船舶に付又海技免状を有し船員法第一條に規定する船員以外の者として船舶に乗組中のものは現に乗組中の船舶に付記載すること

(三) 備 考 特に熟知して居る外國航路又は外國港灣あるときは之を本欄に記載すること
特殊技能ある者は之を本欄に記載して差支ないこと

三 本申告を怠りたる者は國家總動員法に依り處罰されることがあるから注意すること

第二號書式(豎八・五糧)
横六

第 號

表 船員職業能力検査證票

官 職	遞信省印
氏	名

船員職業能力申告令施行規則

國家總動員法第二十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國臣民ヲ雇傭若ハ使用スル者ヲシテ帝國臣民ノ職業能力ニ關スル事項ヲ申告セシメ又ハ帝國臣民ノ職業能力ニ關シ検査スルコトヲ得

國家總動員法第四十三條 第二十一條ノ規定ニ違反シテ申告ヲ怠リ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

船員職業能力申告令第七條 管海官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該官吏ヲシテ本令ノ申告ヲ爲シタル者ニ就キ其ノ職業能力ニ關シ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

船員職業能力申告令施行規則第五條 管海官廳ハ當該官吏ヲシテ申告令ニ依リ申告ヲ爲シタル者ニ就キ身體、技能其ノ他必要ト認ムル事項ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ在リテハ當該官吏ハ第二號書式ニ依リ證票ヲ携帯スベシ

裏

救命艇手適任證書交付規則

昭和九年二月五日 最近改正(昭和十五年十二月二十六日 逓信省令第十六號 省令 第八十五號)

- 第一條** 船舶安全法施行規則第五十六條第七項ニ規定スル救命艇手適任證書ノ交付、書換又ハ返還ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條** 救命艇手適任證書ハ左ニ掲グル者ニ之ヲ交付ス
- 一 海技免狀ヲ受有スル者
 - 二 官公立商船學校卒業者及實習生
 - 三 海員養成所卒業者
 - 四 水夫適任證書ヲ受有スル者
 - 五 海兵團ノ教程ヲ終了シタル者
 - 六 遞信大臣ノ適當ト認ムル海員養成施設ノ教程ヲ修了シタル者
 - 七 沿海以上ノ航行區域ヲ航行スル總噸數百噸以上ノ船舶ニ乗組ミ三年以上甲板部員トシテ執務シ體格検査ニ合格シタル者
 - 八 沿海以上ノ航行區域ヲ航行スル船舶ニ乗組ミ一年以上救命艇手適任證書交付規則

甲板部員トシテ執務シ且端艇ノ運用ニ關スル試験並體格検査ニ合格シタル者

九 沿海以上ノ航行區域ヲ航行スル總噸數百噸以上ノ船舶ニ乗組ミ三年以上執務シ且端艇ノ運用ニ關スル試験並體格検査ニ合格シタル者

前項第八號及第九號ノ試験ハ救命艇作業ニ關スル命令ヲ了解シ救命艇ノ卸方、漕方及操縦ニ習熟セルヤ否ニ付之ヲ行フ

第三條 救命艇手適任證書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ第一號書式ノ申請書ヲ管海官廳ニ提出シ海技免狀、船員手帳其ノ他資格ヲ證スル書類ヲ管海官廳ノ檢閲ニ供スベシ

救命艇手適任證書ハ第二號書式ニ依ル

第四條 救命艇手適任證書ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ該證書ヲ交付シタル管海官廳ニ之ガ再交付ヲ申請スルコトヲ得

救命艇手適任證書ノ記載事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ遲滞ナク其ノ事由ヲ具シ該證書ヲ交付シタル管海官廳ニ之ガ書換ヲ申請スベシ

救命艇手適任證書ヲ受有スル者廢業又ハ死亡シタルトキハ之ヲ受有又ハ保管スル者ハ遲滞ナク該證書ヲ交付シタル管海官廳ニ之ヲ返還スベシ

現行海事法令

第五條 本令ニ依リ申請ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納付スベシ

- 一 第二條第一項第一號乃至第七號ニ掲グル者救命艇手適任證書ノ交付ヲ申請スルトキ 二十錢
- 二 第二條第一項第八號又ハ第九號ニ掲グル者救命艇手適任證書ノ交付ヲ申請スルトキ 三十錢
- 三 救命艇手適任證書ノ再交付又ハ書換ヲ申請スルトキ 十錢

手数料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ納付書ニ貼附シテ之ヲ納付スベシ

第六條 本令ニ依ル事務ハ左ノ管海官廳ニ於テ之ヲ行フ
東京地方遞信局、東京地方遞信局海事部横濱出張所、大阪

第一號書式 (表)

救命艇手適任證書交付申請書

救命艇手適任證書交付相成度此段及申請候也

年 月 日

管海官廳宛

遞信局、大阪遞信局海事部神戸出張所、熊本遞信局、札幌遞信局

附 則

本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十一年十月十六日)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十五年十二月二十六日)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

申請人 氏 名 印

通知ヲ受クベキ場所

(裏)

履 歴 書				本 籍
氏 名	出 生 年 月 日	船 員 手 帳 番 號	船 種 船 名	
		第 第 第	總 噸 數	期 間 合 計
		航 行 區 域	職 名	
		乘 船 年 月 日	下 船 年 月 日	
		在 船 期 間		
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

(備考) 救命艇手適任證書交付規則第二條第一項第一號乃至第五號ニ依リ申請スル者ハ其ノ旨※印欄ニ記載シ乗船履歴

ハ之ヲ記載スルニ及バズ

氏名ニハ片假名ヲ以テ傍訓ヲ附スベシ

救命艇手適任證書交付規則

第二號書式

第

救命艇手適任證書

本籍

氏

出生年月日

右者救命艇手適任證書交付規則ニ依リ救命艇手ニ適スル者ト認メ此證書ヲ付與ス

管海官廳名印

(備考) 裏面ニ英譯ヲ附記ス

救命艇手適任證書交付規則第二條第一項第六號ニ規定スル海員養成所ノ件

最近改正

昭和九年三月一日
選信省告示第四百七十號
昭和十六年八月九日
選信省告示第一七五二號

救命艇手適任證書交付規則第二條第一項第六號ニ規定スル海員養成施設トシテ認定シタルモノ左ノ如シ

名
日本海員救濟會橫濱普通海員養成所
日本海員救濟會大阪普通海員養成所
日本海員救濟會若松普通海員養成所
日本海運報國團神戸普通海員養成所
日本海運報國團函館普通海員養成所

位
橫濱市中區吉濱町十四番地ノ壹
大阪市港區出崎町一丁目八番地
福岡縣若松市北湊町三丁目地先
神戸市灘區王子町四丁目四百八十四番地
函館市中島町百五十九番地

船員表彰規則

昭和十五年二月十日改正(昭和十五年十月二十四日
選信令第四號) 選信令第五十七號

第一條 日本臣民タル船員ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ選信大臣之ヲ表彰ス

- 一 船員ノ龜鑑ト爲ルベキ善行アリタル者
- 二 海事ニ關シ特ニ有益ナル發明改良等ヲ爲シタル者
- 三 三十年以上船舶ニ乗組ミ精勵恪勤ニシテ成績優秀ナル者

第二條 表彰ハ選信大臣ヨリ賞狀ヲ本人又ハ其ノ遺族ニ授與シテ之ヲ行フ

賞狀ニハ賞品ヲ添フルコトアルベシ
表彰セラレベキ船員ノ功績特ニ卓越セリト認メタルトキハ顯功章ヲ併セ授與ス

第三條 顯功章ノ制式ハ別圖ニ依ル

第四條 顯功章ハ左胸上部ニ之ヲ佩用スルモノトス

第五條 表彰セラレタル船員ニシテ刑罰ニ處セラレ其ノ他著

船員表彰規則

シキ非行アリタルトキハ顯功章又ハ賞狀ヲ返納セシムルコトアルベシ

第六條 選信大臣船員ヲ表彰シタルトキ又ハ顯功章若ハ賞狀ヲ返納セシメタルトキハ官報ヲ以テ之ヲ公示ス

附 則

本令ハ昭和十五年二月十一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

(昭和十五年十月二十四日
選信省令第五十七號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別 圖

顯 功 章



舵輪ノ徑六分

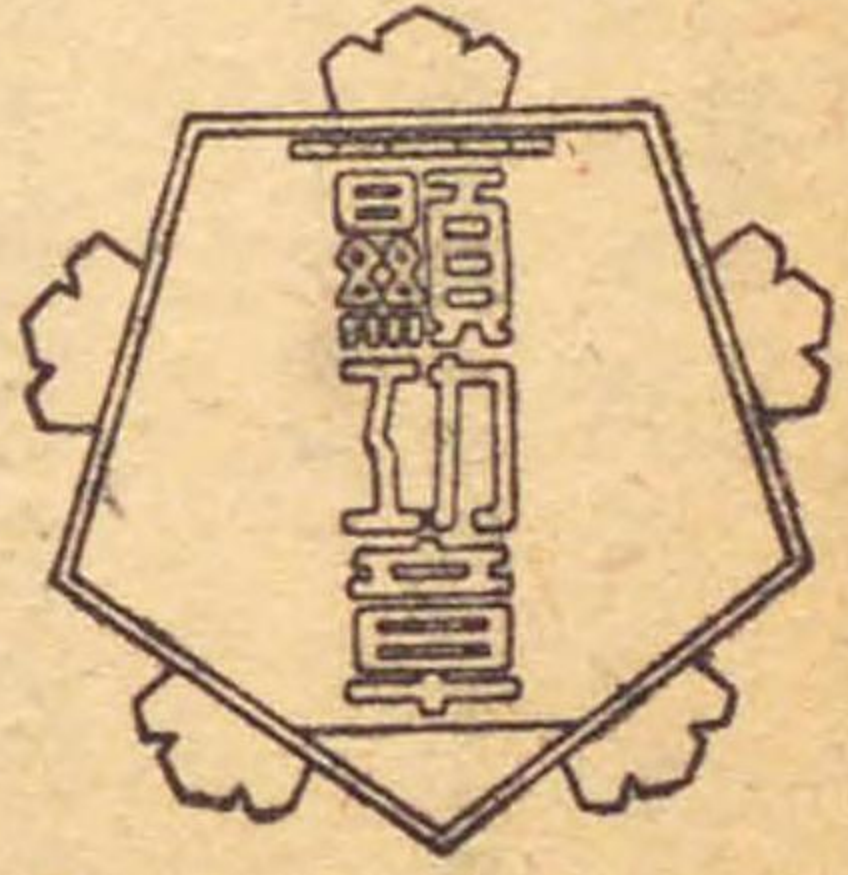
劍ハ白色

銀地七寶 外邊ハ暗黃色暗青色

暗赤色暗綠色黑色

其ノ他ノ部分ハ銀色

裏



顯功章ノ三字ハ凸出ス

略章



舵輪ノ徑三分五厘
銀地七寶

六 船員保險

船員保險法	一
船員保險法ノ一部施行期日ノ件	一
船員保險法ヲ朝鮮及臺灣ニ施行スルノ件	二
船員保險法施行令	三
船員保險法施行規則	三
船員保險ノ被保險者資格得喪屆等ニ關スル件	七
船員保險事務共助ニ關スル件	七
船員保險事務共助ニ關スル勅令施行ニ關スル件	八
内地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件	八
船員保險法施行令第十條及第八十八條ノ規定ニ基ク命令ニ關スル件	八
船員保險ノ保險料率	八
船員保險法施行令第一條第四號ノ規定ニ依リ給料ニ準ズベキモノノ指定ノ件	九

船員保險法施行規則第四十七條第一項ノ規定ニ依リ船員
 保險法施行地外ニ於テ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ
 爲ス地ノ指定……………九〇
 船員保險審査會ノ名稱、位置及管轄區域……………九一
 口頭審問ノ爲船員保險審査會ニ出頭シタル者ニ對スル旅
 費支給ノ件……………九二

船員保險法

昭和十四年四月五日
 法律第七十三號

第一章 總 則

第一條 船員保險ニ於テハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ
 疾病、負傷、老齡、癡疾、脫退又ハ死亡ニ關シ保險給付ヲ
 爲スモノトス

第二條 船員保險ハ政府之ヲ管掌ス

第三條 本法ニ於テ報酬ト稱スルハ船員ガ職務執行ノ對價ト
 シテ船舶所有者ヨリ受クル給料及之ニ準ズベキモノヲ謂フ
 給料ニ準ズベキモノノ範圍及評價ニ關シテハ勅令ヲ以テ之
 ヲ定ム

第四條 報酬ノ額ニ基キ保險料又ハ保險給付ノ額ヲ定ムル場
 合ニ於テハ標準報酬ニ依リ之ヲ算定ス

第五條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ヲ徵收シ又ハ其ノ還
 付ヲ受クル權利及療養費、傷病手當金、癡疾手當金又ハ死
 亡手當金ヲ受クル權利ハ一年ヲ經過シタルトキ、養老年金、
 癡疾年金、脫退手當金又ハ第三十六條、第三十七條、第四

船員保險法

十二條若ハ第四十九條ノ規定ニ依ル一時金ヲ受クル權利ハ
 五年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第六條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定スル期間ノ
 計算ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外民法ノ
 期間ノ計算ニ關スル規定ヲ準用ス

第七條 船員保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セズ

第八條 行政官廳又ハ保險給付ヲ受クベキ者ハ被保險者又ハ
 被保險者タリシ者ノ戶籍ニ關シ戶籍事務ヲ管掌スル者又ハ
 其ノ代理者ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

第九條 行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ヲ雇傭ス
 ル船舶所有者ヲシテ其ノ雇傭スル者ノ異動及報酬ニ關シ報
 告ヲ爲サシメ、文書ヲ提示セシメ其ノ他船員保險ノ施行ニ
 必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令中船舶所有者トア
 ルハ船舶共有ノ場合ニ在リテハ船舶管理人、船舶貸借ノ場
 合ニ在リテハ船舶借入人トス

第十一條 船舶ガ滅失又ハ沈没シタル際現ニ其ノ船舶ニ乘組
 ム被保險者又ハ其ノ船舶ニ乘組中中被保險者ノ資格ヲ喪失シ
 引續キ船舶内ニ在ル者ガ滅失又ハ沈没ノ日ヨリ三月間其ノ
 生死分明ナラザルトキハ本法ノ適用ニ付テハ其ノ期間滿了
 ノ日ニ死亡シタルモノト推定ス

船舶ノ存否ガ一月間分明ナラザルトキハ船舶ハ滅失シタル

生死分明ナラザルトキハ本法ノ適用ニ付テハ其ノ期間満了ノ日ニ死亡シタルモノト推定ス
船舶ノ存否ガ一月間分明ナラザルトキハ船舶ハ滅失シタルモノトス

第一項ノ規定ハ被保險者又ハ船舶ニ乗船中或被保險者ノ資格ヲ喪失シ引續キ船舶内ニ在ル者ガ船舶航行中行方不明ト爲リタル場合ニ於テ三月間生死分明ナラザルトキニ之ヲ準用ス

第十二條 保險料ヲ滯納スル者アルトキハ行政官廳ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

前項ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ督促手數料及延滞金ヲ徵收ス

第一項ノ規定ニ依ル督促ヲ受ケタル者其ノ指定ノ期限迄ニ保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ヲ納付セザルトキハ行政官廳ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分シ又ハ滯納者若ハ其ノ者ノ財産ノ在ル市町村ニ對シ之ガ處分ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市町村ニ對シ處分ノ請求ヲ爲シタルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ徵收金額ノ百分ノ四ニ相當スル金額ヲ當該市

町村ニ交付スベシ

第十三條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ他ノ公課ニ先ツモノトス

第十四條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ニ關スル書類ノ送達ニ付テハ國稅徵收法第四條ノ七及第四條ノ八ノ規定ヲ準用ス

第十五條 國、北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ所有ニ屬スル船舶ニ乗組ム船員ニ關シテハ本法ノ適用ニ付勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十六條 本法中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

第二章 被保險者

第十七條

船員法第一條ニ規定スル帝國臣民タル船員ニシテ本法施行地ニ船籍港ヲ定ムル船舶ニ乗組ムモノハ船員保險ノ被保險者トス但シ左ニ掲グル者ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 船舶所有者ニ雇傭セラレザル者
- 二 官吏又ハ待遇官吏(俸給給料ヲ受ケザル者ヲ除ク)
- 三 前二號ニ掲グル者ノ外勅令ヲ以テ指定スル者

合及日本ノ國籍ヲ失ヒタル場合ニ之ヲ準用ス

第三章 保險給付

第一節 總 則

第二十二條 被保險者タリシ期間ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ヨリ之ヲ起算シ其ノ資格ヲ喪失シタル月ノ前月ヲ以テ終ル但シ十六日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタルトキハ其ノ月ハ半月トシテ之ヲ計算ス

十六日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ月ハ半月トシテ之ヲ被保險者タリシ期間ニ加算ス

被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ其ノ資格ヲ取得シタル者ニ對シテ保險給付ヲ爲ス場合ニ於テハ前後ノ被保險者タリシ期間ハ之ヲ合算ス但シ脱退手當金ノ支給ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ計算ノ基礎ト爲リタル期間ハ之ヲ合算セズ前項但書ノ規定ハ第四十九條ノ規定ニ依リ差額ノ支給ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 第三十六條、第三十七條若ハ第四十二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ヲ受クベキ遺族ノ範圍及順位

第十八條 被保險者ハ船舶ニ乗組ミタル日、前條各號ノ規定ニ該當セザルニ至リタル日又ハ日本ノ國籍ヲ取得シタル日ヨリ其ノ資格ヲ取得ス

第十九條 被保險者ハ死亡シタル日、船舶ニ乗組マザルニ至リタル日、第十七條各號ノ規定ノ一ニ該當スルニ至リタル日又ハ日本ノ國籍ヲ失ヒタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス但シ其ノ事實アリタル日ニ更ニ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第二十條 十年以上十五年未満被保險者タリシ者ガ被保險者タラザルニ至リタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得但シ其ノ者ガ日本ノ國籍ヲ失ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依ル被保險者ニ對シテハ老齡又ハ脱退ニ關スル保險給付ニ限り之ヲ爲スモノトス

第二十一條 前條ノ規定ニ依ル被保險者ハ第十七條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ期間ト前條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ期間トヲ合算シテ十五年ニ達シタルトキ其ノ他勅令ヲ以テ定ムル事由ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ資格ヲ喪失ス

第十九條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル被保險者死亡シタル場

ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 養老年金及廢疾年金ノ支給ハ之ヲ支給スベキ事由ノ生ジタル月ノ翌月ヨリ之ヲ始メ權利消滅ノ月ヲ以テ終ル

第二十五條 政府ハ事故ガ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタル場合ニ於テ保險給付ヲ爲シタルトキハ其ノ給付ノ價額ノ限度ニ於テ保險給付ヲ受クベキ者ガ第三者ニ對シテ有スル損害賠償請求ノ權利ヲ取得ス

第二十六條 保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課セズ但シ養老年金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十七條 保險給付ヲ受クル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ差押フルコトヲ得ズ

第二節 療養ノ給付及傷病手當金

第二十八條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ヲ爲ス但シ被保險者ノ資格喪失前ノ疾病又ハ負傷ニ因リ發シタル疾病ヲ除クノ外被保險者ノ資格喪失後ニ發シタル疾病又ハ負傷ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

ルコトヲ得

第三十二條 療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付其ノ保險給付ヲ始メタル日ヨリ起算シ六月ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲サズ主務大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ期間ヲ超エ尙六月以内繼續シテ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ保險給付ヲ始メタル日前勅令ノ定ムル期間引續キ被保險者タリシ者ニ限ル

傷病手當金ハ其ノ支給期間ヲ經過セザルトキト雖モ療養ノ給付ヲ爲シ得ル期間ヲ經過スルニ至リタルトキハ之ヲ支給セズ

第三節 養老年金

第三十三條 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ扶助又ハ手當ノ支給ヲ受クル被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ベキ期間經過後療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ開始ス

前項ノ規定ハ報酬年額千八百圓ヲ超ユル船舶職員、被保險者ノ資格喪失當時報酬年額千八百圓ヲ超ユル船舶職員タリシ者及勅令ヲ以テ指定スル者ノ疾病又ハ負傷ニハ之ヲ適用セズ

第一項ノ場合ニ於テ療養上必要アリト認ムルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ヲ診療所ニ收容スルコトヲ得

第二十九條 療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナル場合又ハ被保險者若ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルトヲ得

第三十條 被保險者タリシ者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザルトキハ其ノ期間傷病手當金トシテ一日ニ付被保險者ノ資格喪失當時ノ報酬日額ノ百分ノ六十ニ相當スル金額ヲ支給ス

一 療養ノ給付ヲ受クルトキ
二 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ疾病又ハ負傷ニ關シ扶助ヲ受クルトキ

第二十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條 診療所ニ收容シタル被保險者タリシ者ニ對シテ支給スベキ傷病手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額ス

ヲ喪失シタルトキハ其ノ者ノ死亡ニ至ル迄養老年金ヲ支給ス

第三十五條 養老年金ノ額ハ被保險者タリシ期間十五年以上十六年未満ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額ノ百分ノ二十五ニ相當スル金額トシ被保險者タリシ期間十五年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス

被保險者タリシ期間四十年ヲ超ユル者ニ支給スベキ養老年金ノ額ハ之ヲ被保險者タリシ期間四十年トシテ計算ス

第三十六條 養老年金ノ支給ヲ受クル者ガ死亡シタル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル養老年金ノ總額ガ養老年金ノ五分ニ相當スル金額ニ滿タザルトキハ其ノ差額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

第三十七條 十五年以上被保險者タリシ者ガ養老年金ノ支給ヲ受クルコトナクシテ死亡シタル場合ニ於テハ其ノ者ガ支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ養老年金ノ五分分ニ相當スル金額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

第三十八條 傷病手當金又ハ船員法第十七條若ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ手當ノ支給ヲ受クル者ニハ命

令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ベキ期間養老年金ノ支給ヲ停止ス

第三十九條 養老年金ノ支給ヲ受クル者被保險者ト爲リタルトキハ其ノ月ヨリ養老年金ノ支給ヲ停止ス

前項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ停止セラレタル被保險者ガ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ前後ノ被保險者タリシ期間ヲ合算シテ養老年金ノ額ヲ改定ス

前項ノ規定ニ依リ養老年金ノ額ヲ改定スル場合ニ於テ其ノ額ガ従前ノ養老年金ノ額ヨリ少キトキハ従前ノ養老年金ノ額ヲ以テ改定養老年金ノ額トス

第四節 廢疾年金及廢疾手当金

第四十條 被保險者ノ資格喪失前六年間ニ三年以上被保險者タリシ者ノ資格喪失前ニ發シタル疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ガ勅令ノ定ムル期間内ニ治癒シタル場合又ハ治癒セザルモ其ノ期間ヲ經過シタル場合ニ於テ勅令ノ定ムル程度ノ廢疾ノ状態ニ在ル者ニハ其ノ程度ニ應ジ其ノ者ノ死亡ニ至ル迄廢疾年金ヲ支給シ又ハ一時金トシテ廢疾手当金ヲ支給ス

第四十一條 廢疾年金ノ額ハ被保險者タリシ全期間ノ平均報

酬年額ノ百分ノ二十五ニ相當スル金額トシ被保險者タリシ期間十五年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額ノ百分ノ一二ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス

第三十五條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
廢疾手当金ノ額ハ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ七分分ニ相當スル金額トス

第四十二條 廢疾年金ノ支給ヲ受クル者ガ死亡シタル場合ニ於テハ左ノ區別ニ依ル金額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

- 一 被保險者タリシ期間ガ十五年未満ナル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル廢疾年金ノ總額ガ被保險者ノ資格喪失ノ際支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ脫退手当金及被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ七分分ノ合算額（被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ十三月分ヲ超ユルトキハ十三月分ニ止ム）ニ相當スル金額ニ滿タザルトキハ其ノ差額
- 二 被保險者タリシ期間ガ十五年以上ナル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル廢疾年金ノ總額ガ廢疾年金ノ五年分ニ相當スル金額ニ滿タザルトキハ其ノ差額

第四十三條 養老年金及廢疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ一ヲ支給ス

第四十四條 廢疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ廢疾年金ヲ受クル程度ノ廢疾ノ状態ニ該當セザルニ至リタルトキハ爾後廢疾年金ヲ支給セズ

第四十五條 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ廢疾手当金ヲ支給セズ

第五節 脫退手当金

第四十六條 三年以上十五年未満被保險者タリシ者ガ死亡シタルトキ又ハ其ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ被保險者ト爲ルコトナクシテ一年六月ヲ經過シタルトキハ脫退手当金ヲ支給ス但シ其ノ者ガ廢疾手当金ヲ受クル權利ヲ有スルトキハ一年六月ヲ經過セザル場合ト雖モ之ヲ支給ス

第四十七條 脫退手当金ノ額ハ左ノ區別ニ依ル但シ廢疾手当金ノ支給ヲ受クル者ニ支給スベキ額ハ廢疾手当金ノ額ト合算シテ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ十三月分ニ相當スル金額ヲ超ユルコトヲ得ズ

- 一 被保險者タリシ期間三年以上四年未満ナル者ニ對シテハ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ一月半分ニ相

當スル金額

- 二 被保險者タリシ期間四年以上九年未満ナル者ニ對シテハ其ノ期間三年以上一年ヲ増ス毎ニ前號ノ金額ニ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ半月分ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額
- 三 被保險者タリシ期間九年以上ナル者ニ對シテハ其ノ期間八年以上一年ヲ増ス毎ニ前號ノ規定ニ依リ其ノ期間八年以上九年未満ノ者ノ支給ヲ受クベキ金額ニ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ一月分ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額

第四十八條 廢疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ脫退手当金ヲ支給セズ

第四十九條 廢疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ第四十四條ノ規定ニ依リ廢疾年金ノ支給ヲ受ケザルニ至リタル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル廢疾年金ノ總額ガ其ノ者ガ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ脫退手当金ノ額ニ滿タザルトキハ其ノ差額ヲ支給ス

第六節 死亡手当金

第五十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ三年以上被保險者タリシトキハ其ノ遺族ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ三分分ニ相當スル死亡手當金ヲ支給ス但シ其ノ金額ガ百圓ニ滿タザルトキハ之ヲ百圓トス

- 一 被保險者ガ死亡シタルトキ
- 二 被保險者タリシ者ガ其ノ資格喪失後三月以内ニ死亡シタルトキ
- 三 被保險者タリシ者ニシテ療養ノ給付ヲ受クルモノガ死亡シタルトキ

第七節 保險給付ノ制限

第五十一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ自己ノ故意ノ犯罪行爲ニ因リ又ハ故意ニ事故ヲ生ゼシメタルトキハ療養ノ給付又ハ傷病手當金、療疾年金、療疾手當金若ハ死亡手當金ノ支給ヲ爲サズ

第三十六條、第三十七條若ハ第四十二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ノ支給ヲ受クベキ者ガ被保險者又ハ被保險者タリシ者ヲ故意ニ死ニ致シタルトキハ其ノ者ニ對シテハ支給ヲ爲サズ此ノ場合ニ於テ後順位者アルトキハ其ノ者

他ノ法令ニ依リ國又ハ公共團體フ負擔ニ於テ診療所ニ收容セラレタル者ニ對シテハ療養ノ給付ヲ爲サズ

第三十一條ノ規定ハ前項ニ掲グル者ニ之ヲ準用ス

第五十四條 正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハザル者ニ對シテハ傷病手當金ノ一部ヲ支給セザルコトヲ得

第五十五條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者ニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ定メ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲サザルコトヲ得

第五十六條 療養ノ給付又ハ傷病手當金若ハ療疾年金ノ支給ヲ受クル者ニ付必要アリト認ムルトキハ診斷ヲ行フコトヲ得

正當ノ理由ナクシテ前項ノ診斷ヲ受ケザル者ニ對シテハ療養ノ給付ノ全部若ハ一部又ハ傷病手當金、療疾年金若ハ療疾手當金ノ全部若ハ一部ノ支給ヲ爲サザルコトヲ得

第五十七條 養老年金又ハ療疾年金ヲ受クル者ニ付必要アリト認ムルトキハ其ノ身分關係ノ異動及療疾狀態ノ繼續ノ有無ニ關シ其ノ者ヲシテ必要ナル書類ヲ提出セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ書類ヲ提出セザル者ニ對シテハ養老年金又ハ療疾年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトヲ得

ニ支給ヲ爲ス

第五十二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ鬭爭、泥酔若ハ著シキ不行跡ニ因リ、故意ニ危害豫防ニ關スル業務上ノ監督者ノ指揮ニ從ハザルニ因リ又ハ正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハザルニ因リ事故ヲ生ゼシメタルトキハ傷病手當金、療疾年金又ハ療疾手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザルコトヲ得

第五十三條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ期間療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ爲サズ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタルトキ
- 二 本法施行地外ニ在ルトキ
- 三 船舶内ニ在ルトキ
- 四 矯正院其ノ他之ニ準ズベキモノニ入院セシメラレタルトキ
- 五 監獄、留置場又ハ勞役場ニ拘禁又ハ留置セラレタルトキ
- 六 健康保險又ハ職員健康保險ニ於テ之ニ相當スル保險給付ヲ受クルトキ

第四章 費用ノ負擔

第五十八條 國庫ハ療養ノ給付及傷病手當金ヲ除クノ外保險給付ニ要スル費用ノ五分ノ一ヲ負擔ス

國庫ハ前項ニ規定スル費用ノ外毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ船員保險事業ノ事務ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔ス

第五十九條 政府ハ船員保險事業ニ要スル費用ニ充ツル爲保險料ヲ徵收ス

保險料ノ算定ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十條 被保險者及被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ金額ヲ負擔ス

第六十一條 船舶所有者ハ其ノ雇傭スル被保險者ノ負擔スベキ保險料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ負擔スル保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第六十二條 船舶所有者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ納付スベキ保險料ヲ被保險者ニ支拂フベキ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

第五章 審査ノ請求、訴願及訴訟

第六十三條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ第一次船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ第二次船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ通常裁判所ニ訴テ提起スルコトヲ得
前項ノ審査ノ請求ハ時效ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第六十四條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ賦課若ハ徵收ノ處分又ハ第十二條ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六十五條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分ニ關シ訴願ノ提起アリタルトキハ主務大臣ハ第二次船員保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スベシ

第六十六條 本法ニ規定スルモノノ外船員保險審査會ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十七條 審査ノ請求、訴ノ提起又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スベシ此ノ場合ニ於テ審査ノ請求ニ付テハ訴願法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第五十八條第二項及第五十九條ノ規定ヲ準用ス

第六章 罰 則

第六十八條 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ報告ヲ爲サズ虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ文書ノ提示ヲ爲サザル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十九條 船舶所有者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第七十條 第六十八條ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第七章 雜 則

第七十一條 本法ヲ朝鮮又ハ臺灣ニ施行スル場合ニ於テ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十二條 關東州船員令ニ依ル船員タリシ者ガ被保險者ト爲リタル場合又ハ被保險者タリシ者ガ關東州船員令ニ依ル

船員ト爲リタル場合ノ保險給付ニ關シテハ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定竝ニ其ノ他ノ規定ニ付各別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
勅令ヲ以テ指定スル日前十五年間ニ於テ第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル船員トシテ五年以上船舶ニ乗組ミタル者ガ四十五歳ヲ超エ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テ同日以前十五年間ニ於テ船舶ニ乗組ミタル期間ト被保險者タリシ期間トヲ合算シ十五年以上ニ達スルモ十五年以上被保險者タリシ者ニ非ザルトキハ其ノ者ニ對スル脱退手當金ノ支給條件及其ノ額ニ付テハ第四十六條及第四十七條ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

船員保險法ノ一部施行 期日ノ件

(昭和十五年二月二十二日
勅令第六十四號)

船員保險法ハ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ヲ除クノ外
昭和十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法ノ一部施行 期日ノ件

(昭和十五年五月三十日
勅令第三百六十三號)

船員保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ昭和十五
年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法ヲ朝鮮及 臺灣ニ施行スルノ件

(昭和十五年二月二十二日
勅令第六十五號)

船員保險法ハ第十六條及第五章ノ規定ヲ除クノ外之ヲ昭和十
五年三月一日ヨリ朝鮮及臺灣ニ施行ス但シ保險給付及費用ノ
負擔ニ關スル規定ハ此等ノ規定ノ内地ニ於ケル施行ノ日ヨリ
之ヲ施行ス

船員保險法施行令

(昭和十五年二月二十二日
勅令第六十六號)

改正(昭和十六年六月二十日
勅令第七百十七號)

第一章 總 則

第一條 船員保險法第三條第一項ノ給料ニ準ズベキモノノ範
圍ハ左ニ掲グルモノトス

- 一 職長手當
 - 二 勤續手當
 - 三 機關部手當
 - 四 其ノ他厚生大臣ノ指定スルモノ
- 第二條 給料ニ準ズベキモノノ全部又ハ一部ガ金錢以外ノ給
與其ノ他ノ利益ナル場合ニ於テハ其ノ價額ハ保險院長官ノ
定ムル標準價格ニ依リ之ヲ算定ス
- 第三條 船員保險法第四條第一項ノ標準報酬ハ被保險者ノ報
酬月額ニ基キ左ノ區別ニ依リ之ヲ定ム

標準報酬ノ等級	標準報酬			報 酬 月 額
	年 額	月 額	日 額	
第一級	百八十圓	十五圓	五十錢	二十圓未滿
第二級	三百圓	二十五圓	八十錢	二十圓以上三十圓未滿
第三級	四百二十圓	三十五圓	一圓二十錢	三十圓以上四十圓未滿
第四級	五百四十圓	四十五圓	一圓五十錢	四十圓以上五十圓未滿
第五級	六百六十圓	五十五圓	一圓八十錢	五十圓以上六十圓未滿
第六級	七百八十圓	六十五圓	二圓二十錢	六十圓以上七十圓未滿

第七級	九百圓	七十五圓	二圓五十錢	七十圓以上八十圓未滿
第八級	千二百圓	八十五圓	二圓八十錢	八十圓以上九十圓未滿
第九級	千四百四十圓	百圓	三圓三十錢	九十圓以上百圓未滿
第十級	千六百八十圓	百二十圓	四圓	百圓以上百三十圓未滿
第十一級	千八百圓	百四十圓	四圓七十錢	百三十圓以上百五十圓以下
第十二級	千八百圓	百五十圓	五圓	百五十圓ヲ超ユルモノ

第四條 標準報酬ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日ノ現在ニ依リ之ヲ定ム

被保險者ノ報酬ガ其ノ増減アリタルニ因リ從前ノ報酬月額ニ基キ定メラレタル標準報酬ニ該當セザルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ報酬ニ増減アリタル月ノ翌月(報酬ニ増減アリタル日ガ月ノ初日ナルトキハ其ノ月)ヨリ其ノ標準報酬ヲ變更ス

船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ引續キ從前ノ標準報酬ニ依ル但シ其ノ者ノ申請ニ依リ標準報酬ヲ減額スルコトヲ得

第二項ノ規定ハ前項但書ノ規定ニ依リ標準報酬ヲ減額スル

場合ニ之ヲ準用ス

第五條 第三條ニ規定スル被保險者ノ報酬月額ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算定ス

- 一年ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル年額ノ十二分ノ一
- 二月ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル月額
- 日ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル日額ノ三十倍
- 前三號ノ外一定ノ期間ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル其ノ報酬ノ額ヲ其ノ

期間ノ日數ヲ以テ除シテ得タル額ノ三十倍

五 歩合ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ同様ノ船舶ニ於テ同様ノ勞務ニ従事スル者ガ通常ノ場合ニ於テ受クベキ額ヲ標準トシテ算定シタル額

六 前各號ノ二以上ニ該當スル報酬ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ各ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

被保險者ノ報酬月額ガ前項ノ規定ニ依リ算定シ難キトキハ前項ノ規定ニ依リテ算定シタル額ガ著シク不當ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ保險院長官ノ定ムル方法ニ依リ之ヲ算定ス

第六條 船員保險法第十二條第一項ノ規定ニ依リ保險料納付ノ督促ヲ爲サントスルトキハ保險院長官ハ納付義務者ニ對シ督促狀ヲ發スベシ

督促狀ヲ發シタルトキハ督促手数料トシテ二十錢ヲ徵收ス

船員保險法第十二條第三項及第四項ノ規定中行政官廳トアルハ保險料納付者ノ住所又ハ其ノ者ノ財産ノ在ル地ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ)トス

第七條 前條ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ徵收金額百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ徵收

金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徵收ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滞納ニ付酌量スベキ情狀アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 納入ノ告知書一通ノ徵收金額十圓未滿ナルトキ
- 納期ヲ繰上ゲ徵收ヲ爲ストキ
- 納付義務者ノ住所及居所ガ帝國内ニ在ラザル爲又ハ其ノ住所及居所共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法ニ依リ納入ノ告知又ハ督促ヲ爲シタルトキ

督促狀ニ指定シタル期間迄ニ徵收金及督促手数料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セズ

第八條 國ガ船舶所有者タル船舶ニ乗組ム被保險者ガ厚生大臣ノ指定シタル共濟組合ヨリ保險給付ニ相當スル給付ヲ受クルトキハ其ノ者ニ對シテハ保險給付ヲ爲サズ

前項ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定スル共濟組合ハ左ノ要件ヲ具フルモノニ限ル

- 被保險者タル組合員ニ對スル給付ノ種類ガ保險給付ノ種類ヲ包含シ且其ノ給付ガ同種ノ保險給付ト同程度ナルコト
- 被保險者タル組合員ニ對スル給付ノ中保險給付ニ相當スル給付ニ要スル費用ニ付國ガ船員保險法ニ依リ國庫及

船舶所有者トシテ爲ス負擔ト同一ノ割合ヲ下ラザル負擔
ヲ爲スコト

第九條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケザル者ニ付テハ保
險料ハ之ヲ徵收セズ

第十條 第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タ
ル被保險者若ハ被保險者タリシ者ガ第八條ノ規定ニ依リ指
定シタル共濟組合ノ組合員タラザル被保險者ト爲リタル場
合又ハ第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タ
ラザル被保險者若ハ被保險者タリシ者ガ第八條ノ規定ニ依
リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者ト爲リタル場
合ニ於テ必要ナル規定ハ厚生大臣之ヲ定ム

第十一條 管海官廳及船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官
廳ノ事務ヲ行フ市町村長又ハ之ニ準ズル者ハ命令ノ定ムル
所ニ依リ船員保險ニ關スル事務ノ一部ヲ行フ

第二章 被保險者

第十二條 漁船ニ乗組ム船員ニシテ左ニ掲グル者以外ノ者ハ
船員保險法第十七條第三號ノ規定ニ依リ被保險者タラザル
モノトス

- 一 汽船「トロール」漁業、母船式漁業、汽船捕鯨業又ハ機

ノ如シ

- 一 保險料ヲ滯納シ船員保險法第十二條第一項ノ規定ニ依
ル指定ノ期限迄ニ其ノ保險料ヲ納付セザルトキ
- 二 船員保險法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタル
トキ
- 三 船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪
失セントスル申請ヲ爲シタルトキ

第三章 保險給付

第十五條 船員保險法第三十六條、第三十七條若ハ第四十二
條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ヲ受クベキ者ハ被保
險者又ハ被保險者タリシ者ノ配偶者（届出ヲ爲サザルモ事
實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム以下之ニ同ジ）
トシ配偶者ナキ場合ニ於テハ被保險者又ハ被保險者タリシ
者ノ死亡當時之ト同一ノ家ニ在リタル被保險者又ハ被保險
者タリシ者ノ直系卑屬又ハ直系尊屬トシ其ノ順位ハ親等ノ
近キ者ヲ先ニシ卑屬ト尊屬ト親等相同ジキトキハ卑屬ヲ先
ニス

第十六條 前條ニ定メタル同順位者ノ間ニ在リテハ其ノ順位
ハ左ノ規定ニ依ル

船底曳網漁業（東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トス
ルモノヲ除ク）ニ従事スル漁船ニ乗組ム船員但シ母船式
蟹漁業又ハ母船式鮭鱒漁業ニ従事スル附屬漁船ニ乗組ム
船員ヲ除ク

- 二 専ラ漁獵場ヨリ漁獲物又ハ其ノ化製品ヲ運搬スル業務
ニ従事スル漁船ニ乗組ム船員
- 三 漁業ニ關スル試験、調査、指導、練習又ハ取締業務ニ
従事スル漁船ニ乗組ム船員但シ臨時ニ雇傭セラルル船員
ヲ除ク

第十三條 十年以上十五年未満被保險者タリシ者ガ被保險者
タラザルニ至リタル場合ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル日ヨ
リ三月以内ニ船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タ
ラントスル申請ヲ爲ストキハ繼續シテ被保險者ト爲ルコト
ヲ得

前項ニ規定スル期限ヲ經過シタル申請ト雖モ保險院長官ニ
於テ正當ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ受理スルコトヲ得
第一項ノ申請ヲ爲シタル者ガ初テ納付スベキ保險料ニ付第
十四條第一號ニ掲グル事實アリタルトキハ繼續シテ其ノ被
保險者ト爲ラザリシモノト看做ス

第十四條 船員保險法第二十一條第一項ニ規定スル事由ハ左

- 一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ家督相續人（之ニ準
ズベキ者ヲ含ム以下之ニ同ジ）又ハ戸主ハ之ヲ他ノ者ヨ
リ先ニス
- 二 男ハ之ヲ女ヨリ先ニス
- 三 直系卑屬ニ付テハ男又ハ女ノ間ニ在リテハ嫡出子ヲ先
ニシ嫡出子、庶子及私生子ノ間ニ在リテハ嫡出子及庶子
ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ先ニス
- 四 前二號ニ掲グル事項ニ付相同ジキ者ノ間ニ在リテハ年
長者ヲ先ニス

第十七條 第十五條ノ規定ニ該當スル者ナキ場合ニ於テハ左
ニ掲グル順位ニ依リ船員保險法第三十六條、第三十七條若
ハ第四十二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ヲ支給ス
但シ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ遺言又ハ保險院長官
ニ對シテ爲シタル豫告ニ依リ左ニ掲グル者ノ中一人ヲ特ニ
指定シタルトキハ之ニ從フ

- 一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ家督相續人又ハ戸主
- 二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ兄弟姉妹ニシテ被保
險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時之ト同一ノ家ニ在
リタルモノ
- 三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時其ノ者ニ依
リ生計ヲ維持シタル者

第十八條 船員保險法第二十八條第一項ノ療養ノ給付ノ範圍ハ左ノ如シ

- 一 診察
- 二 藥劑又ハ治療材料ノ支給
- 三 處置、手術其ノ他ノ治療
- 四 看護
- 五 移送

前項第四號及第五號ノ給付ハ地方長官ガ必要アリト認ムルモノニ限ル

第十九條 前條第一項第一號乃至第三號ノ給付ニ付テハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長官ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師中自己ノ選定シタル者ニ就キ之ヲ受クルコトヲ得但シ船員保險法第二十八條第三項ノ規定ニ依リ診療所ニ收容セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條 前條ニ規定スル醫師又ハ齒科醫師ガ處方箋ヲ交付シタルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長官ノ指定シタル藥劑師中自己ノ選定シタル者ニ就キ藥劑ヲ受クルコトヲ得

第二十一條 被保險者タリシ者ハ左ノ各號ニ規定スル期間内ニ療養ノ給付ヲ受ケザルトキハ爾後之ヲ受クルコトヲ得ズ

スルモノ

六 其ノ他厚生大臣ニ於テ前各號ノ者ニ準ズト認ムル者

第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ船員保險法第二十九條ノ規定ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

一 地方長官ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナリト認メタルトキ

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ地方長官ノ承認ヲ受ケ其ノ指定セザル醫師又ハ齒科醫師ノ診療ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタルトキ

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ緊急ノ場合ニ於テ地方長官ノ指定セザル醫師、齒科醫師其ノ他ノ者ノ手當ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタルトキ

第二十四條 前條ノ規定ニ依リ支給スル療養費ノ額ハ療養ノ給付ヲ爲ス場合ニ要スル額ヲ標準トシテ地方長官之ヲ定ム

第二十五條 第二十二條ノ規定ハ船員保險法第三十條第二項ノ規定ニ依リ傷病手當金ヲ支給セザル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 船員保險法第二十八條第三項ノ規定ニ依リ診療

但シ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラレル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ已ムコトヲ得ザルモノト認メラルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クベキ場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ得ベキ期間ヲ經過シタル日後十日以内

二 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルコトヲ得ザル者ガ被保險者タリシ期間中療養ノ給付ヲ受ケザリシ場合ニ於テハ被保險者タル資格ヲ喪失シタル日後十日以内

第二十二條 報酬年額千八百圓ヲ超ユル被保險者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ又ハ被保險者ノ資格喪失當時報酬年額千八百圓ヲ超ユル被保險者タリシ者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シタルモノニハ船員保險法第二十八條第二項ノ規定ニ依リ療養ノ給付ヲ爲サズ

- 一 事務長
- 二 醫師
- 三 無線通信士
- 四 通譯
- 五 船舶職員以外ノ運轉士又ハ機關士ニシテ海技免狀ヲ有

所ニ收容シタル被保險者タリシ者ニ對シ支給スベキ傷病手當金ハ專ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者ナキ場合ニ於テハ標準報酬日額ノ百分ノ二十二相當スル金額トス

第二十六條ノ二 船員保險法第三十二條第二項但書ノ規定ニ依ル期間ハ其ノ保險給付ヲ始メタル日以前一年(保險給付ガ同法第三十三條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ扶助又ハ手當ノ支給ヲ受クルコトヲ得ベキ期間經過後始マリタルモノナルトキハ一年三月)以内ニ於テ六月トス

第二十七條 船員保險法第四十條ノ規定ニ依ル期間ハ船員保險法第二十八條第二項ニ規定スル者ニ付テハ被保險者ノ資格喪失ノ日ヨリ九月トシ其ノ他ノ者ニ付テハ療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得ベキ期間トス

第二十八條 船員保險法第四十條ノ規定ニ依リ癱瘓年金ヲ支給スベキ程度ノ癱瘓ノ狀態ハ別表第一ニ該當スルコトヲ要シ癱瘓手當金ヲ支給スベキ程度ノ癱瘓ノ狀態ハ別表第二ニ該當スルコトヲ要ス

第二十九條 第二十六條ノ規定ハ船員保險法第五十三條第二項ニ掲グル者ニ對シ支給スベキ傷病手當金ニ之ヲ準用ス

第三十條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者ニ對シテハ保險院長官ハ六月以内ノ間期

ヲ定メ其ノ者ニ支給スベキ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザル旨ノ決定ヲ爲スコトヲ得但シ詐欺其ノ他不正ノ行爲アリタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ前項ノ決定ハ保險院長官ニ於テ其ノ事實ヲ知りタルトキ遲滞ナク之ヲ爲シ本人ニ通知スベシ

第三十一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ内地以外ノ地ニ於テ療養ノ給付ヲ爲ス場合ニ於テハ第十八條第二項、第十九條、第二十條、第二十三條及第二十四條中地方長官トアルハ保險院長官トス但シ事務ノ共助ヲ爲ス場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ必要アルトキハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第四章 費用ノ負擔

第三十二條 保險料額ハ毎月ニ付船員保險法第二十二條第一項及第二項ノ規定ニ依リ計算シタル被保險者タリシ期間ガ一月ナルトキハ被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乗ジテ得タル額トシ半月ナルトキハ被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘ジテ得タル額ノ半額トス
被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於ケル其ノ月分ノ保險料額ハ被保險者ノ標準報酬

月額ニ保險料率ヲ乘ジテ得タル額ノ半額トス
保險料率ハ厚生大臣之ヲ定ム

第三十三條 船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ其ノ被保險者ト爲リタル月ノ保險料額ハ前條ノ例ニ依リ之ヲ算定ス

第三十四條 船舶所有者ハ被保險者ニ對シ金錢ヲ以テ報酬ヲ支拂フ場合ニ於テハ船員保險法第六十二條ノ規定ニ依リ被保險者ノ負擔スベキ前月分ノ保險料(支拂フ報酬ガ二月以上ノ期間ニ對スルモノナルトキハ其ノ期間ニ係ル保險料)ヲ其ノ報酬ヨリ控除スルコトヲ得被保險者ヲ雇備セザルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料ヲモ控除スルコトヲ得

第三十五條 船舶所有者ハ保險料ノ控除ニ關スル計算書ヲ作製シ被保險者ノ請求ニ應ジテ閱覽セシムベシ

第三十六條 毎月ノ保險料ハ翌月末日迄ニ之ヲ納付スベシ但シ船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ納付スベキ保險料ニ付テハ厚生大臣ニ於テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得
保險院長官ハ保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知りタルトキハ其ノ超過部分ニ對スル納入ノ

第六章 朝鮮及臺灣ニ關スル特例

第六十條 朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險法ノ施行ニ關シテハ本章ノ規定並ニ本章ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外第一章乃至第四章及第七章ノ規定ニ依ル

第六十一條 船員保險法中國稅徵收法トアルハ朝鮮ニ在リテハ國稅徵收令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國稅徵收法、臺灣ニ在リテハ臺灣國稅徵收規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル國稅徵收法トス

同法中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督トシ北海道、府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又ハ廳トシ市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面、臺灣ニ在リテハ市街庄トシ市町村稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面稅、臺灣ニ在リテハ市街庄稅トス

同法中民法又ハ船員法トアルハ朝鮮ニ在リテハ各朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法又ハ朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法トス

第六十二條 本令中厚生大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督トシ保險院長官トアルハ朝鮮

告知ハ其ノ告知ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルベキ保險料ニ對シ納期ヲ繰上ゲ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ納期ヲ繰上ゲ納入ノ告知ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ保險院長官ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スベシ

第三十七條 保險料納付義務者ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルト

- 一 キハ納期前ト雖モ保險料ハ總テ之ヲ徵收スルコトヲ得
 - 一 國稅、府縣稅其ノ他ノ公課ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ
 - 二 強制執行ヲ受クルトキ
 - 三 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
 - 四 競賣ノ開始アリタルトキ
 - 五 法人ガ解散ヲ爲シタルトキ
- 前項ノ規定ハ被保險者ノ乗組ム船舶ニ付船舶所有者ノ變更アリタル場合及被保險者ノ乗組ム船舶ガ滅失シ、沈没シ又ハ全ク運航ニ堪ヘザルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス

第五章 削 除

第三十八條乃至第五十九條 削除

船員保險法施行令

ニ在リテハ朝鮮總督府逕信局長、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通部總長トシ府縣稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ道稅、臺灣ニ在リテハ州廳稅トス

本令中地方長官トアルハ第六條第三項ノ場合ハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長トシ其ノ他ノ場合ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府逕信局長、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通部總長トス

第十一條中船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長又ハ之ニ準ズル者トアルハ朝鮮ニ在リテハ郵便局長トシ市町村長又ハ之ニ準ズル者トアルハ臺灣ニ在リテハ市街庄長トス

第三十一條中内地トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮、臺灣ニ在リテハ臺灣トス

本令中船員法又ハ第十二條第一號中機船底曳網漁業（東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トスルモノヲ除ク）トアルハ朝鮮ニ在リテハ各朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法又ハ朝鮮總督ノ指定スル機船底曳網漁業トス

第六十三條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ朝鮮總督府裁判所ニ訴ヲ提起シ臺灣ニ在リテハ

テ依ルコトヲ定メタル民事訴訟法第一百五十八條第二項及第一百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ臺灣ニ在リテハ審査ノ請求ニ付テハ訴訟法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第一百五十八條第二項及第一百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第六十七條 朝鮮船員保險審査會ハ朝鮮總督ノ、臺灣船員保險審査會ハ臺灣總督ノ監督ニ屬シ第六十三條及第六十五條ノ審査ヲ爲ス

第六十八條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ハ各會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十九條 朝鮮船員保險審査會ノ會長ハ朝鮮總督府逕信局長ヲ以テ、臺灣船員保險審査會ノ會長ハ臺灣總督府交通部總長ヲ以テ之ニ充ツ

第七十條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ委員ハ各左ニ掲グル者ヲ以テ之ニ充ツ

- 一 官吏、公吏又ハ學識經驗アル者 三人
 - 二 被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者 三人
 - 三 被保險者側ヲ代表シ得ル者 三人
- 前項ニ於テ被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者トアルハ船舶所有者ガ國ナル場合ニ於テハ關係官吏トシ公共團體ナル場合

船員保險法施行令

臺灣船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ臺灣總督府法院ニ訴ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ審査ノ請求ハ時效ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第六十四條 保險料其ノ他船員保險法ニ依ル徵收金ノ賦課若ハ徵收ノ處分又ハ同法第十二條ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督ニ裁決ノ申請ヲ爲シ臺灣ニ在リテハ臺灣總督ニ訴願スルコトヲ得

第六十五條 保險料其ノ他船員保險法ニ依ル徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分ニ關シ裁決ノ申請アリタルトキハ朝鮮總督ハ朝鮮船員保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲シ訴願ノ提起アリタルトキハ臺灣總督ハ臺灣船員保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スベシ

第六十六條 第六十三條第一項ノ審査ノ請求若ハ訴ノ提起又ハ第六十四條ノ裁決ノ申請若ハ訴願ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スベシ

前項ノ場合ニ於テ朝鮮ニ在リテハ審査ノ請求ニ付宥恕スベキ事由アリト認ムルトキハ期限經過後ニ於テモ仍之ヲ受理スルコトヲ得ルモノトシ訴ノ提起ニ付テハ朝鮮民事令ニ於

ニ於テハ關係官吏、其ノ他ノ法人ナル場合ニ於テハ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ支配人トス

第七十一條 朝鮮船員保險審査會ノ委員ハ朝鮮總督ノ、臺灣船員保險審査會ノ委員ハ臺灣總督ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

委員ノ任期ハ官吏又ハ公吏トシテ委員タル者ヲ除クノ外三年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨グズ

第七十二條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル會長事故アルトキハ朝鮮船員保險審査會ニ在リテハ朝鮮總督ノ、臺灣船員保險審査會ニ在リテハ臺灣總督ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第七十三條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ニ幹事ヲ置ク朝鮮船員保險審査會ニ在リテハ朝鮮總督ノ奏請ニ依リ朝鮮總督府逕信官署ノ高等官中ヨリ、臺灣船員保險審査會ニ在リテハ臺灣總督ノ奏請ニ依リ臺灣總督府交通部ノ高等官中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

記テ置ク朝鮮船員保險審査會ニ在リテハ朝鮮總督府通信官署ノ判任官中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ジ臺灣船員保險審査會ニ在リテハ臺灣總督府交通局ノ判任官中ヨリ臺灣總督之ヲ命ズ

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第七十五條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ審査ハ委員定數ノ半數以上出席シ且第七十條第一項各號ノ委員各一人以上出席スルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ及ブ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七十五條ノ二 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ審査ハ出席委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第七十五條ノ三 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ審査ハ文書ニ就キ之ヲ爲ス但シ必要アリト認ムルトキハ口頭審問ヲ爲スコトヲ妨グズ

前項但書ノ規定ニ依リ口頭審問ヲ爲ス爲出頭ヲ命セラレタル場合ニ於テ已ムコトヲ得ザル事故ノ爲出頭スルコトヲ得ザルトキハ當事者ハ其ノ法定代理人、親族又ハ同居者ヲシテ代リテ出頭セシムルコトヲ得

口頭審問ノ爲出頭シタル當事者及之ニ代リテ出頭シタル者

キハ其ノ承繼人ニ於テ審査請求手續ヲ受繼グモノトス

第七十六條 削除

第七十七條 本章ニ規定スルモノノ外審査ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督之ヲ定ム

第七章 雜 則

第七十八條 一ノ地域（内地、朝鮮又ハ臺灣トス以下之ニ同ジ）ニ於テ船員保險ノ被保險者タリシ期間ヲ計算スル場合ニ於テ其ノ者ガ他ノ地域（内地、朝鮮若ハ臺灣ノ中當該地域以外ノモノ又ハ關東州トス以下之ニ同ジ）ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ被保險者タリシ期間ハ之ヲ當該地域ニ於テ船員保險ノ被保險者タリシ期間ト看做ス

第七十九條 一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ガ其ノ資格ヲ喪失スベキ原因タル事實ノ發生シタル日ニ於テ更ニ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ其ノ日ヨリ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ノ資格ヲ喪失ス

第八十條 船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ガ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該地域ニ於テハ其ノ資格ヲ喪失ス

ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅費ヲ給スルコトヲ得

第七十五條ノ四 審査ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件ガ

審査ノ手續ニ違反シタルモノナルトキ又ハ審査ノ請求會又ハ臺灣船員保險審査會ハ決定ヲ以テ之ヲ却下スベシ

審査ノ請求ニシテ手續ノ方式ニ欠缺アルモノハ朝鮮船員保險審査會長又ハ臺灣船員保險審査會長之ヲ補正セシムベシ

第七十五條ノ五 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會

ノ審査ハ之ヲ公開セズ但シ口頭審問ハ之ヲ公開ス

口頭審問ヲ爲ス場合ニ於テ議長必要アリト認ムルトキハ前

項但書ノ規定ニ拘ラズ傍聽ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

第七十五條ノ六 關係官吏ハ朝鮮船員保險審査會又ハ臺灣船員保險審査會ノ請求ニ依リ又ハ其ノ承認ヲ受ケ會議ニ出席

シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第七十五條ノ七 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會

ハ事件ノ一部ガ審査ノ決定ヲ爲スニ熟スルトキハ其ノ部分ニ付先ヅ決定ヲ爲スコトヲ得

第七十五條ノ八 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會

ノ審査ノ決定ハ理由ヲ附シ文書ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第七十五條ノ九 審査請求人ガ審査ノ決定前ニ死亡シタルト

キハ其ノ承繼人ニ於テ疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付

又ハ船員法第十七條若ハ第二十九條ノ規定ニ依ル船舶所有者ノ扶助ヲ受クル者ガ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲

リタルトキハ當該地域ニ於テハ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療

養ノ給付ヲ爲サズ

第八十二條 疾病又ハ負傷ニ關シ他ノ地域ニ於テ療養ノ給付

ヲ受クル者ガ一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル場合ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給

付ヲ爲ストキハ他ノ地域ノ船員保險ニ於テ當該疾病又ハ負

傷ニ關シ療養ノ給付ヲ始メタル日ヲ當該地域ノ船員保險ニ

於テ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付ヲ始メタル日ト看

做ス

第八十三條 疾病又ハ負傷ニ關シ他ノ地域ニ船籍港ヲ定ムル

船舶ノ所有者ヨリ船員法（關東州船員令ニ於テ依ルコトヲ

定メタル場合ヲ含ム）第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依

ル扶助ヲ受クル者ガ一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ

被保險者ト爲リタルトキハ當該疾病又ハ負傷ニ關シテハ船

員保險法第三十三條ノ規定ヲ準用ス

第八十四條 一ノ地域ニ於テ養老年金ノ支給ヲ受クル者ガ他

ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該地域ニ

船員保險法施行令

於テハ其ノ月ヨリ養老年金ノ支給ヲ爲サズ

第八十五條 船員保險法第三十九條第二項及第三項ノ規定ハ

一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル
爲前條ノ規定(關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令ノ規定)

ニ依リ他ノ地域ノ船員保險ノ養老年金ノ支給ヲ爲サレザル
ニ至リタル者ガ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ之ヲ準用ス

第八十六條 一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ガ其ノ
資格喪失後一年六月以内ニ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者
ト爲リタルトキハ當該地域ニ於テハ脱退手當金ノ支給ヲ爲
サズ但シ其ノ者ガ癱疾手當金ヲ受クル權利ヲ有スル場合ハ
此ノ限ニ在ラズ

第八十七條 一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ガ他ノ
地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル後死亡シタルトキハ
當該地域ニ於テハ死亡手當金ノ支給ヲ爲サズ

第八十八條 他ノ地域ニ於ケル第八條ノ規定(關東州ニ在リ
テハ之ニ相當スル法令ノ規定)ニ依リ指定シタル共濟組合
ノ組合員タル被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ一ノ地域ニ
於ケル第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タ
ラザル被保險者ト爲リタル場合ニ於テ必要ナル規定ハ一ノ
地域ガ内地ナルトキハ厚生大臣、朝鮮ナルトキハ朝鮮總

督、臺灣ナルトキハ臺灣總督之ヲ定メ、一ノ地域ニ於ケル
第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タラザル
被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ他ノ地域ニ於ケル第八條
ノ規定(關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令ノ規定)ニ依
リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者ト爲リタル場
合ニ於テ必要ナル規定ハ一ノ地域ガ内地ナルトキハ厚生大
臣、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督、臺灣ナルトキハ臺灣總督之
ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ保險給付及費
用ノ負擔ニ關スル規定ハ船員保險法中保險給付及費用ノ負擔
ニ關スル規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年五月一日ニ於テ現ニ被保險者ノ資格ヲ有スル者ニ
對スル標準報酬ハ第四條第一項ノ規定ニ拘ラズ同日ノ現在ニ
依リ之ヲ定ム但シ其ノ者ガ昭和十五年五月二日以後ニ於テ被
保險者ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタ
ル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

船員保險法附則第二項中勅令ヲ以テ指定スル日トハ船員保險
法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日トス

船員保險法附則第二項ノ規定ニ依リ支給スベキ脱退手當金ハ
被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ニ別表第三ニ定ムル月
數ヲ乘ジテ得タル金額トス但シ癱疾手當金ノ支給ヲ受クル者
ニ支給スベキ額ハ癱疾手當金ノ額ト合算シテ被保險者タリシ
全期間ノ平均報酬月額ノ十五分ニ相當スル金額ヲ超ユルコ
トヲ得ズ

船員保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日前
十五年間ニ於テ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲ルベキ資
格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乗組ミタル者ノ其ノ乗組ミタル

期間ハ其ノ者ガ一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險
者ト爲リタルトキハ之ヲ當該地域ノ船員保險ニ於テハ同日
前十五年間ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲ルベキ資
格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乗組ミタル期間ト看做シ同法附
則第二項ノ規定ヲ適用ス

附 則

(昭和十六年六月二十日勅令第七百十七號)

本令ハ昭和十六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

別表第一

番 號	癱疾年金ヲ支給スベキ程度ノ癱疾ノ狀態
一	兩眼ノ視力〇・一以下ニ減ジタルモノ又ハ一眼失明シ他眼ノ視力〇・三以下ニ減ジタルモノ
二	咀嚼若ハ言語ノ機能ヲ癱シタルモノ又ハ咀嚼若ハ言語ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘スモノ
三	兩耳ノ聽力耳殼ニ接セザレバ大聲ヲ解シ得ザルモノ
四	脊柱ニ著シキ畸形又ハ運動障害ヲ殘スモノ
五	一上肢ヲ腕關節以上ニテ失ヒタルモノ又ハ十指ヲ失ヒタルモノ
六	一上肢ノ三大關節ノ中二關節以上ノ用ヲ癱シタルモノ又ハ十指ノ用ヲ癱シタルモノ

船員保險法施行令

七	一下肢ヲ足關節以上ニテ失ヒタルモノ又ハ十趾ヲ失ヒタルモノ
八	一下肢ノ三大關節ノ中ニ關節以上ノ用ヲ廢シタルモノ
九	胸腹部臟器ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘シ終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ
十	精神又ハ神經系統ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘シ終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ
十一	以上各號ニ該當セザルモノト雖モ疾病又ハ負傷ニ因リ終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ

備考

- 一 視力ノ測定ハ萬國式視力表ニ依ル屈折異狀アルモノニ付テハ矯正視力ニ付測定ス
- 二 指ヲ失ヒタルモノトハ拇指ハ指關節、其ノ他ノ指ハ第一指關節以上ヲ失ヒタルモノヲ謂フ
- 三 指ノ用ヲ廢シタルモノトハ指ノ末節ノ半以上ヲ失ヒ又ハ掌指關節若ハ第一指關節（拇指ニ在リテハ指關節）ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノヲ謂フ
- 四 趾ヲ失ヒタルモノトハ其ノ全部ヲ失ヒタルモノヲ謂フ
- 五 趾ノ用ヲ廢シタルモノトハ第一趾ハ末節ノ半以上、其ノ他ノ趾ハ末關節以上ヲ失ヒタルモノ又ハ蹠趾關節若ハ第一趾關節（第一趾ニ在リテハ趾關節）ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノヲ謂フ

別表第二

番號	廢疾手當金ヲ支給スベキ程度ノ廢疾ノ狀態
一	兩眼ノ視力〇・六以下ニ減ジタルモノ又ハ一眼ノ視力〇・一以下ニ減ジタルモノ

二	兩眼ニ半盲症、視野狹窄若ハ視野變狀ヲ殘スモノ又ハ兩眼ノ眼瞼ニ著シキ缺損ヲ殘スモノ
三	鼻ヲ缺損シ其ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘スモノ
四	咀嚼又ハ言語ノ機能ニ障害ヲ殘スモノ
五	兩耳ノ聽力四十種以上ニテハ尋常ノ語聲ヲ解シ得ザルモノ又ハ一耳ノ聽力耳殼ニ接セザレバ大聲ヲ解シ得ザルモノ
六	頸部ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノ
七	一手ノ一指以上ヲ失ヒタルモノ（中指、環指又ハ小指ノミヲ失ヒタルモノヲ除ク）又ハ一手ノ拇指ノ用ヲ廢シタルモノ、示指ヲ併セ二指ノ用ヲ廢シタルモノ若ハ拇指及示指以外ノ三指ノ用ヲ廢シタルモノ
八	一上肢ノ三大關節中ノ一關節ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ一上肢ニ假關節ヲ殘スモノ
九	一下肢ヲ三種以上短縮シタルモノ
十	一下肢ノ三大關節中ノ一關節ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ一下肢ニ假關節ヲ殘スモノ
十一	十趾ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ一足ノ第一趾若ハ他ノ四趾ヲ失ヒタルモノ
十二	胸腹部臟器ノ機能ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得ザルモノ
十三	精神ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得ザルモノ
十四	神經系統ノ機能ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得ザルモノ
十五	以上各號ニ該當セザルモノト雖モ疾病又ハ負傷ニ因リ船員トシテ從來ノ勞務ニ服スルコト能ハザルモノ

備考 別表第一ノ備考ニ同ジ

被保險者タリシ期間	附則第一項ノ日前十五年間ニ於テ船員保險法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル船員トシテ船中ニ乗組ミタル期間	五年以上六年以上	七年以上	八年以上	九年以上	十年以上	十一年以上	十二年以上	十三年以上	十四年以上
一年以上					七月					
二年以上				六月						
三年以上				五月						
四年以上				四月						
五年以上				三月						
六年以上				二月						
七年以上				一月						
八年以上				一月						
九年以上				一月						
十年以上				一月						
十一年以上				一月						
十二年以上				一月						
十三年以上				一月						
十四年以上				一月						

船員保險法施行規則

(昭和十五年二月二十七日)
厚生省令第五號
改正(昭和十六年六月二十六日)
厚生省令第二十六號

第一章 被保險者

第一節 被保險者ノ乗組ム船舶

第一條 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有(共有及借入ヲ含ム以下之ニ同ジ)スルニ至リタルトキ又ハ所有スル船舶ガ被保險者ノ乗組ム船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ但シ第三條又ハ第三條ノ二ノ規定ニ依リ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 船舶所有者ノ氏名及住所(船舶所有者ガ法人ナルトキハ名稱及主タル事務所ノ所在地以下之ニ同ジ)
- 二 船舶ノ名稱及種類
- 三 船舶番號
- 四 船籍港

船員保險法施行規則

- 五 船舶ノ用途
- 六 船舶ノ總噸數
- 七 船舶ノ航行區域(漁船ニ在リテハ業務ノ種類)
- 八 常時ニ於ケル乗組員ノ概數
- 九 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望
- 十 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶ガ被保險者ノ乗組ム船舶ト爲リタル年月日及事由

第二條 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セザルニ至リタルトキハ船舶所有者タリシ者、所有スル船舶ガ被保險者ノ乗組ム船舶ニ非ザル船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ但シ第三條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スベキ者アル場合又ハ第三條ノ二ノ規定ニ依リ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 船舶所有者タリシ者又ハ船舶所有者ノ氏名及住所
- 二 船舶ノ名稱及種類
- 三 船舶番號
- 四 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セザルニ至リタル年月日

二 船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ掲グル船員ガ船舶職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ掲グル船員以外ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ

三 標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ

第十條 船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ様式第三號ニ依ル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

第十一條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立、終了若ハ變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳(管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長、市町村長ニ準ズル者及市街庄長ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ公認ヲ受クベキ場合又ハ被保險者タル船長ノ就職若ハ退職ニ付船員法施行規則第五十七條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ認證ヲ受クベキ場合ニ於ケル被保險者ノ資格ノ取得及喪失ノ届出竝ニ職務及報酬月額ノ變更ノ届出ニ關シテハ前三條ノ規定ニ拘ラズ別ニ定ムル所ニ依ル

第十二條 被保險者ハ其ノ氏名ニ變更アリタルトキハ變更後ノ氏名及變更ノ年月日ヲ遲滞ナク船舶所有者ニ申出ヅベシ

第十三條 船舶所有者ハ前條ノ規定ニ依ル申出ヲ受ケタルトキハ其ノ被保險者ノ氏名ノ變更ニ付左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク保險院長官ニ提出スベシ

一 船舶所有者ノ氏名及住所

二 被保險者ノ氏名及生年月日竝ニ乗組ム船舶ノ名稱

三 變更前ノ氏名及變更ノ年月日

第十四條 船員保險法(以下法ト稱ス)第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ヲラントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名、生年月日及住所

二 被保險者資格喪失ノ年月日

三 被保險者資格喪失ノ際乗組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所

四 被保險者資格喪失ノ際指定共済組合ノ組合員タル者ナルトキハ其ノ共済組合ノ名稱

五 令第十三條第一項ノ期限經過後申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由

第十五條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所

二 變更前ノ氏名又ハ住所及變更ノ年月日

第十六條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失セ

第三節 標準報酬

第十條 第八條第一項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定シ之ヲ船舶所有者ニ通知スベシ

第十八條 第九條ノ規定ニ依リ被保險者ノ報酬月額ノ變更ノ届出アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ變更シ之ヲ船舶所有者ニ通知スベシ

第十九條 削除

第二十條 削除

第二十一條 船舶所有者ハ第十七條又ハ第十八條ノ通知ヲ受ケタルトキハ被保險者ノ受有スル船員手帳ニ其ノ標準報酬ノ等級ヲ記載スベシ

第二十二條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立若ハ變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ公認ヲ受クベキ場合又ハ被保險者タル船長ノ就職ニ付船員法施行規則第五十七條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ認證ヲ受クベキ場合ニ於ケル被保險者ノ標準報酬ノ決定及變更ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二十三條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所

二 現在ノ標準報酬ノ等級

三 希望スル標準報酬ノ等級

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルト同時ニ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ其ノ標準報酬ノ減額ノ申請ハ第十四條ノ申請書ニ前項第二號及第三號ニ掲グル事項ヲ附記シテ之ヲ爲スコトヲ得

第一項又ハ前項ノ規定ニ依ル申請アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ標準報酬ヲ減額シ之ヲ其ノ被保險者ニ通知スベシ

第二章 保險給付

第一節 療養ノ給付及傷病手當金

第二十四條 療養ノ給付ハ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條(朝鮮船員令施行規則又ハ關東州船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ規定ニ依ル扶助ヲ船舶所有者ヨ

リ受クルコトヲ得ベキ期間經過後、傷病手當金ノ支給ハ同令第十五條（朝鮮船員令施行規則又ハ關東州船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令第十五條ヲ含ム以下之ニ同ジ）又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當（船員ノ失業期間ニ對スル手當ヲ除ク以下之ニ同ジ）ヲ船船所有者ヨリ受クルコトヲ得ベキ期間經過後之ヲ開始ス

保險者ノ受有スル船員手帳ノ官廳記事欄ニ診療券交付ノ年月日及傷病名ヲ記載シタル上認印ヲ捺捺スベシ
船船所有者ハ被保險者ヨリ診療券ノ交付ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ
被保險者ハ第一項ノ規定ニ依リ船船所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ記載シタル疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケザルニ至リタルトキハ其ノ診療券ヲ遲滞ナク船船所有者ニ返納スベシ

第二十四條ノ二 法第三十二條第二項ノ規定ニ依リ支給スル病ヲ指定ス

船船所有者ハ前項ノ規定ニ依リ被保險者ヨリ診療券ノ返納ヲ受ケタルトキハ之ヲ遲滞ク保險院長官ニ提出スベシ

第二十四條ノ三 法第三十二條第二項ノ規定ニ依リ支給スル保險給付ハ當分ノ内療養ノ給付トス

第二十六條 被保險者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ船船所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券及船員手帳ヲ保險醫ニ提示スベシ

第二十五條 被保險者ハ地方長官ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師（以下保險醫ト稱ス）ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ船船所有者ヨリ様式第四號ニ依リ診療券ノ交付ヲ受ケベシ

第二十七條 保險醫ハ初テ被保險者ノ診療ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ提示シタル診療券ニ所定ノ記載ヲ爲シ之ヲ被保險者ニ返付スベシ

船船所有者ハ前項ノ規定ニ依リ診療券ヲ交付セントスルトキハ其ノ診療券ニ當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リ扶助ヲ爲ス義務ナキコトニ關シ管海官廳ヨリ證明ノ記載ヲ受ケタル後之ヲ交付スベシ

第二十八條 被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ地方長官ヨリ様式第五號ニ依リ診療券ノ交付ヲ受ケベシ但シ被保險者タリシ當時第二十五條第一項ノ規定ニ依リ船船所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者

船船所有者ハ被保險者ニ診療券ヲ交付スル場合ニ於テハ被保險者タリシ者ハ船船所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リ扶助ヲ爲ス義務ナキ疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケントスル場合ニ於テ被保險者タリシ當時第二十五條第一項ノ規定ニ依リ船船所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケザリシトキハ其ノ船船所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケベシ

六 當該疾病又ハ負傷ニ付船船所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リテ爲ス扶助ノ義務終了ノ年月日
前項ノ請求書ニハ前項第四號及第六號ニ掲グル事項ニ關スル當該船船所有者ノ證明書ヲ添附スベシ

又ハ第二項ノ規定ニ依リ船船所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケル者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條ノ二 被保險者タリシ者ハ保險醫ヲ變更セントスルトキハ地方長官ヨリ様式第五號ニ依リ診療券ノ再交付ヲ受ケベシ

第二十五條第二項及第四項ノ規定ハ船船所有者ガ前項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

被保險者タリシ者ハ前項ノ規定ニ依リ診療券ノ再交付ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

第二十九條 被保險者タリシ者ハ前條第一項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ診療ヲ受ケントスル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

一 氏名、生年月日及住所
二 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
三 療養ノ給付開始ノ年月日

一 氏名、生年月日及住所
二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船船ノ名稱並ニ船船所有者ノ氏名及住所

四 現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名及診療所所在地
五 當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船船所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ前條第一項第二號乃至第四號ニ掲グル事項

四 最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級
五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ前條第一項第二號乃至第四號ニ掲グル事項

第三十條 被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ地方長官ヨリ交付ヲ受ケタル診療券(第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ診療券)ヲ保險醫ニ提出スベシ

被保險者タリシ者ハ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セララルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後診療ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ保險醫ニ申出ヅベシ

第三十一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタル疾病又ハ負傷ニ付保險醫ニ就キ診療ヲ受クルニ至リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク第六號ニ掲グル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

- 一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
- 二 乗組ム船舶(被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶)ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所
- 三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 四 療養ノ給付開始ノ年月日

五 當該疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタル事實並ニ第三者ノ氏名及住所(第三者ノ氏名又ハ住所ガ不詳ナルトキハ其ノ旨)

六 當該疾病又ハ負傷ニ付初テ診療ヲ受ケタル保險醫ノ氏名及診療所所在地

第三十二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長官ノ指定シタル藥劑師(以下保險藥劑師ト稱ス)ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケントスルトキハ現ニ診療ヲ受ケル保險醫ヨリ處方箋ノ交付ヲ受ケ之ヲ保險藥劑師ニ提出スベシ

第三十三條 保險醫ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ醫師法施行規則第九條ノ三又ハ齒科醫師法施行規則第八條ノ三ノ規定ニ依ルノ外其ノ處方箋ニ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ナル旨ヲ記載シ其ノ個所ニ捺印スベシ

第三十四條 削除

第三十五條 削除

第三十六條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十八條第一項第四號及第五號ノ給付ヲ受ケルコトノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受ケル保險醫(申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ

療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付ガ療養費ノ支給ナルトキハ診療ヲ受ケントスル保險醫)ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ但シ已ムテ得ザル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク左ニ掲グル事項及已ムテ得ザル事由ヲ記載シタル届書ヲ地方長官ニ提出スベシ

- 一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
- 二 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 三 療養ノ給付開始ノ年月日(申請當時療養ノ給付開始前ナルトキハ其ノ旨)
- 四 現ニ診療ヲ受ケル保險醫ノ氏名及診療所所在地(申請當時療養ノ給付開始前ナルトキハ現ニ診療ヲ受ケル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地)
- 五 當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受ケル者ニ在リテハ第二十九條第一項第二號乃至第四號ニ掲グル事項

前項ノ申請書又ハ届書ニハ令第十八條第一項第四號及第五號ノ給付ヲ必要トスル事由、給付ノ内容及之ニ要スベキ費用ノ見積額ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スベシ

シ

令第十八條第一項第四號ノ給付ヲ診療所ニ入院シタル上受ケントスル者ニ在リテハ本條ノ申請ハ之ヲ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスル申請ニ合シテ爲スコトヲ得

第三十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受ケル保險醫ノ診療所所在地(申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ

其ノ療養ノ給付ガ療養費ノ支給ナルトキハ入院セントスル診療所ノ所在地)ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ但シ已ムテ得ザル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク第一號ニ掲グル事項及入院シタル診療所ノ名稱所在地並ニ已ムテ得ザル事由ヲ記載シタル届書ヲ地方長官ニ提出スベシ

- 一 前條第一項各號ニ掲グル事項
 - 二 入院豫定ノ診療所ノ名稱及所在地
- 前項ノ申請書又ハ届書ニハ診療所ニ入院ヲ必要トスル事由及期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スベシ
診療所ニ入院ノ承認ヲ爲シタル場合ニ於テ地方長官ノ交付

スル承認書ハ様式第七號ニ依ルベシ

第三十八條 削除

第三十九條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院セントスルトキハ地方長官ヨリ交付ヲ受ケタル診療所入院ノ承認書ヲ其ノ診療所ニ提出スベシ此ノ場合ニ於テ被保險者タリシ者ノ入院スベキ診療所ガ現ニ診療ヲ受ケル保險醫ノ診療所以外ノ診療所ナルトキハ其ノ提出スル診療所入院ノ承認書ハ第三十條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ診療券ト看做ス

第四十條

被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ承認申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療所ニ入院スルコト能ハザルニ至リタルトキハ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルニ至リタルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シタル届書ヲ入院ノ承認ヲ受ケタル地方長官ニ遲滞ナク提出スベシ

- 一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
- 二 診療所入院ノ承認アリタル年月日
- 三 診療所入院ノ承認申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療

所ノ名稱及所在地

四 入院シタル診療所ノ名稱及所在地並ニ入院ノ年月日

第四十一條

被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第二十三條第二號ノ規定ニ依ル承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シタル申請書ヲ第八號ニ掲ケル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ
一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
二 乗組ム船舶(被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶)ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所
三 職務及標準報酬ノ等級(被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級)
四 被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
六 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日、其ノ扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ旨

- 七 疾病又ハ負傷ノ經過

八 診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地並ニ其ノ診療ヲ受ケントスル事由

九 當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ノ開始アリタル者ニ在リテハ其ノ開始ノ年月日及其ノ際診療ヲ受ケタル保險醫ノ氏名及診療所所在地(療養費ノ支給ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタル地方長官名)

十 船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セララル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後承認ヲ受ケントスル被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ期間ヲ經過シタル事由

十一 當該疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所(第三者ノ氏名又ハ住所ガ不詳ナルトキハ其ノ旨)
十二 被保險者ニ在リテハ本條ノ申請ニ係ル療養費ニ關シ地方長官ヨリ發セラレベキ書類ノ送付先

前項ノ申請書ニハ左ニ掲ケル書類ヲ添付スベシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付曾テ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケタルコトアルトキ又ハ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタルコトアルトキハ之ヲ添付スルコトヲ要セズ

一 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

二 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ義務ナキコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

第二十五條第二項ノ規定ハ前項第二號(但書ヲ除ク)ニ掲ゲル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ療養費ノ支給ヲ受ケントスルトキハ其ノ申請書ヲ診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

第四十三條 令第二十三條第一號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載スベシ

- 一 第四十一條第一項第一號乃至第七號及第九號乃至第十號ニ掲グル事項
 - 二 療養ノ給付ヲ受ケルコト困難ナル事由
 - 三 診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地
 - 四 受ケタル診療ノ内容、期間及之ニ要シタル費用ノ額
- 前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付曾テ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケタルコトアルトキ又ハ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタルコトアルトキハ第一號又ハ第三號ニ掲グル書類ヲ添附スルコトヲ要セズ
- 一 前項第四號ニ掲グル費用ノ額ニ關スル證據書類
 - 二 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書
 - 三 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ義務ナキコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交

- 付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書
 - 第二十五條第二項ノ規定ハ前項第三號(但書ヲ除ク)ニ掲グル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス
- 第四十四條 令第二十三條第二號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
- 一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
 - 二 受ケタル診療ノ内容、期間及之ニ要シタル費用ノ額
 - 三 被保險者ニ在リテハ本條ノ申請ニ依ル療養費ニ關シ地方長官ヨリ發セラレベキ書類ノ送付先
- 前項ノ申請書ニハ前項第二號ニ掲グル費用ノ額ニ關スル證據書類ヲ添附スベシ
- 第四十五條 令第二十三條第三號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
- 一 第四十一條第一項第一號乃至第七號及第九號乃至第十號ニ掲グル事項
 - 二 緊急ナリシコトノ事由
 - 三 手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ氏名及住所

- 四 受ケタル手當ノ内容、期間及之ニ要シタル費用ノ額
- 第四十三條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ申請書ニ之ヲ準用ス

- 第四十五條ノ二 被保險者タリシ者ハ法第三十二條第二項ノ規定ニ依ル療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ其ノ給付ヲ受ケルコトヲ得ベキコトヲ地方長官ニ於テ認定シタル書面ヲ保險醫ニ提出スベシ
- 被保險者タリシ者ハ前項ノ規定ニ依ル認定ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受ケル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官(療養費ノ支給ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ療養費ノ支給ヲ爲シタル地方長官)ニ提出スベシ
- 一 氏名及住所
 - 二 療養ノ給付開始年月日
 - 三 現ニ診療ヲ受ケル保險醫ノ氏名及診療所所在地(療養費ノ支給ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ旨)
 - 前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ
 - 一 療養ノ給付開始前一年(療養ノ給付ガ第二十四條ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ扶助ヲ受ケルコトヲ得ベキ期間經過後開始シタルモノナルトキハ一年三月)以内ニ於テ被

- 保險者タリシ期間引續キ六月以上アルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書又ハ之ヲ證スルニ足ル書類
- 二 當該疾病ガ結核性疾病ナルコトヲ證スルニ足ル醫師ノ意見書

- 第四十六條 被保險者タリシ者ハ傷病手當金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書(第十一號ニ掲グル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ)
- 一 氏名、生年月日及住所
 - 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
 - 三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所
 - 四 最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級
 - 五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
 - 六 療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザリシ期間
 - 七 當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケルトキハ療養ノ給付開始ノ年月日
 - 八 當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受ケルトキハ船舶所有者ノ扶助開始ノ年月日及其ノ扶助ノ義務ガ終了シタル場合ニ於

船員保險法施行規則

テハ其ノ年月日

九 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日、其ノ支給ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ事由

十 診療所ニ收容セラレタル被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ診療所ノ名稱所在地及之ニ收容セラレタル期間並ニ專ラ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持スル者アルトキハ其ノ者ノ氏名、生年月日及被保險者タリシ者トノ續柄又ハ關係

十一 第六號ニ掲グル期間内ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ付最後ニ診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二回目以後ノ分ノ傷病手當金ノ支給ノ請求書ニ付テハ第二號ニ掲グル書類ヲ添付スルコトヲ要セズ
一 前項第六號ニ掲グル期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書

二 發該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルトキハ前項第四號、第

八號及第九號ニ掲グル事項ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

第二十五條第二項ノ規定ハ第一項第九號後段ニ掲グル事項ニ關スル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ法施行地外ノ別ニ指定スル地ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シテハ法第五十三條第一項但書ノ規定ニ依リ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス

前項ノ規定ニ依リ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第四十八條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ朝鮮又ハ臺灣ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定ム

節一節 養老年金

第四十九條 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ養老年金證書ヲ交付ス

養老年金證書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

第五十一條 養老年金ハ毎年一月、四月、七月及十月ノ四期ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ支給ス但シ前支給期月ニ支給スベカリシ養老年金又ハ養老年金受給者ガ死亡シタル場合ニ於テノ其ノ期ノ養老年金ハ支給期月ニ非ザル時期ニ於テモ之ヲ支給ス

第五十二條 養老年金受給者ハ養老年金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ別ニ指定スル官署ニ就キ養老年金證書ヲ提示シテ其ノ支給ヲ受クベシ

前項ノ場合ニ於テ使用スベキ印章ハ第四十九條第二項ノ請求書ニ添付シタル印鑑票ニ捺捺シタル印章タルコトヲ要ス

第五十三條 傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ手當ノ支給ヲ受クル者ニハ法第三十八條ノ規定ニ依リ其ノ支給ヲ受クルコトヲ得ベキ期間ニ係ル養老年金ノ支給ヲ停止ス

第五十四條 養老年金受給者ハ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ但シ第五十七條第一項ノ請求書ニ同條同項第五號ニ掲グル事項ヲ記載スベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 氏名及住所

一 氏名、生年月日及住所

二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所

四 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタル當時第五十三條ノ規定ニ該當スルトキハ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

五 第六十九條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ受給ヲ選擇スル者ニ在リテハ其ノ旨

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ

一 戶籍ノ抄本又ハ戶籍ノ謄本

二 印鑑票

三 癱疾年金證書ノ交付ヲ受ケタル者ニシテ前項ノ請求書ニ同項第五號ニ掲グル事項ヲ記載シタルモノニ在リテハ其ノ證書

第五十條 養老年金證書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載ス

一 證書ノ記號番號

二 養老年金受給者ノ氏名、生年月日及男女別

三 養老年金ノ額

四 養老年金ノ支給開始ノ年月

船員保險法施行規則

船員保險法施行規則

- 二 養老年金證書ノ記號番號
- 三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 四 傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給開始ノ年月日
- 第五十五條 養老年金受給者ハ第五十三條ノ規定ニ該當セザルニ至リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル屆書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ
 - 一 氏名及住所
 - 二 養老年金證書ノ記號番號
 - 三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
 - 四 傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給終了ノ年月日
- 第五十六條 養老年金受給者ハ被保險者ト爲リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル屆書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ
 - 一 氏名及住所
 - 二 養老年金證書ノ記號番號
 - 三 被保險者ノ資格取得ノ年月日
 - 四 乗組ム船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所

員保險ノ被保險者ト爲リタル場合ニ之ヲ準用ス

- 第五十七條 法第三十九條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ額ノ改定ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ
 - 一 氏名及住所
 - 二 養老年金證書ノ記號番號
 - 三 被保險者資格喪失ノ年月日
 - 四 被保險者資格喪失ノ際乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所
 - 五 被保險者ノ資格喪失當時第五十三條ノ規定ニ該當スルトキハ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 前項ノ請求書ニハ養老年金證書ヲ添附スベシ
- 第五十八條 養老年金受給者ハ其ノ氏名ヲ變更シタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル屆書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ
 - 一 氏名及住所
 - 二 養老年金證書ノ記號番號
 - 三 變更前ノ氏名及變更ノ年月日
- 前項ノ屆書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ
 - 一 養老年金證書

- 二 戶籍ノ抄本又ハ氏名ノ變更ニ關スル市町村長ノ證明書
- 保險院長官ハ前項ノ屆書ノ提出ヲ受ケタルトキハ其ノ屆書ニ添附シアル養老年金證書ヲ更訂シ之ヲ養老年金受給者ニ送付スベシ
- 第五十九條 養老年金受給者ハ其ノ住所ヲ變更シタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル屆書ヲ遲滞ナク保險院長官ニ提出スベシ
 - 一 氏名及住所
 - 二 養老年金證書ノ記號番號
 - 三 變更前ノ住所及變更ノ年月日

- 第六十條 養老年金受給者ハ第四十九條第二項ノ請求書ニ添附シタル印鑑票ニ押捺シタル印章ヲ變更セントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル屆書ニ新印鑑票ヲ添へ之ヲ保險院長官ニ提出スベシ
 - 一 氏名及住所
 - 二 養老年金證書ノ記號番號

- 第六十一條 養老年金受給者ハ毎年二月末日迄ニ前一月以内ノ間ニ於テ作製セラレタル戶籍ノ抄本ヲ保險院長官ニ提出スベシ但シ其ノ年ニ於テ養老年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

船員保險法施行規則

- 前項ノ規定ニ依ル戶籍ノ抄本ノ提出ヲ爲サザル者ニ對シテハ其ノ提出アル迄法第五十七條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルベシ
- 第六十二條 養老年金受給者ハ養老年金證書ヲ亡失シタルトキ又ハ養老年金證書ガ毀損汚斑シテ不判明ト爲リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル再交付ノ請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ
 - 一 氏名及住所
 - 二 養老年金證書ノ記號番號
 - 三 亡失シタルトキハ其ノ事實
- 養老年金證書ガ毀損汚斑シテ不判明ト爲リタル場合ノ再交付ノ請求ナルトキハ前項ノ請求書ニ其ノ養老年金證書ヲ添附スベシ
- 第六十三條 養老年金證書ノ再交付アリタルトキハ從前ノ養老年金證書ハ其ノ效力ヲ失フ
- 第六十四條 養老年金受給者ガ死亡シタルトキハ其ノ遺族ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル屆書ヲ遲滞ナク保險院長官ニ提出スベシ但シ其ノ者ニ於テ法第三十六條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ノ請求ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラズ
 - 一 届出者ノ氏名及住所

- 二 養老年金受給者ノ氏名及養老年金證書ノ記號番號
- 三 養老年金受給者ノ死亡ノ年月日

前項ノ届書ニハ養老年金證書ヲ添附スベシ但シ之ヲ添附スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ附記スベシ

第六十五條

被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十七條但書ノ規定ニ依リ法第三十六條又ハ第三十七條ノ規定ニ依リ一時金ノ支給ヲ受クベキ者ヲ豫告ニ依リ指定セントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル豫告書ヲ保險院長官ニ提出スベシ其ノ指定ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

- 一 豫告者ノ氏名、生年月日及住所
- 二 豫告者ガ養老年金受給者ナルトキハ養老年金證書ノ記號番號

三 豫告者ガ養老年金受給者ニ非ザルトキハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日並ニ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱及船舶所有者ノ氏名住所但シ現ニ被保險者タル者ニ在リテハ其ノ乗組ム船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所

- 四 指定セララルル者ノ氏名、生年月日及住所並ニ豫告者トノ續柄又ハ關係

前項ノ豫告書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

認ムル旨、同條第三號ニ掲グル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

- 前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ
 - 一 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本
 - 二 養老年金受給者ノ死亡ニ關シ市町村長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書、若ハ檢視調書ニ記載シアル事項ノ市町村長ノ證明書又ハ之ニ代ハルベキ書類
 - 三 請求者ガ養老年金受給者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ナルトキハ其ノ事實ヲ認メ得ベキ書類
 - 四 請求者ガ令第十七條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ遺言書ノ寫

五 養老年金證書

第六十八條 法第三十七條ノ規定ニ依リ一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

- 一 請求者ノ氏名、生年月日及住所
- 二 被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日並ニ死亡ノ年月日
- 三 被保險者タリシ者ガ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所（不詳ノ事

- 一 指定セララルル者ト豫告者トノ續柄ヲ證スベキ書類
- 二 豫告書ニ押捺シタル印章ニ付テノ市町村長ノ印鑑證明書

第六十六條 前條ノ指定ヲ取消サントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル豫告取消書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

- 一 前條第一項第一號乃至第三號ニ掲グル事項
- 二 指定セラレタル者ノ氏名

前項ノ届書ニハ之ニ押捺シタル印章ニ付テノ市町村長ノ印鑑證明書ヲ添附スベシ

第六十七條 法第三十六條ノ規定ニ依リ一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

- 一 請求者ノ氏名、生年月日及住所
- 二 養老年金受給者ノ氏名及死亡ノ年月日
- 三 養老年金證書ノ記號番號
- 四 養老年金受給者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者ガ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨
- 五 請求者ガ令第十七條各號ニ掲グル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨

項アルトキハ其ノ旨

- 四 被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者ガ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨
- 五 請求者ガ令第十七條各號ニ掲グル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨、同條第三號ニ掲グル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

前條第二項ノ規定ハ前項ノ請求書ニ之ヲ準用ス

第三節 癱疾年金及癱疾手當金

第六十九條 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ癱疾年金ハ之ヲ支給セズ養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタル者ガ同時ニ癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキ亦同ジ癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ養老年金ヲ受ケル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ權利ヲ有スル者ノ選擇ニ依リ一ノ年金ヲ支給ス

第七十條 癱疾年金又ハ癱疾手當金ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ令第二十七條ニ規定スル

船員保險法施行規則

期間經過ノ日(其ノ期間内ニ癩疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ガ治療シタルトキハ其ノ治療シタル日)ヨリ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名、生年月日及住所

二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所

四 癩疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ノ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日並ニ治療シタリヤ否ヤ及治療シタルトキハ其ノ年月日

五 癩疾ノ状態ノ程度

六 癩疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ニ付最後ニ診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地

七 癩疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所(第三者ノ氏名又ハ住所ガ不詳ナルトキハ其ノ旨)

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 癩疾ノ状態ノ程度及疾病又ハ負傷ノ經過ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書
二 印鑑票

三 癩疾ノ状態ノ程度

前項ノ届書ニハ同項第三號ニ掲グル事項ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書ヲ添付スベシ

第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サザル者ニ對シテハ其ノ届出アル迄法第五十七條第二項ノ規定ニ依リ癩疾年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルベシ

第七十四條 癩疾年金受給者ハ其ノ癩疾ガ癩疾年金ヲ受ケル程度ノ状態ニ該當セザルニ至リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所
二 癩疾年金證書ノ記號番號
三 癩疾ガ癩疾年金ヲ受ケル程度ノ状態ニ該當セザルニ至リタル年月日(年月日ガ不詳ナルトキハ其ノ推定ノ年月日)

前項ノ届書ニハ癩疾年金證書ヲ添付スベシ
第一項ノ規定ニ依ル届出アリタル場合ニ於テノ其ノ期ノ癩疾年金ハ支給期月ニ拘ラズ之ヲ支給ス

第七十五條 第五十一條、第五十二條、第五十八條乃至第六十條及第六十二條乃至第六十四條ノ規定ハ癩疾年金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

船員保險法施行規則

第一項ノ請求書ハ同項第六號ニ掲グル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スベシ

第七十一條 前條第一項ノ請求書ノ提出アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ給付ニ關スル決定ヲ爲シ之ヲ請求者ニ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テ癩疾年金ヲ受ケル權利ヲ有スルモノト決定シタルトキハ保險院長官ハ請求者ニ癩疾年金證書ヲ交付スベシ

七十二條 癩疾年金證書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載ス

一 證書ノ記號番號

二 癩疾年金受給者ノ氏名、生年月日及男女別

三 癩疾年金ノ額

四 癩疾年金ノ支給開始ノ年月

第七十三條 癩疾年金受給者ハ毎年二月一日ノ現在ニ於ケル癩疾ノ状態ニ付左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ同月末日迄ニ保險院長官ニ提出スベシ但シ其ノ年ニ於テ癩疾年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 氏名及住所
二 癩疾年金證書ノ記號番號

第七十六條 第六十五條乃至第六十七條ノ規定ハ法第四十二條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第四節 脱退手當金

第七十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ死亡シタル場合ニ於ケル脱退手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 請求者ノ氏名、生年月日及住所

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日並ニ死亡ノ年月日

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ死亡當時又ハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所(不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨)

四 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ
一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡ニ關シ市町村長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書若ハ檢視調書ニ記載シタル事項ノ市町村長ノ證明書又ハ之ニ代ハルベキ書類
二 請求者ガ請求權ヲ有スルコトヲ證スベキ書類

第七十八條 被保險者タリシ者ハ脱退手當金ノ支給ヲ受ケン
トスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院
長官ニ提出スベシ

- 一 氏名、生年月日及住所
- 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
- 三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ
船舶所有者ノ氏名及住所
- 四 第七十條第一項ノ規定ニ依ル請求ヲ爲シタル者ニ在リ
テハ其ノ旨

第七十九條 第七十七條又ハ前條ノ規定ニ依リ脱退手當金ノ
支給ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ脱退手當金ガ法附則第二
項ノ規定ニ依ルモノナルトキハ其ノ請求書ニ昭和十五年六
月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者
ト爲ルベキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乗組ミタル期間
(昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ朝鮮、臺灣又ハ關
東州ノ船員保險ノ被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル船員ト
シテ船舶ニ乗組ミタル期間ヲ含ム以下之ニ同ジ)ヲ記載シ
且左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

- 一 被保險者タリシ者ノ戶籍ノ抄本又ハ除カレタル戶籍ノ
抄本

二 昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ規
定ニ依ル被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル船員トシテ船
舶ニ乗組ミタル期間ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書又
ハ其ノ期間ヲ證スベキ書類

第八十條 法第四十九條ノ規定ニ依ル支給金ノ支給ヲ受ケン
トスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長
官ニ提出スベシ

- 一 氏名及住所
- 二 痾疾年金證書ノ記號番號
- 三 第七十四條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタル年月日

第五節 死亡手當金

第八十一條 死亡手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グ
ル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

- 一 請求者ノ氏名及住所
- 二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日並ニ
死亡ノ年月日
- 三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ死亡當時又ハ最後ニ
被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有
者ノ氏名及住所(不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨)

四 被保險者ノ資格ヲ喪失シ三月ヲ經過シタル後死亡シタ
ル者ニ在リテハ死亡當時診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタル醫
師若ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ
氏名及住所

五 死亡ガ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタルモノナルトキハ
其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所(第三者ノ氏名又ハ住
所ガ不詳ナルトキハ其ノ旨)

六 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ
關係及請求者ガ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレ
タル者ナルトキハ其ノ旨

七 請求者ガ令第十七條各號ニ掲グル者ナルトキハ他ニ同
條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト
認ムル旨、同條第三號ニ掲グル者ナルトキハ自己ノ外ニ
之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

第六十七條第二項ノ規定ハ前項ノ請求書ニ之ヲ準用ス
被保險者タリシ者ニシテ療養ノ給付ヲ受クルモノガ死亡シ
タル場合ノ死亡手當金ノ支給ノ請求書ハ第一項第四號ニ掲
グル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住
所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スベシ

第八十二條 第六十五條及第六十六條ノ規定ハ死亡手當金ノ

支給ニ關シ之ヲ準用ス

第六節 雜 則

第八十三條 本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請
求書又ハ届書ニ船舶所有者若ハ市町村長ノ證明書又ハ醫師
若ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スベキ場合ニ於テ其ノ申請
書、請求書又ハ届書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキハ證明書
又ハ意見書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第八十四條 船舶所有者ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本
章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書
ニ添附スベキ證明書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ前條ノ
規定ニ依リ證明ノ記載ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由ア
ルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第八十五條 保險醫ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本章ノ
規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書ニ添
附スベキ意見書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ第八十三條
ノ規定ニ依リ意見ノ記載ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由
アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第八十六條 保險院長官又ハ地方長官ハ保險醫又ハ保險藥劑
師ニ就キ保險給付ニ關シ帳簿書類ヲ閱覽シ、説明ヲ求メ又

ハ報告ヲ徴スルコトヲ得

第八十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ保險給付ニ關シ地方長官ニ對シ申請、請求又ハ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ申請書、請求書又ハ届書ニ添附スベキ書類ハ申請、請求又ハ届出ノ際之ヲ提出スベシ但シ地方長官ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ
口頭ヲ以テ申請、請求又ハ届出ヲ爲シタル者アル場合ニ於テ地方長官ハ必要アリト認ムルトキハ其ノ申請、請求又ハ届出ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ作製シ讀ミ聞カセタル上之ニ記名調印セシムベシ

第八十八條 被保險者、被保險者タリシ者又ハ其ノ他ノ者ヨリ保險院長官ニ提出スル保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書ハ本章ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スベシ

第三章 削 除

第八十九條 削除
第九十條 削除
第九十一條 削除

第九十二條 削除
第九十三條 削除
第九十四條 削除
第九十五條 削除
第九十六條 削除

第四章 雜 則

第九十七條 令第六條第一項ノ規定ニ依リ發スル督促狀ハ様式第八號ニ依ル
第九十八條 廳府縣(東京府ヲ除ク)ノ官吏ガ保險料滯納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲ス場合ニ於テ示スベキ其ノ命令ヲ受ケタル官吏タルノ證券ハ様式第九號ニ依ル

第九十九條 法第十四條ノ規定ニ依ル公告ハ保險料其ノ他法ニ依ル徵收金納入ノ告知及督促ニ關スル書類ニ付テハ保險院ニ、滯納處分ニ關スル書類ニ付テハ道府縣廳(東京府ニ在リテハ警視廳)又ハ船員保險ノ事務ヲ分掌スル廳府縣出張所ニ之ヲ爲スベシ

第一百條 令第三十五條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ船舶毎ニ之ヲ備フベシ
一 被保險者ノ氏名

二 控除シタル保險料ノ所屬月分及金額

三 控除シタル年月日

第一百一條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ毎月ノ保險料ヲ其ノ月十日迄ニ納付スベシ

第一百二條 船舶所有者ハ船員保險ニ關スル書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ二年間保存スベシ

第一百三條 本令ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲スベキ左ニ掲グル事項ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得
一 第八條第一項、第九條、第十條及第十三條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スコト
二 第二十一條ノ規定ニ依リ標準報酬ノ等級ヲ船員手帳ニ記載ヲ爲スコト

三 第二十五條第一項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲スコト

四 第二十五條第六項ノ規定ニ依リ診療券ノ提出ヲ爲スコト

五 第四十一條第二項、第四十三條第二項及第四十五條第二項ノ規定ニ依ル證明書ノ交付(被保險者タリシ者ニ對スルモノヲ除ク)ヲ爲シ又ハ其ノ交付ニ代フル記載ヲ爲ス

船員保險法施行規則

スコト

第五章 罰 則

第一百四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第一條乃至第四條、第八條第一項、第九條、第十條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第二十一條ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

三 第二十五條第三項ノ規定ニ依ル記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

四 正當ノ事由ナクシテ第二十五條第四項又ハ第二十八條第三項ノ規定ニ依ル請求ニ應ゼズ、故ナク診療券ノ交付ヲ爲シ又ハ診療券ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

五 第二十五條第六項ノ規定ニ依ル診療券ノ提出ヲ怠リタル者

六 正當ノ事由ナクシテ第八十四條ノ規定ニ依ル請求ニ應ゼズ又ハ虚偽ノ證明ヲ爲シタル者

七 第一百條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ノ備

付若ハ記載ヲ怠リ、虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ故ナク被保險者ニ對シ閲覧ヲ拒ミタル者

八 第二百二條ノ規定ニ依ル書類ノ保存ヲ怠リタル者

第二百五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

ハ科料ニ處ス

一 第十五條、第三十一條、第四十條第二項、第五十四條、第五十六條又ハ第七十四條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第七條又ハ第十二條ノ規定ニ依ル申出ヲ怠リ又ハ虚偽ノ申出ヲ爲シタル者

三 第二十五條第五項ノ規定ニ依ル診療券ノ返納ヲ怠リタル者

第六條 保險院若ハ廳府縣ノ職員又ハ其ノ職ニ在リタル者

ハ故ナク第八十六條ノ規定ニ依ル閲覧、説明又ハ報告ニ關シ知得シタル醫師、齒科醫師若ハ藥劑師ノ業務上ノ秘密又ハ個人ノ秘密ヲ漏洩シタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

第一百七條 第一條乃至第七條、第十二條、第二百二條、第四百

條及第二百五條ノ規定ハ昭和十五年三月一日ヨリ、第八條乃至第十一條、第十三條乃至第二十三條及第三百三條ノ規定ハ昭和十五年五月一日ヨリ、第二十四條乃至第一百一條及第六條ノ規定ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八條 第一條ノ規定施行ノ際現ニ被保險者ノ乗組ム船舶

ヲ所有スル船舶所有者ハ其ノ所有スル船舶ニ付其ノ際ノ現在ニ依リ同條各號ニ掲ケル事項ヲ記載シタル届書ヲ其ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ昭和十五年三月三十一日迄ニ保險院長官ニ提出スベシ

第九條 第八條ノ規定施行ノ際現ニ被保險者タル船員ヲ雇傭スル船舶所有者ハ其ノ雇傭スル船員タル被保險者ニ付其ノ際ノ現在ニ依リ様式第一號ニ準ズル届書ヲ昭和十五年五月三十一日迄ニ保險院長官ニ提出スベシ

第八條ノ規定施行ノ際法施行地外ニ在ル船舶ニ乗組ム被保險者ニ關シ前項ノ定ムル期日迄ニ届書ヲ提出シ得ザル場合ニ於テハ届書提出ノ手續ヲ爲シ得ルニ至リタルトキ直ニ之ヲ提出スベシ

第十條 船舶所有者ハ前條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定スベシ
前項ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲シタル標準報酬ノ決定ガ

本令ハ昭和十六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

不當ナルトキハ保險院長官ハ之ヲ取消シ其ノ標準報酬ノ決定ヲ爲シタル上其ノ旨ヲ船舶所有者ニ通知スベシ

船舶所有者ハ第一項ノ決定ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ受有スル船員手帳ニ其ノ標準報酬ノ等級ヲ記載スベシ前項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同シ

第十一條 第九條ノ規定ニ依ル届出竝ニ前條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定及同條第三項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

ハ科料ニ處ス

一 第八條又ハ第九條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第十條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定ヲ怠リ又ハ不當ノ決定ヲ爲シタル者

三 第十條第三項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

附 則 (昭和十六年六月二十六日
厚生省令第二十六號)

船員保険法施行規則

様式第五號(第二十八條)

船員保険診療券

氏名	生年月日	住所	住	被保險者資格喪失年月日	船舶ノ名稱	船舶所有者	傷病名	發病又ハ負傷年月日	船船所有者ノ扶助義務終了年月日	船船所有者ノ扶助義務開始年月日	備考
	年 月 日	年 月 日	昭 和	昭 和	(住所又ハ所在地) 氏名又ハ名稱	(住所又ハ所在地) 氏名又ハ名稱		昭 和	昭 和	※昭 和	
				日				年 月 日	年 月 日	年 月 日	
昭和 年 月 日			地方廳名			地方廳名			地方廳名		
昭和 年 月 日			地方廳名			地方廳名			地方廳名		

注意 (一) 船舶所有者の扶助義務が終つてからでなければ保険醫の診療を受けることができません。
(二) 保険醫に就いて診療を受ける場合にはこの診療券を保険醫に渡さなければなりません。

備考 一 本診療券ノ大サハ縦約二十一糎、横約十五糎トス

二 本診療券ハ第二十九條ノ二ノ規定ニ依リ保険醫變更ノ爲再交付ヲ爲ス場合ニ在リテハ其ノ旨ヲ附記シテ發行スルモノトス

三 ※印ヲ附シアル欄ハ保險醫(第二十九條ノ二ノ規定ニ依リ再交付ヲ爲ス場合ニ在リテハ地方廳)ニ於テ之ヲ記載スルモノトス

様式第六號削除

様式第七號(第三十七條)

船員保険診療所入院承認書

氏名	生年月日	住所	住	被保險者資格喪失年月日	船舶ノ名稱	船舶所有者	傷病名	發病又ハ負傷年月日	療養ノ給付開始年月日	診療所	備考
	年 月 日	年 月 日	昭 和	昭 和	(住所又ハ所在地) 氏名又ハ名稱	(住所又ハ所在地) 氏名又ハ名稱		昭 和	昭 和	(所在地) (名稱)	
				日				年 月 日	年 月 日		
昭和 年 月 日			地方廳名			地方廳名			地方廳名		
昭和 年 月 日			地方廳名			地方廳名			地方廳名		

注意 診療所に入院する場合にはこの承認書をその診療所に渡さなければなりません。

備考 本承認書ノ大サハ縦約二十一糎、横約十五糎トス

船員保険法施行規則

船員保險法施行規則

様式第八號(第九十七條)

第 號	何府(縣)何市(郡)何町(村)大字何何番地 何會社 (何某)	
	昭 和 何 年 度	何々 (項)
督		
一金何程		
一金貳拾錢		
一 納期限ノ翌日ヨリ保險料額百圓 二 付一日參錢ノ割合ニ依ル金額		
昭 和 何 年 何 月 何 日 限 リ 日 本 銀 行 本 店、 支 店 又 ハ 代 理 店 (何々)ヘ 納 付 ス ベ シ		
指 定 期 限 迄 ニ 保 險 料 及 督 促 手 數 料 ヲ 完 納 シ タル ト キ ハ 延 滞 金 ヲ 徵 收 セ ズ		
指 定 期 限 ヲ 過 ギ 完 納 セ ザ ル ト キ ハ 直 ニ 其 ノ 財 產 差 押 ノ 處 分 ヲ 爲 ス ベ シ		
昭 和 何 年 何 月 何 日		
保險院長官 氏		
名		

備考

- 一 延滞金ヲ徵收セザルモノニ在リテハ「一納期限ノ翌日ヨリ保險料額百圓ニ付一日參錢ノ割合ニ依ル金額」延滞金」及「指定期限迄ニ保險料及督促手數料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セズ」ノ文字ヲ記載セザルモノトス
- 二 日本銀行ニ納付ヲ指定シタルトキハ本文ノ「納付スベシ」ノ下ニ左ノ但書ヲ加フルモノトス
「但シ同日ヲ經過シタルトキハ何々ヘ納付スルヲ要ス」

様式第九號(第九十八條)

(表面)

第何號

船員保險保險料滞
納者財産差押證券

縣 廳
印 府

(裏面)

何道府縣廳又ハ
何廳府縣何出張所

官 職 氏 名

備考 本證ハ縦約八糎、横約五糎ノ大サトシ厚キ紙ヲ用フベシ

船員保險法施行令規則

船員保險ノ被保險者資格 得喪届出等ニ關スル件

(昭和十五年四月二十四日
厚生、逓信省令第一號)
改正(昭和十六年六月二十六日
厚生、逓信省令第一號)

第一條 船員保險ノ被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立、終了及變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳(船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長及之ニ準ズル者ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ公認ヲ受クベキ場合又ハ被保險者タル船長ノ就職及退職ニ付船員法施行規則第五十七條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ認證ヲ受クベキ場合ニ於ケル被保險者ノ資格ノ取得、資格ノ喪失、職務ノ變更及報酬月額ノ變更ノ届出、標準報酬ノ決定及變更並ニ船員保險法施行規則ニ依リ船舶所有者ガ診療券又ハ證明書ヲ交付スベキ場合ニ於ケル管海官廳ノ證明ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 被保險者タル海員ノ雇入ニ付管海官廳ノ公認ヲ受ケル船員保險ノ被保險者資格得喪届出等ニ關スル件

タルトキ又ハ被保險者タル船長ノ就職ニ付管海官廳ノ認證ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ取得ニ付様式第一號ニ依リ届書ヲ當該管海官廳ニ提出スベシ

船員保險法施行規則第七條ノ規定ニ依リ申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ船舶所有者ハ前項ノ届書ニ其ノ申出ヲ爲シタル事項ヲ附記スベシ

但シ相續其ノ他ノ包括承繼以外ノ事由ニ因ル船舶所有者ノ變更ニ依リ公認又ハ認證ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 被保險者タル海員ノ職務又ハ給料若ハ手當ノ變更ニ付管海官廳ノ公認ヲ受ケタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ職務又ハ報酬月額ノ變更ニ付様式第二號ニ依リ届書ヲ當該管海官廳ニ提出スベシ

- 一 船舶職員以外ノ船員及船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲グル船員以外ノ船員ガ船舶職員又ハ船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲グル船員ト爲ルニ至リタルトキ
- 二 船舶職員又ハ船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲グル船員ガ船舶職員以外ノ船員及船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲グル船員以外ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ

船員保險ノ被保險者資格得喪届出等ニ關スル件

三 標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ被保險者タル船長ノ給料又ハ手當ニ付變更アリタル場合ニシテ標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ亦前項ニ同シ

第四條 被保險者タル海員ノ雇止ニ付管海官廳ノ公認ヲ受ケタルトキ又ハ被保險者タル船長ノ退職ニ付管海官廳ノ認證ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ喪失ニ付様式第三號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スベシ

但シ相續其ノ他ノ包括承繼以外ノ事由ニ因ル船舶所有者ノ變更ニ依リ公認又ハ認證ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
第五條 被保險者タル海員ニシテ雇入ノ公認ヲ受ケザルモノノ死亡又ハ行方不明ニ付船員法施行規則第四十九條ノ規定ニ依リ管海官廳ニ届出ヲ爲シタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ取得及喪失ニ付様式第四號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スベシ

第六條 管海官廳ハ第二條第一項若ハ前條ノ届書又ハ第三條ノ規定ニ依ル報酬月額變更ノ届書ヲ受ケタルトキハ其ノ被保險者ノ標準報酬ノ決定又ハ變更ヲ爲スモノトス

第七條 船舶所有者ハ第二條第一項ノ届書又ハ第三條ノ規定ニ依ル報酬月額變更ノ届書ヲ管海官廳ニ提出シタルトキハ直ニ海員ニ付テハ海員名簿ヲ、船長ニ付テハ船員手帳ヲ當該管海官廳ニ提出シ其ノ標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クベシ

船舶所有者ハ前項ノ記載ヲ受ケタルトキハ遅滞ナク當該被保險者タル海員ノ標準報酬ノ等級ヲ其ノ受有スル船員手帳ニ記載スベシ

第八條 管海官廳ハ第五條第一項ノ届書ヲ受ケ標準報酬ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ標準報酬ノ等級ヲ船舶所有者ニ通知スルモノトス

第九條 船舶所有者ハ船員保險法施行規則第二十五條第二項第二十八條第三項、第四十一條第三項、第四十三條第三項第四十五條第二項又ハ第四十六條第三項ノ規定ニ依リ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル診療券又ハ證明書ニ其ノ者ノ疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條、第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助又ハ手當ノ支給ヲ爲ス義務ナキコトニ關シ管海官廳ノ證明ヲ受クルコトヲ得

第十條 本令ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲スベキ事項ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代

理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 一 第二條第一項、第三條、第四條又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
- 二 第七條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クルコトヲ怠リタル者
- 三 第七條第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

附 則

本令ハ昭和十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

(昭和十六年六月二十六日
厚生、逓信省令第一號)

本令ハ昭和十六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險ノ被保險者資格得喪届出等ニ關スル件

船員保險事務共助ニ關スル件

昭和十五年五月三十一日
勅令第三百六十七號

内地、朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ當該地域以外ノ地域ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關シテハ其ノ地域ガ内地ナルトキハ厚生大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督府遞信局長並ニ管海官廳、郵便局長及郵便所長、臺灣ナルトキハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ臺灣總督府交通局總長並ニ管海官廳及船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市尹又ハ街庄長、關東州ナルトキハ滿洲國駐劄特命全權大使ノ定ムル所ニ依リ關東海務局長相互ニ其ノ事務ヲ行フ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險事務共助ニ關スル勅令施行ニ關スル件

昭和十五年 六月 一日
厚生省令第二十一號

改正 昭和十六年六月二十六日
厚生省令第二十九號

第一條 昭和十五年勅令第三百六十七號船員保險事務共助ニ關スル件ニ依リ朝鮮、臺灣又ハ關東州（以下他ノ地域ト稱ス）ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ内地ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル事務ハ本令ノ定ムル所ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ）之ヲ行フ

第二條 地方長官ガ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對スル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル事務ヲ行フ場合ニ於テハ昭和十五年厚生省令第十七號内地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件ニ相當スル他ノ地域ノ法令ノ規定ニ依ルモノトス

地方長官ガ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タル船員保險事務共助ニ關スル勅令施行ニ關スル件

リシ者ニ交付スル診療券又ハ診療所入院ノ承認書ハ船員保險法施行規則第五號又ハ第七號ニ依ルベシ
船員保險法施行規則第二十七條、第三十三條、第八十五條第八十六條及第六百六條ノ規定ハ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對スル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 （昭和十六年六月厚生省令第二十九號）

本令ハ昭和十六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

内地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件

内地以外ノ地ニ於テ爲ス船員 保險ノ療養ノ給付及傷病手當 金ノ支給ニ關スル件

昭和十五年五月三十一日
厚生省令第十七號
改正 昭和十六年六月二十六日
厚生省令第二十八號

第一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ朝鮮、臺灣又ハ船員保險法施行規則（以下則ト稱ス）第四十七條第一項ノ規定ニ依リ指定スル地（以下指定地ト稱ス）ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ則第二十五條、第二十六條、第二十八條乃至第三十二條、第三十六條、第三十七條第一項及第二項、第三十九條乃至第四十六條、第八十三條、第八十四條、第八十七條、第三百三條、第四百條及第五百條ノ規定ニ依ル但シ第二十五條、第二十八條乃至第三十二條、第三十六條、第三十七條第一

項、第三十九條乃至第四十二條、第四十四條、第四十五條ノ二、第四十六條及第八十七條中單ニ「地方長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「臺灣總督府遞信局長」、關東州ニ在リテハ「關東海務局長」トシ「管轄スル地方長官」トアルハ「診療所」トシ「管轄スル地方長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「入院シタル診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳」朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局長ヲ含ム）ヲ經由シテ朝鮮總督府遞信局長、臺灣ニ在リテハ「入院シタル診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳」ヲ經由シテ臺灣總督府遞信局長、關東州ニ在リテハ「關東海務局長」トス

シ者ナル旨ヲ附記スベシ

第三條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ於テ爲ス療養ノ給付ニ付テハ船員保險法施行令第三十一條中「保險院長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「臺灣總督府交通局長」トス

第四條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ指定地（關東州ヲ除ク）ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ則第二十五條乃至第三十三條、第三十六條、第三十七條、第三十九條乃至第四十六條、第八十三條乃至第八十七條、第二百三條乃至第六條ノ規定ニ依ル但シ第二十五條、第二十八條乃至第三十二條、第三十六條、第三十七條、第三十九條乃至第四十二條、第四十四條、第四十五條ノ二、第四十六條及第八十七條中「地方長官」、「診療ヲ受ケントスル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「第六號ニ掲グル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「現ニ診療ヲ受ケル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「現ニ診療ヲ受ケル保險醫（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付ガ療養費ノ支給ナルトキハ診療ヲ受ケントスル保險醫）ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「現ニ診療ヲ受ケル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」ニ於テハ之ニ内地ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ規定ニ依リ申請書、請求書又ハ届書ヲ提出スル場合ニ於テ其ノ地ガ樺太以外ノ地ナルトキハ當該地ニ駐在スル帝國ノ領事官ニ之ヲ差出スベシ

診療所所在地（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付ガ療養費ノ支給ナルトキハ入院セントスル診療所ノ所在地）ヲ管轄スル地方長官、「入院ノ承認ヲ受ケタル地方長官」、「第八號ニ掲グル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官」、「現ニ診療ヲ受ケル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官（療養費ノ支給ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ療養費ノ支給ヲ爲シタル地方長官）」又ハ「第十一號ニ掲グル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」トアルハ「保險院長官」トス

本令ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 （昭和十六年六月厚生省令第二八號）

本令ハ昭和十六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

内地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件

船員保險法施行令第十條及第八十八條ノ規定ニ基ク命令ニ關スル件

昭和十五年五月三十一日
厚生省令第十八號

第一條 船員保險法施行令第八條ノ規定（關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令ノ規定）ニ依リ指定シタル共濟組合（以下指定共濟組合ト稱ス）ヨリ船員保險法第四十六條ノ規定ニ依ル脱退手當金ニ相當スル給付若ハ同法第四十九條ノ規定ニ依ル支給金ニ相當スル給付ヲ受ケタル者又ハ同法第三十四條ノ規定ニ依ル養老年金ニ相當スル給付（指 共濟組合ノ組合員タリシ期間二十年ヲ超ユル者ニ支給セラルルモノニ限ル）ヲ受ケタル者ニ付テハ其ノ計算ノ基礎ト爲リタル期間ニ合マルル被保險者タリシ期間ハ之ヲ同法第二十二條第三項（但書ヲ除ク）ノ規定ニ依リ合算スベキ期間ヨリ除ク

第二條 被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額又ハ平均報酬月額ヲ計算スル場合ニ於テ指定共濟組合ノ組合員タル被保險者タリシ期間ニ於ケル標準報酬ハ其ノ者ガ指定共濟組合

ニ納付シタル其ノ期間ニ係ル掛金ノ算定ノ基礎ト爲リタル給料其ノ他ノモノノ月額ニ基キ之ヲ算定ス

第三條 指定共濟組合ヨリ船員保險法第三十四條ノ規定ニ依ル養老年金ニ相當スル給付（指定共濟組合ノ組合員タリシ期間二十年ヲ超ユル者ニ支給セラルルモノヲ除ク）ヲ受ケル者ガ指定共濟組合ノ組合員タラザル被保險者（以下政府管掌ノ被保險者ト稱ス）ト爲リタル爲其ノ支給ヲ爲サレザルニ至リタル場合ニ於テ其ノ者ガ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ前後ノ被保險者タリシ期間ヲ合算シテ養老年金ノ額ヲ計算ス

前項ノ規定ニ依リ養老年金ノ額ヲ計算スル場合ニ於テ其ノ額ガ指定共濟組合ヨリ支給ヲ受ケタル養老年金ニ相當スル給付ノ額ヨリ少ナキトキハ其ノ従前ノ額ヲ以テ養老年金ノ額トス

第四條 指定共濟組合ノ組合員タル被保險者タリシ者ガ引續キ政府管掌ノ被保險者タル船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタル場合ニ於ケル標準報酬ハ其ノ者ガ指定共濟組合ノ組合員トシテ最後ニ納付シタル掛金ノ算定ノ基礎ト爲リタル給料其ノ他ノモノノ月額ニ基キ之ヲ算定ス

附 則

本令ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險ノ保險料率

昭和十五年五月三日
厚生省告示第一〇三號

- 一 船員保險法第二十八條第二項ノ規定ニ依リ療養ノ給付ヲ爲サザル被保險者及同法第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ標準報酬月額百圓ニ付六圓四十錢ノ割
- 二 前號以外ノ被保險者ニ付テハ其ノ標準報酬月額百圓ニ付八圓二十錢ノ割

船員保險法施行令第一條第四號ノ規定ニ依リ給料ニ準ズベキモノノ指定ノ件

昭和十五年三月二十日
厚生省告示第五〇號

船員保險法施行令第一條第四號ノ規定ニ依リ給料ニ準ズベキモノヲ左ノ通指定ス
給料割増手當ニシテ物價騰貴ニ對シ支給セラルルモノ

船員保險法施行規則第四十七條第一項ノ規定ニ依リ船員保險法施行地外ニ於テ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス地ノ指定

昭和十五年五月二十四日
厚生省告示第一三九號

改正 昭和十六年六月二十六日
厚生省告示第二六八號
昭和十六年七月一日ヨリ施行

船員保險法施行規則第四十七條第一項ノ規定ニ依リ船員保險法施行地外ニ於テ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス地ヲ左ノ通指定ス

樺太 關東州 中華民國天津 中華民國芝罘
中華民國青島 中華民國上海 香港

第一次船員保險審查會ノ名稱、位置及管轄區域

昭和十五年五月十八日
厚生省告示第一二六號

名 稱	位 置	管 轄 區 域
東京第一次船員保險審查會	東京府 東京市	東京府、神奈川縣、新潟縣、埼玉縣、群馬縣、千葉縣、茨城縣、栃木縣、靜岡縣、山梨縣
名古屋第一次船員保險審查會	愛知縣 名古屋市	愛知縣、三重縣、岐阜縣、長野縣、福井縣、石川縣、富山縣
大阪第一次船員保險審查會	大阪府 大阪市	大阪府、京都府、兵庫縣、奈良縣、滋賀縣、和歌山縣、德島縣、高知縣
廣島第一次船員保險審查會	廣島縣 廣島市	廣島縣、鳥取縣、島根縣、岡山縣、山口縣、香川縣、愛媛縣
福岡第一次船員保險審查會	福岡縣 福岡市	福岡縣、熊本縣、長崎縣、大分縣、佐賀縣、宮崎縣、鹿兒島縣、沖繩縣
仙臺第一次船員保險審查會	宮城縣 仙臺市	宮城縣、福島縣、岩手縣、青森縣、山形縣、秋田縣
札幌第一次船員保險審查會	北海道 札幌市	北海道

第二次船員保險審查會

名 稱
第二次船員保險審查會

位 置
東京府東京市

船員保險審查會ノ名稱、位置及管轄區域

口頭審問ノ爲船員保險審查會
ニ出頭シタル者ニ對スル旅費
支給ノ件

昭和十五年六月四日
厚生、内務省令第二號

- 第一條 船員保險法施行令第五十二條ノ規定ニ依リ船員保險
審查會ニ口頭審問ノ爲出頭シタル當事者及之ニ代リテ出頭
シタル者ニ對シテハ本令ニ依リ旅費ヲ支給ス
- 第二條 旅費ハ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料及食卓
料ノ六種トシ各其ノ順路ニ依リテ之ヲ支給ス但シ天災事變
其ノ他已ムテ得ザル事由ニ因リ順路ニ依リテ旅行シ難キ場
合ハ實際ノ經路ニ依ル
- 第三條 鐵道旅行ニハ鐵道賃及水路旅行ニハ船賃ノ各其ノ最
低賃金ニ相當スル額ヲ支給ス
- 鐵道八十五軒以上、水路五十海里以上ノ旅行ニ在リテハ前
項ノ額ノ外普通急行料金ヲ支給ス但シ急行料金ヲ徴セザル
線路又ハ航路ニ依ル旅行ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ
- 第四條 陸路旅行ニハ一里ニ付車馬賃三十錢ヲ支給ス但シ片

- 道一里未滿ノ陸路旅行ニ付テハ之ヲ支給セズ
陸路旅行ノ場合ニ於テ通算上一里未滿ノ端數ヲ生ジタルト
キハ切捨トス
- 第五條 日當ハ日數ニ應ジ一日ニ付七十錢ヲ支給ス
- 第六條 宿泊料ハ一夜ニ付二圓ヲ支給ス但シ水路旅行ニ付テ
ハ之ヲ支給セズ
- 第七條 食卓料ハ船賃ノ中ニ食費ヲ含マザルトキ又ハ官用ノ
船舶ニ依リ旅行スル場合ニ於テ官ヨリ賄ヲ爲サザルトキハ
一夜ニ付一圓ヲ支給ス
- 第八條 旅行中死亡シタルトキハ其ノ居住地ニ至ル旅費ニ相
當スル金額ヲ遺族ニ支給ス
- 第九條 内國旅費規則第五條及第七條ノ規定ハ本令ニ依ル旅
費ノ支給ニ之ヲ準用ス
- 附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

七 船 舶 職 員

船舶職員法	一
船舶職員法施行細則	一
公稱馬力算定方法	二
船舶職員法ヲ外國船舶ニ準用ノ件	四
船舶職員試験規程	五
船舶職員法第五條第二項ニ依リ學術試験ニ合格スト 認ムル者及其ノ者ニ授與スベキ海技免狀ニ關スル件	五
船舶職員試験規程第十條ニ依リ試験ヲ受クル コトヲ得ル者、其ノ試験ノ種類等ニ關スル件	九
船舶職員試験規程第十一條第一項ニ依ル機關 工場ニ關スル件	九
船舶職員試験規程第四條第三項ニ依ル學校ニ關スル件	一〇
朝鮮總督又ハ滿洲國駐劄特命全權大使ノ授與シタル 海技免狀ニ對スル相當海技免狀等ニ關スル件	一〇
船舶職員試験ヲ定期ニ行フ場所及期日廢止ノ件	一〇
船舶職員試験規程取扱心得	一〇

臨時船舶管理法施行規則第十八條ニ依リ船舶職員ニ代ヘシムルコトヲ得ル者ニ關スル件	一一九
船舶運航技能者養成令	一二三
船舶運航技能者養成令施行規則	一二五
海員養成所規則	一三一
高等海員養成所規則	一三三
特別高等海員養成所規則	一三四ノ二
短期高等海員養成所規則	一三四ノ四
海員養成所ノ名稱及位置	一三五
遞信大臣ノ管理スル海員養成所ノ教練查閱規程	一三六
支那事變ニ際シ軍ニ召集セラレタル者ノ船舶職員試験受験資格ニ關スル件	一三七
海員懲戒法	一三八

船舶職員法

明治二十九年四月七日
法律第六十八號
昭和八年三月
法律第十二號
最近改正

第一條 日本船舶ニハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外此ノ法律ノ規定ニ依リ船舶職員ヲ乗組マシムベシ但シ船舶安全法第二條第一項ノ規定ヲ適用セザル船舶ハ此ノ限ニ在ラズ船舶職員ト稱スルハ船長、一等運轉士、二等運轉士、三等運轉士、機關長、一等機關士、二等機關士及三等機關士ヲ謂フ

第二條 海技免狀ヲ有スル者ニアラザレバ船舶職員タルコトヲ得ズ

第三條 海技免狀ハ左ノ十二種トス

- 甲種船長
 - 甲種一等運轉士
 - 甲種二等運轉士
 - 乙種船長
 - 乙種一等運轉士
- 船舶職員法

乙種二等運轉士
丙種船長
丙種運轉士
機關長
一等機關士
二等機關士
三等機關士
遞信大臣ハ海技免狀ノ效力ニ制限ヲ加ヘタルモノヲ授與スルコトヲ得

第四條 各船舶ニ乗組マシムベキ船舶職員ノ定員及其ノ免狀ノ種類ハ第一號表ニ依ル

第一號表ニ定ムル免狀ハ命令ノ定ムル所ニ依リ他ノ種類ノ免狀ヲ以テ代用スルコトヲ得

第五條 海技免狀ハ遞信大臣ノ定ムル試験規程ニ依リ體格検査及學術試験ヲ受ケ合格シ且海技免狀原簿ニ登錄ヲ受ケタル者ニ授與ス

海軍艦船ニ乗組ミ運航若ハ機關運轉ニ從事シ又ハ船舶ノ運航若ハ機關ノ運轉ニ關スル學術ヲ教授スル學校ノ所定ノ課程及練習ヲ卒リ遞信大臣ニ於テ學術試験ニ合格スト認ムル者ニハ學術試験ヲ行ハズシテ相當ノ免狀ヲ授與スルコトヲ得

小形船舶ニ乗組ム船舶職員ノ有スベキ海技免狀ハ遞信大臣